

デジタル監視システム

インストールガイド V8.3.3



本製品を接続したり操作する前に、
この説明書をよく読み、保管して必要に応じて参照してください。



© 2009 GeoVision, Inc. All rights reserved.

著作権法により、本マニュアルの全部あるいは一部を、GeoVision 社の書面による承諾を得ることなく複製することは禁止されています。

本マニュアル記載の内容につきましては万全を期していますが、GeoVision 社は、印刷誤りまたは誤記などに関して一切責任を負わないものとします。

GeoVision, Inc.

台湾台北市内湖区内湖路一段 246 号 9 階

電話: +886-2-8797-8377

FAX: +886-2-8797-8335

<http://www.geovision.com.tw>

当マニュアルにて使用されている商標: *GeoVision*、*GeoVision* ロゴおよび *GV* シリーズ製品は、GeoVision, Inc.の登録商標であり、*Windows* および *Windows XP* は、マイクロソフト社の登録商標です。

2009 年 11 月

目次

GV キャプチャーカードについてのお知らせ	1
第 1 章 ビデオキャプチャーカード.....	3
1.1 GV-4008.....	4
1.2 GV-1120A、GV-1240A、GV-1480A.....	11
1.3 GV-1008.....	18
1.4 GV-650A、GV-800A.....	23
1.5 GV-600A.....	28
1.6 デュアルカードのインストールする	32
1.7 ドライバのインストール.....	35
1.8 ハードウェアウォッチドッグの接続	37
1.9 比較表(ハードウェア圧縮).....	39
1.10 比較表(ソフトウェア圧縮: シングルカード).....	40
1.11 比較表(ソフトウェア圧縮: デュアルカード).....	42
第 2 章 ハードウェアアクセサリ.....	44
2.1 GV マルチクアドカード	45
2.2 GV ループスルーカード.....	49
2.3 GV-NET カード V3.1.....	52
2.4 GV-NET/IO カード V3.1	55
2.5 GV ハブボックス.....	65
2.6 GV-COM ボックス	69
2.7 GV-IO 12 入力カード V3	72
2.8 GV-IO 12 出力カード V3	75
2.9 GV-IO ボックス (16 ポート).....	78
2.10 GV-IO ボックス (8 ポート).....	85
2.11 GV-IO ボックス (4 ポート).....	92
2.12 GV データキャプチャー-V3E	98
2.12 GV データキャプチャー-V3E	98
2.13 GV キーボード.....	98
2.14 GV ジョイスティック.....	99
2.15 GV-IR リモコン.....	99

2.16	GV-Wiegand キャプチャーボックス.....	100
2.17	GV ビデオサーバー	101
2.18	GV コンパクト DVR.....	102
2.19	USB ドライバのインストール	103
2.20	GV-IO ボックスのネットワーク利用.....	104
第 3 章	ソフトウェアのインストール.....	115
3.1	インストール開始前の準備.....	116
3.2	プログラムのインストール.....	117
3.3	プログラム一覧.....	119
第 4 章	画面の概要	121
4.1	メインシステム.....	122
4.2	録画再生.....	124
4.3	リモート再生クライアント.....	128
4.4	シングル表示ビューア	130
4.5	マルチビュービューア	131
4.6	Center V2	133
4.7	コントロールセンターツールバー	135
	トラブルシューティング	137

GVキャプチャーカードについてのお知らせ

1. GV システム動作要件:

- 現時点において、GV ビデオキャプチャーカードは、VIA シリーズ、ATI シリーズチップセットマザーボードに対応していません。

下記のアクセサリは 64 ビット Windows バージョンに対応していません。

GV マルチクワッドカード	GV-NET/IO カード
GV-COM ボックス	GV キーボード
GV ハブボックス	GV ジョイスティック
GV-I/O ボックス 4 / 8 / 16 ポート	

2. ハードディスク要件:

- 物理的に 2 台のハードディスクを使用することを強くお勧めします。Windows オペレーティングシステム、GV-System ソフトウェア用に 1 台。録画映像保存用に 1 台です。
- 1 台のハードディスクに割り当てることができる録画フレームレート合計は下記の通りになります。

1 台のハードディスクのフレームレート制限

解像度	合計フレームレートの制限(FPS)
CIF (320 x 240)	480
D1 (720 x 480)	240
1 メガピクセル (1280 x 960)	270
2 メガピクセル (1600 x 1200)	120
3 メガピクセル (2048 x 1536)	110
4 メガピクセル (2560 x 1600)	70
5 メガピクセル (2592 x 1944)	54

フレームレート制限はビデオソースの解像度に基づきます。ビデオ解像度が高いほど、1 台のハードディスクに割り当てることができるフレームレートは低くなります。高いフレームレートで録画する要件の場合、より多くのハードディスクが必要となります。録画用フレームレートの詳細については、接続する GV-System または IP カメラのユーザーズマニュアルを参照してください。

- GV-System をインストールには、ハードディスクの空き領域を少なくとも **1GB 以上**用意して下さい。

- 画像処理拡張 (Advance Video Analysis) を使用する場合、少なくとも 1GB のメモリが必要です。
 - 次の機能を複数同時に利用するには、少なくとも 2 GB のメモリが必要です：
画像処理拡張 (Advance Video Analysis)、映像処理 (Video Analysis)、
IP カメラ (IP Camera)、およびメモリによるプリ録画 (Pre-Record by Memory)。
3. **IP カメラ(H.264 コーデック対応)**
- H.264 コーデックおよび GV-IP スピードドーム対応の IP カメラを接続するには (コーデック問わず)、**Core 2 Quad** クラスの CPU で最大 8 つのチャンネルに対応します。**Core i7 以上**の CPU の場合、最大 32 のチャンネルを録画が可能ですが、ライブ表示には次の制限があることにご注意ください。
 - 32 チャンネルのライブ表示の場合、解像度を下げコーデックを MPEG 4 または MJPEG に変更する必要があります。
4. **CPU の要件**
- 解像度 640 x 480 以上で録画を行うには、Hyper Threading (ハイパースレッディング) を実装した Pentium 4 プロセッサ以上が必要となります。
5. **初期設定:**
- ソフトウェアの録画レートについては、GV カードではすべて CIF(320x240)で設定されています。ハードウェア録画レート GV-4008 では D1(720x480)で設定されています。
6. **PCI-E 専用キャプチャーカード:**
- PCI-E インターフェイス対応の GV ビデオキャプチャーカードはすべて、PCI エクスプレスの x1、x4、16 規格に対応しています。
7. **GV-600A、GV-650A、GV-800A:**
- V8.3.2 から、GV-600(V4)、GV-650(V4)および GV-800(V4)は、名称を変更し、GV-600A、GV-650A、GV-800Aになりました。V4 カード、A カードは、同じビデオキャプチャーカードになります。
8. **サポート終了のお知らせ:**
- V8.3 以降の GV-System は、GV-250 カード、GV-Hybrid DVR (MPEG2)カード、および GV-DSP カードに対応しておりません。
 - V8.3.2 以降の GV-System は、GV-2004 カードに対応しておりません。
 - V8.3.2 以降の GV-System は MPEG2 コーデックに対応しておりません。

第 1 章 ビデオキャプチャーカード

本章では、次の項目について説明します。

- 最低限必要となるシステム環境
- パッケージ内容
- 配線図
- 仕様
- ドライバのインストール
- 比較表

1.1 GV-4008

GV-4008 カードは、1 枚のカードで映像 8 チャンネル、音声 8 チャンネル、H.264 ハードウェア圧縮、録画フレームレート最大 240/200 fps (NTSC/PAL)を実現するハードウェアです。DSP オーバーレイを使わずに D1 イメージ品質を強化するために先進の技術が採用されています。画面分割時においても、高品質な D1 解像度表示を行います。

最低限必要となるシステム環境

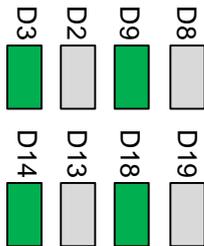
OS	Windows XP / Windows Vista / Windows Server 2008 (64 ビット Windows はサポートしません)	
CPU	GV-4008	Core 2 Duo, 2.33 G
	GV-4008 x 2	Core 2 Quad, 2.4 G
RAM	GV-4008	2 x 1 GB デュアルチャンネル
	GV-4008 x 2	
HDD	GV-4008	250 GB
	GV-4008 x 2	500 GB
VGA	ATI Radeon X1300 PCI-E / NVIDIA GeForce 7300 PCI-E	
DirectX	9.0c	
電源	400 ワット	

パッケージ内容

- | | |
|--|----------------------|
| 1. GV-4008 カード x 1 | 5. SATA 電源変換ケーブル x 1 |
| 2. 1-8 カメラ 音声 BNC ケーブル
BNC、RCA 変換アダプタ x 1 | 6. USB ドングル x 1 |
| 3. 1-8 カメラ 映像 BNC ケーブル x 1 | 7. ソフトウェア DVD x 1 |
| 4. ハードウェアウォッチドッグジャンパ線 x 1 | 8. 機能ガイド x 1 |
| | 9. インストールガイド x 1 |

GV-4008 カードを 1 枚接続する

- 映像ケーブル、音声ケーブルを GV-4008 カードに接続します。
- SATA 電源変換 ケーブルを使用し、GV-4008 カードに電源コンセントを接続します。正常に接続されると、右上隅の電源 LED が緑に点灯します。左隅の 4 つのステータス LED (D3、D9、D14、D18) が緑に点灯すると、正しく機能していることを示します。



- ハードウェアウォッチドッグを使用する際には、ハードウェアウォッチドッグジャンパ線をカードの 2 ピンコネクタに接続します。カード (+) ピンは、必ずマザーボードのリセット (+) ピンに接続し、カードの (-) ピンは、マザーボードの (-) ピンに接続します。ピン接続状態が正しくない場合、ハードウェアウォッチドッグは正常に動作しません。

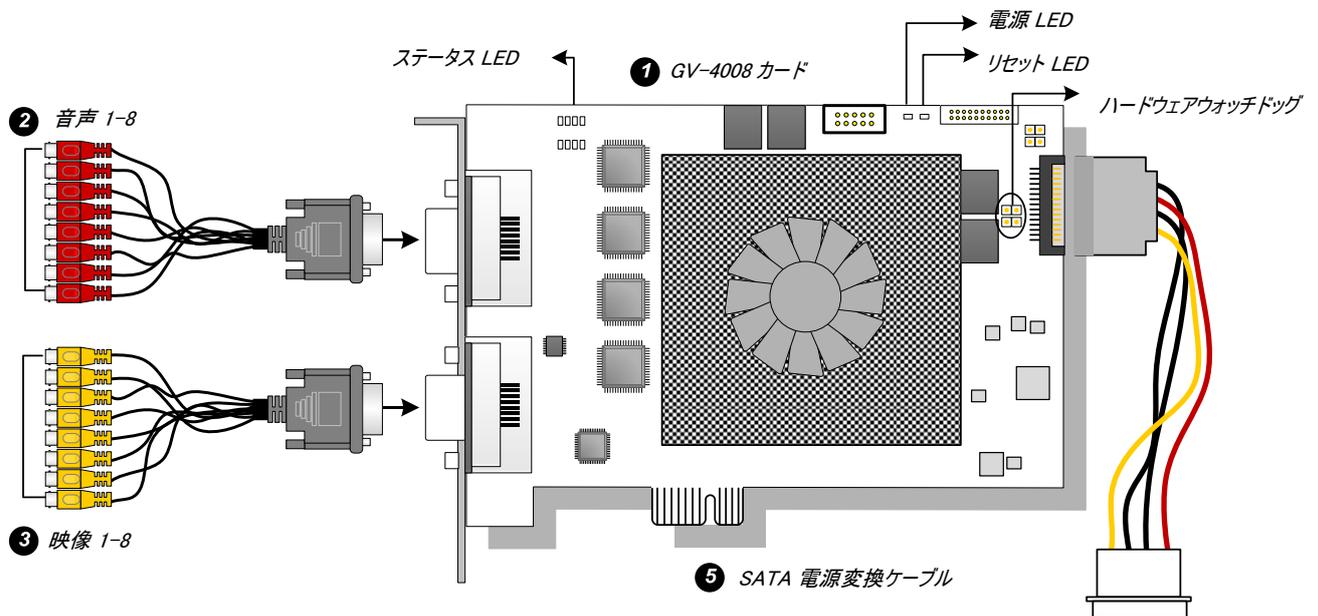


図 1-1

注:

- GV-4008 カードは、付属の USB ドングルがコンピュータに取り付けられている時に動作します。
- GV-4008 カードに取り付けるマイクは、外部電力供給されるタイプのマイクをご利用ください。

GV-4008 カードを 2 枚接続する

GV-4008 カードを 2 枚実装し、合計 16 チャンネル構成にすることができます。1-8 チャンネルを持つほうがマスターカードになり、9-16 チャンネルを持つほうがスレーブカードになります。通常、PCI スロット番号の小さい方の数に接続したカードがマスターになり、大きい方の数に接続したほうがスレーブになります。

- **ハードウェアウォッチドッグ接続:** 付属のハードウェアウォッチドッグジャンプワイヤをマスターカードに接続します。
- **アクセサリカード接続:** GV-4008 カードとともに動作させるためには、GV-NET/IO カード V3.1 を I/O ボックス モードに設定し、USB を使ってコンピュータに接続します。

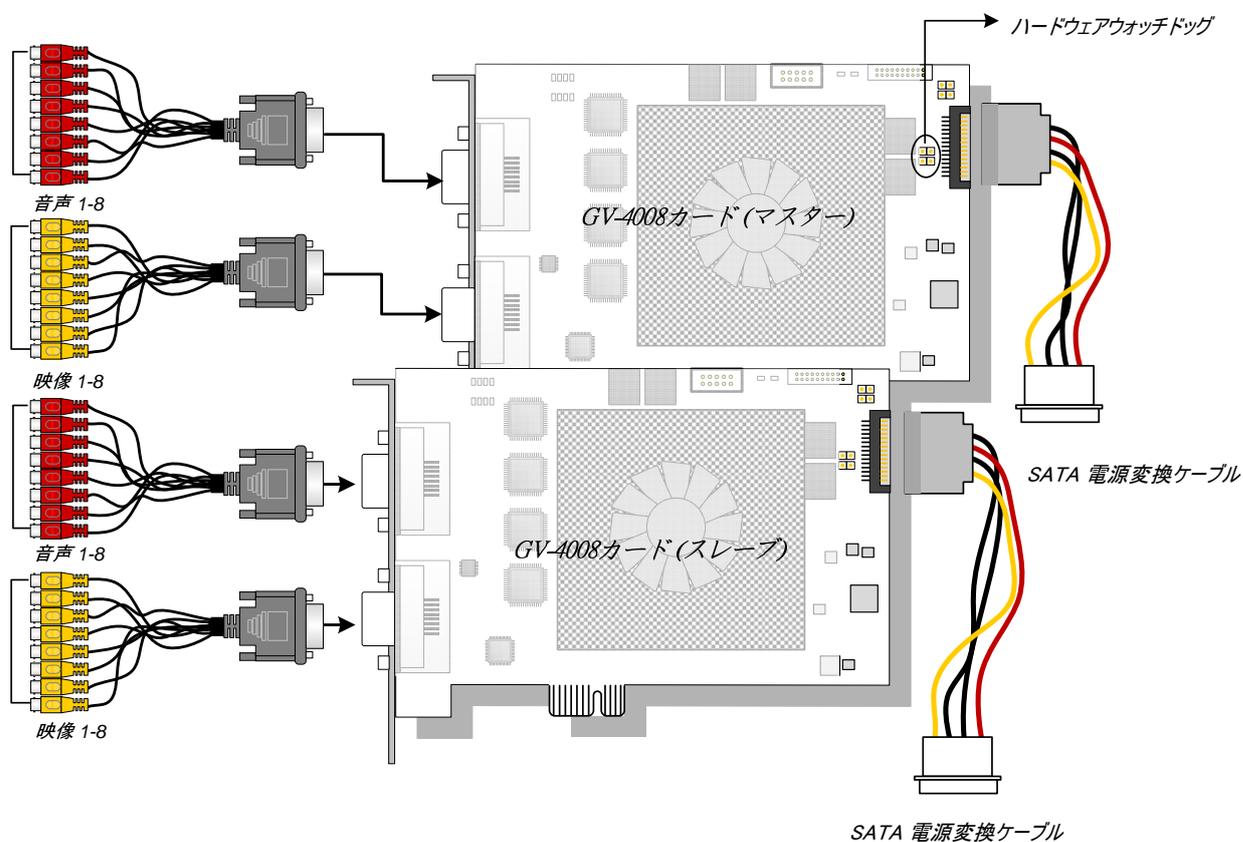


図 1-2

トラブルシューティング(電源)

カードの上にあるリセット LED が赤く点滅、または 4 つのステータス LED がすべて点灯していない場合、GV-4008 カードの電力が不足していることを示します。電源供給が少なくとも 400 ワットあることを確認してください。400 ワット未満の場合は、400 ワット以上の電源供給が可能な電源に変更ください。

ビデオ設定の活用

GV-4008 カードの特徴のひとつにハードウェア圧縮機能があります。これにより、D1 解像度での高品質録画が可能となります。

GV-4008 カードのメリットを最大限に引き出すため、画質、フレームレートなどのビデオ設定を是非活用下さい。

ビデオ設定

コンピューターの性能、録画品質を考慮し、必要に応じて設定を行います。

1. メインシステムで、システム設定ボタンをクリックし、設定を選択します。カメラ/録音声装置のインストールを選択し、ハイブリッドカメラのインストールをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



図 1-3

- 設定を行うカメラを選択し、設定ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



図 1-4

- ハイブリッドカメラ選択のフィールドで、カメラを選択し、設定します。
- 選択したカメラすべてに同様の設定を行う場合、それぞれの項目の指ボタンをクリックします。
- ハードウェア圧縮データFIFO**を有効にする項目は初期値では有効になっています。本オプション有効時、IP カメラ、ビデオサーバー、CompactDVR などの IP デバイスからのハードウェア圧縮データは、DVR で再圧縮はされず、リモートサーバーに直接送信されます。(CMS サーバー、WebCam サーバーを含む)。本機能により DVR のシステムロード処理が現象しますが、リモートサーバーでのシステムロード処理が増えます。

6. フレームレート設定を行う場合、メインシステムでシステム設定ボタンから、設定、システム設定の順番に選択し、カメラ録画設定タブを開きます。録画コントロールの矢印ボタンをクリックします。録画フレーム設定ダイアログボックスが表示されます。

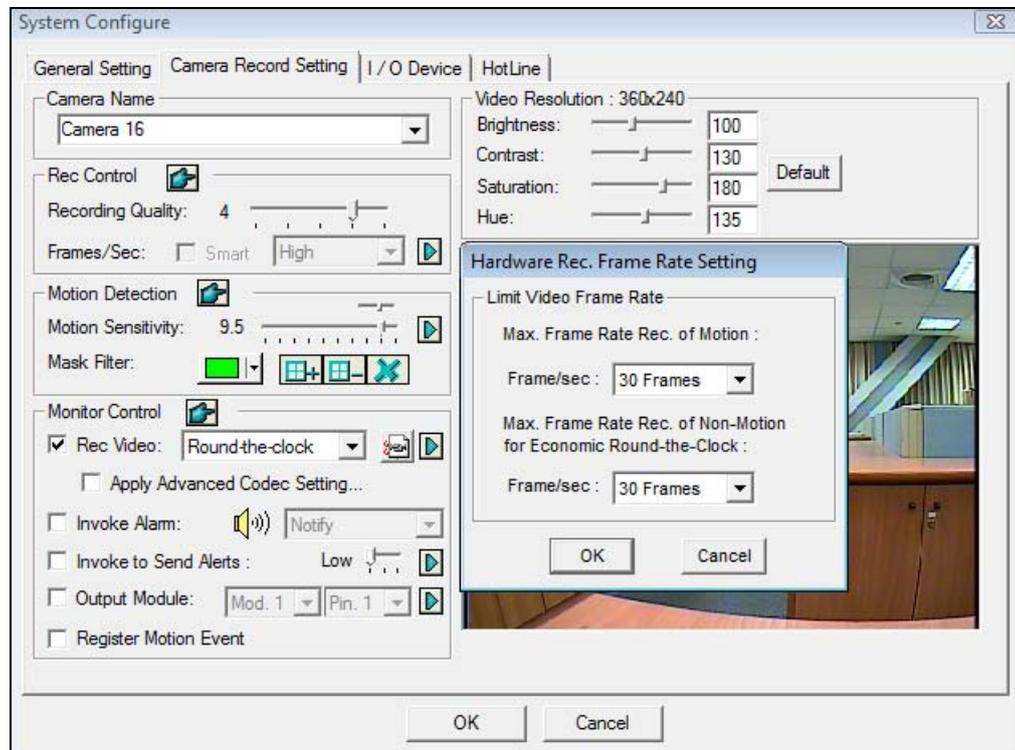


図 1-5

7. 必要に応じて、動作検出録画時、常時録画時の最大フレームレートを設定します。

注: 初期設定値は次のとおりです:

録画品質: 3、映像解像度 720 × 480(NTSC)または 720 × 576(PAL)、
コーデック H.264、フレームレート 30 (NTSC) または 25 (PAL)。

仕様

		GV-4008	GV-4008 x 2
インターフェース		PCI-E	
入力方式		DVI x 2 (映像・音声用)	DVI x 4 (映像・音声用)
映像入力		8 カメラ	16 カメラ
音声入力		8 カメラ	16 カメラ
録画レート	S/W (CIF)	240 fps (NTSC)	480 fps (NTSC)
		200 fps (PAL)	400 fps (PAL)
	H/W (D1)	240 fps (NTSC)	480 fps (NTSC)
		200 fps (PAL)	400 fps (PAL)
表示レート	NTSC	240 fps	480 fps
	PAL	200 fps	400 fps
解像度	NTSC	H/W 720 x 480	720 x 480
		S/W 360 x 240	360 x 240
	PAL	H/W 720 x 576	720 x 576
		S/W 360 x 288	360 x 288
圧縮方式	S/W	Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2	
	H/W	H.264	
GV-NET/IO カードサポート		対応	
GV マルチクワッドカードサポート		非対応	
寸法(幅 x 高さ)		169 x 110 (mm) / 6.65 x 4.33 (in)	

注:

- GV-4008 は TV 出力機能(スポットモニター機能)に非対応です。
- GV-4008 とともに動作させるためには、GV-NET/IO カード V3.1 を I/O ボックス モードに設定し、USB を使ってコンピュータに接続する必要があります。
- 画面分割時、最大分割画面が D1 解像度に設定され、他の分割画面は CIF に設定されます。

1.2 GV-1120A、1240A、1480A

GV-1120、GV-1240、GV-1480 は 16 チャンネルの動画/音声の録画・録音、リアルタイム表示、テレビ外部出力表示を提供できる 1 枚 3 役のカードソリューションです。さまざまな用途に合わせて、D 端子、DVI 端子、PCI-E の 3 種類の GV コンボカードをご用意しています。

最低限必要となるシステム環境

OS	32ビット	Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008	
	64ビット	Windows 7 / Windows Server 2008	
CPU	GV-1120A	Core 2 Duo, 2.53 GHz	
	GV-1120A x 2	Core 2 Duo, 2.53 GHz	
	GV-1240A	Core 2 Duo, 2.53 GHz	
	GV-1240A x 2	Core 2 Duo, 2.53 GHz	
	GV-1480A	Core 2 Quad, 2.4 GHz	
	GV-1480A x 2	Core 2 Quad, 2.4 GHz	
RAM	Windows XP	2 x 512 MB デュアルチャンネル	
	Windows Vista / 7 / Server 2008	2 x 1 GB デュアルチャンネル	
HDD	GV-1120A	80 GB	
	GV-1120 A x 2	160 GB	
	GV-1240A	120 GB	
	GV-1240A x 2	250 GB	
	GV-1480A	250 GB	
	GV-1480A x 2	500 GB	
VGA	ATI Radeon X1300 PCI-E / NVIDIA GeForce 7300 PCI-E		
DirectX	9.0c		

パッケージ内容 (D 端子)

1. GV-1120/1240/1480 A カード x 1
2. 音声拡張カード x 1
3. 1-8 D 端子映像ケーブル x 1
4. 9-16 D 端子映像ケーブル x 1
5. 1-8 D 端子音声ケーブル x 1
6. 9-16 D 端子音声ケーブル x 1
7. 内部電源 Y ケーブル x 1
8. ハードウェアウォッチドッグジャンパ線 x 1
9. ソフトウェア CD x 1
10. 機能ガイド x 1
11. インストールガイド x 1

パッケージ内容 (DVI 端子)

1. GV-1120/1240/1480 カード x 1
2. 1-8 DVI 端子映像 + TV 出力ケーブル x 1
3. 9-16 DVI 端子映像ケーブル x 1
4. 1-8 DVI 端子音声ケーブル x 1
5. 9-16 DVI 端子音声ケーブル x 1
6. 内部電源 Y ケーブル x 1
7. ハードウェアウォッチドッグジャンパ線 x 1
8. ソフトウェア CD x 1
9. 機能ガイド x 1
10. インストールガイド x 1

GV-1120/1240/1480A カードを 1 枚接続する(D 端子)

- 音声拡張カードを、GV コンボカードの割り当てられた端子に差し込みます。
- D 端子映像ケーブルを GV コンボカードに、D 端子音声ケーブルを音声拡張カードにそれぞれ接続します。
- コンピュータの内部電源供給を GV コンボカードに接続します。
- 用途に応じて、TV モニターを GV カードに接続します。

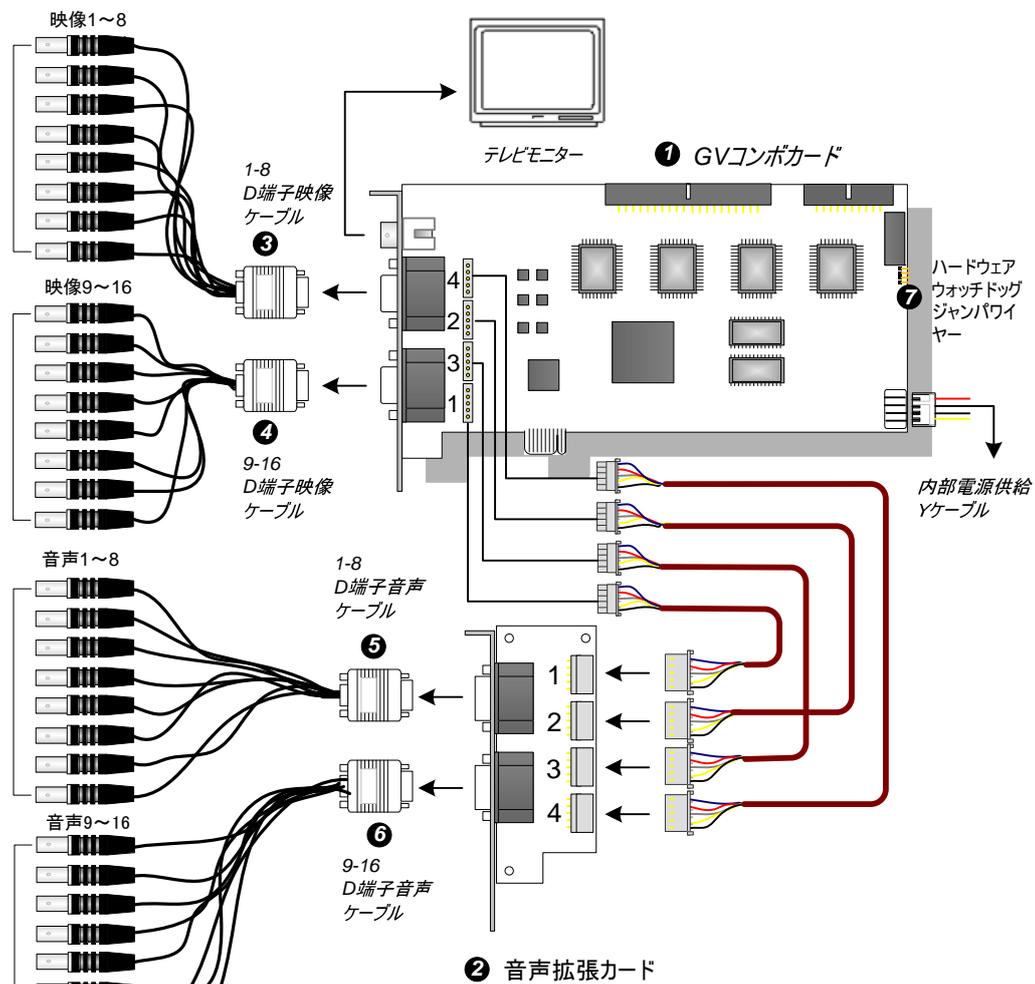


図 1-6

注: カードは、コンピュータの電源供給と付属の電源 Y ケーブルに接続された場合にだけ作動します。

GV-1120/1240/1480A カードを 1 枚接続する (DVI 端子)

- DVI 映像および音声ケーブルを GV コンボ A カードに接続します。
- コンピュータの内部電源供給を GV コンボ A カードに接続します。
- 用途に応じて、DVI TV 出力ケーブルを TV モニターに接続します。

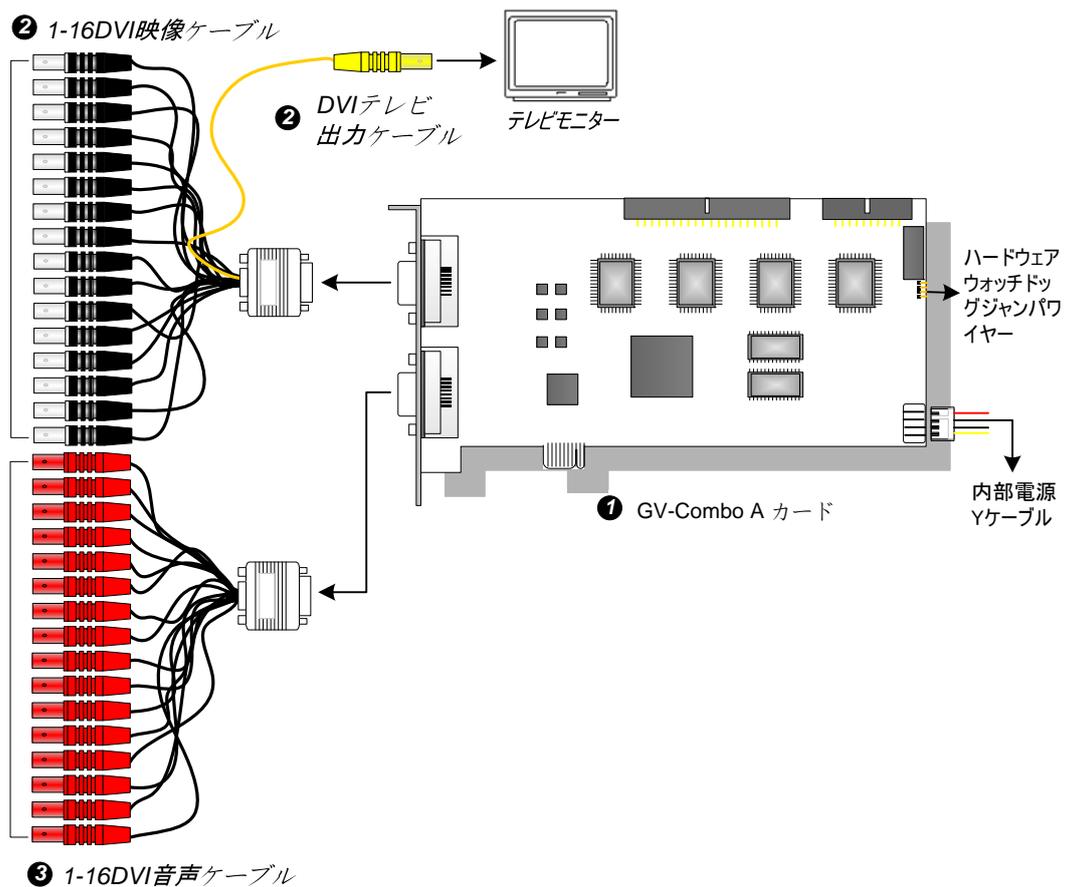


図 1-7

注:コンピュータの電源と付属の電源 Yケーブルが接続されていない場合、動作しません。

GV-1120/1240/1480A カードを 2 枚接続する

32 チャンネルでシステム構成する場合、同型番のカードを 2 枚実装します。1-16 チャンネル側がマスターカードになり、17-32 チャンネルがスレーブカードになります。通常、PCI-E スロット番号の小さい方の数に接続したカードがマスターになり、大きい方の数に接続したほうがスレーブになります。

- **TV 出力接続:** マスターカード側が 1-16 チャンネルを表示、スレーブカード側が 17-32 チャンネルを表示します。
- **ハードウェアウォッチドッグ接続:** 付属のハードウェアウォッチドッグジャンプワイヤをマスターカードに接続します。
- **アクセサリカード接続:**
 - ◎ GV-NET/IO カード: このカードは、マスターカードのみに接続可能です。
 - ◎ GV ループスルーカード: マスター、スレーブカード両方のカードに接続可能です。
 - ◎ GV マルチクワッドカード: マスター、スレーブカードいずれかのみ接続可能です。

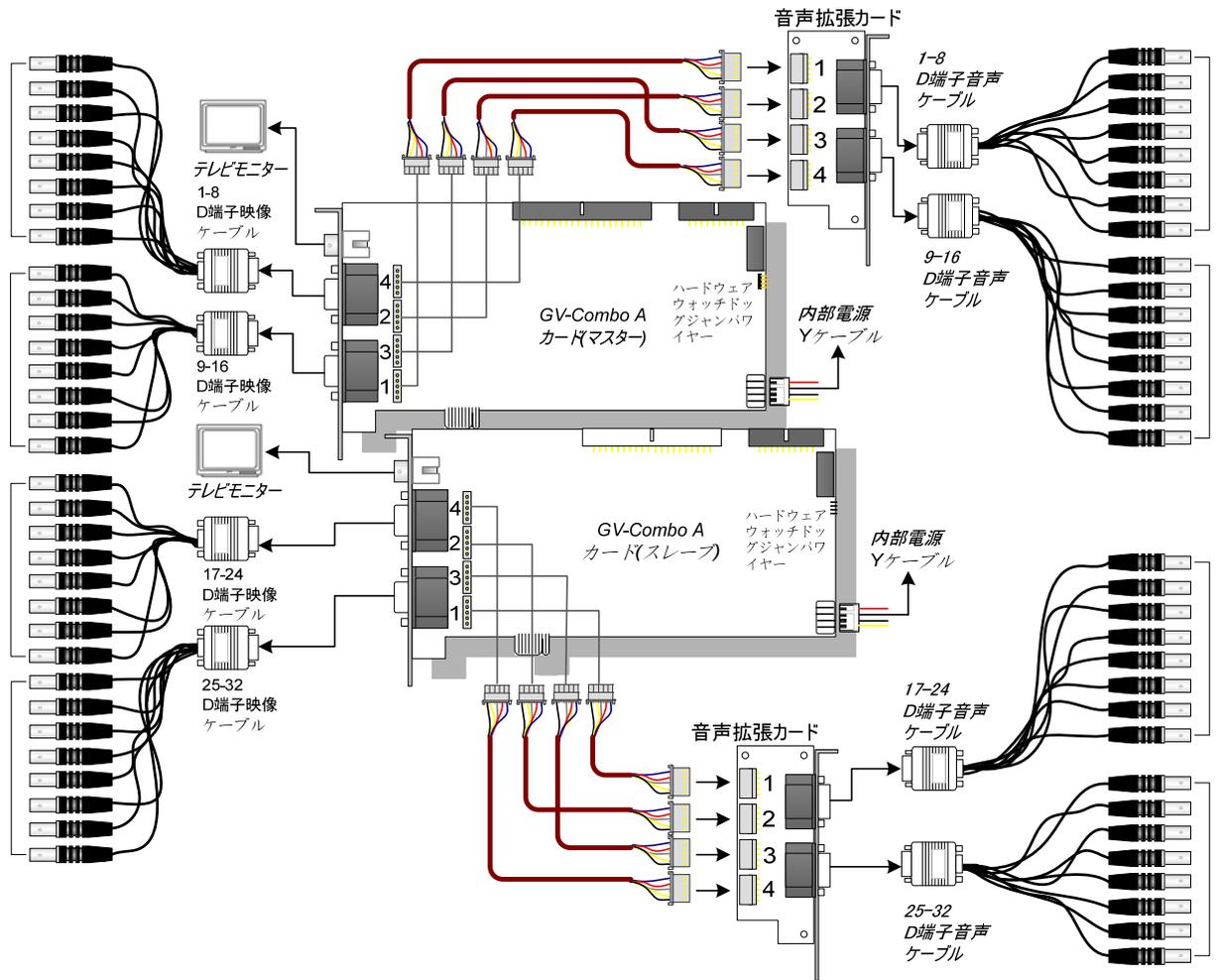


図 1-8

仕様

		GV-1120A	GV-1240A	GV-1480A	
インターフェースのタイプ		PCI-E			
入力方式		DB15 x 2(映像)、DB9 x 2 (音声)			
映像入力		8、12、16 カメラ	8、16 カメラ	16 カメラ	
音声入力		8、12、16 チャンネル	8、16 チャンネル	16 チャンネル	
TV 出力		RCA 端子 x 1			
録画レート	CIF	NTSC	120 fps	240 fps	480 fps
		PAL	100 fps	200 fps	400 fps
	D1	NTSC	80 fps	120 fps	240 fps
		PAL	72 fps	100 fps	200 fps
表示レート	CIF	NTSC	480 fps		
		PAL	400 fps		
	D1	NTSC	480 fps		
		PAL	400 fps		
解像度		NTSC	720 x 480, 720 x 480 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 240, 320 x 240		
		PAL	720 x 576, 720 x 576 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 288, 320 x 240		
圧縮方式		Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2			
GVマルチクワッドカードサポート		対応			
GVループスルーカードサポート		対応			
GV-NET/IOカードサポート		対応			
サイズ	D 端子	179 x 99 (mm) / 7.04 x3.89 (in)			
	DVI 端子				

1.3 GV-1008

GV-1008 は、8 チャンネルの動画/音声の録画・録音、リアルタイム表示、テレビ外部出力表示を提供する1 枚3 役のハードウェアです。D1 解像度で各チャンネル、リアルタイム表示/録画時30fps を実現します。デュアルカード時には、最大D1 解像度で480fps に対応します。

最低限必要となるシステム環境

OS	32ビット	Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008	
	64ビット	Windows 7 / Windows Server 2008	
CPU	GV-1008	Core 2 Duo, 3.0 GHz	
	GV-1008 x 2	Core i5-750, 2.66 GHz	
RAM	Windows XP	GV-1008	2 x 512 MB デュアルチャンネル
		GV-1008 x 2	2 x 1 GB デュアルチャンネル
	Windows Vista / 7 / Server 2008	GV-1008	2 x 1 GB デュアルチャンネル
		GV-1008 x 2	
HDD	GV-1008	250 GB	
	GV-1008 x 2	500 GB	
VGA	ATI Radeon X1300 PCI-E / NVIDIA GeForce 7300 PCI-E		
DirectX	9.0c		

パッケージ内容

1. GV-1008 カード x 1
2. 音声拡張カード x 1
3. 1-8 D 端子映像ケーブル x 1
4. 1-8 D 端子音声ケーブル x 1
5. 3 端子付き 40ピンリボンケーブル x 1
6. 内部電源 Y ケーブル x 1
7. ハードウェアウォッチドッグジャンパ線 x1
8. ソフトウェア CD x 1
9. 機能ガイド x 1
10. インストールガイド x 1

GV-1008 カードを 1 枚接続する

- 音声拡張カードを GV-1008 カードの指定端子に差し込みます。
- D 端子映像ケーブルを GV-1008 カードに、D 端子音声ケーブルを音声拡張カードにそれぞれ接続します。
- コンピュータの内部電源供給を GV-1008 カードに接続します。
- 必要であれば、TV モニタを GV-1008 カードに接続します。

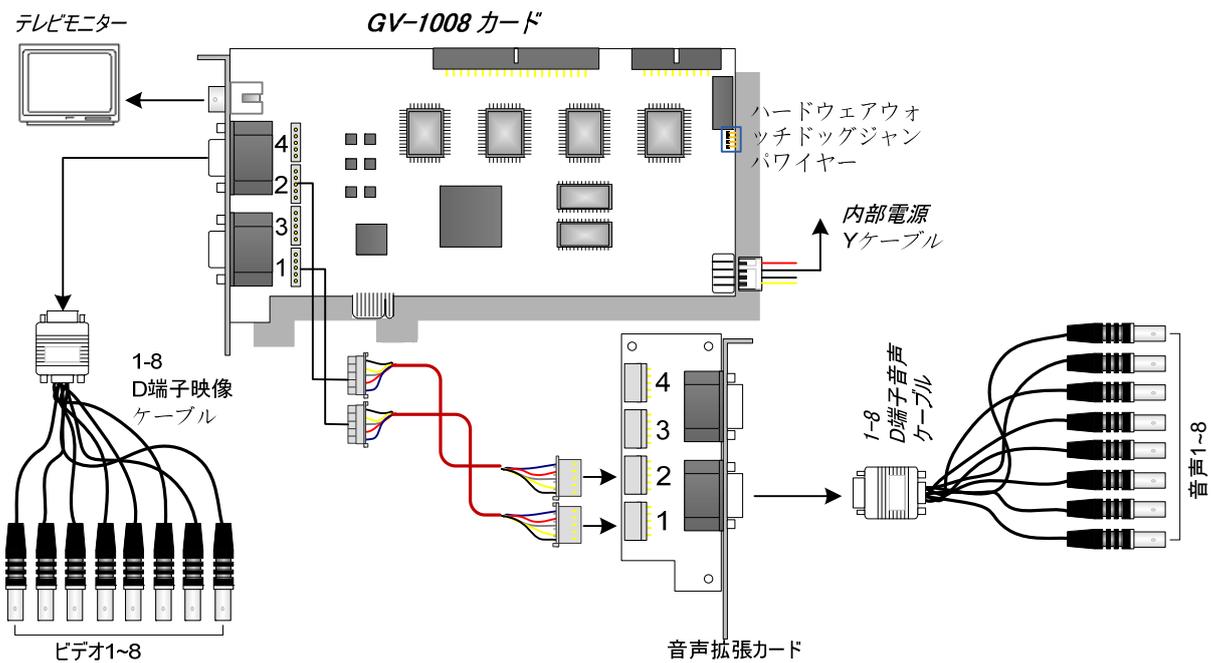


図 1-9

注: コンピュータの電源と付属の電源 Y ケーブルが接続されていない場合、動作しません。

GV-1008 カードを 2 枚接続する

16 チャンネルでシステムを構成する場合、GV-1008 カードのマスターとスレーブが区別されます。マスター、スレーブは、カードのラベルによって区別されます。

マスターカード: 

スレーブカード: 

マスターカードとスレーブカードを接続するために、付属の 40 ピンケーブルを使用します。

重要:

1. スレーブカードは単独では動作しません。マスターカードと組み合わせて動作させます。
 2. GV-1008 カードがどちらもマスターカードの場合、通常 PCI スロット番号の小さい方の数に接続したカードがマスターになり、大きい方の数に接続したほうがスレーブになります。
-

- **ビデオチャンネル:** マスターカードの映像チャンネル 1-8 と、スレーブカードの映像チャンネル 9-16 を付属の D 端子映像ケーブルに接続してください。
- **音声チャンネル:** マスターカードの音声チャンネル 1-8 とスレーブカードの音声チャンネル 9-16 チャンネルを音声拡張コードに接続します。
- **TV 出力接続:** TV モニターは、マスターカードまたはスレーブカードのどちらの RCA 端子でも接続できます。このとき、1-16 チャンネルを表示します。
- **ハードウェアウォッチドッグ接続:** 付属のハードウェアウォッチドッグジャンプワイヤをマスターカードに接続します。
- **アクセサリカード接続:**
 - GV-NET/IO カード: マスターカードのみに接続可能です。
 - GV ループスルーカード: マスターカードとスレーブカードに接続している 40 ピン ケーブルにカードを 1 枚接続します。
 - GV マルチクワッドカード: マスターカードとスレーブカードに接続している 40 ピン ケーブルにカードを 1 枚接続します。

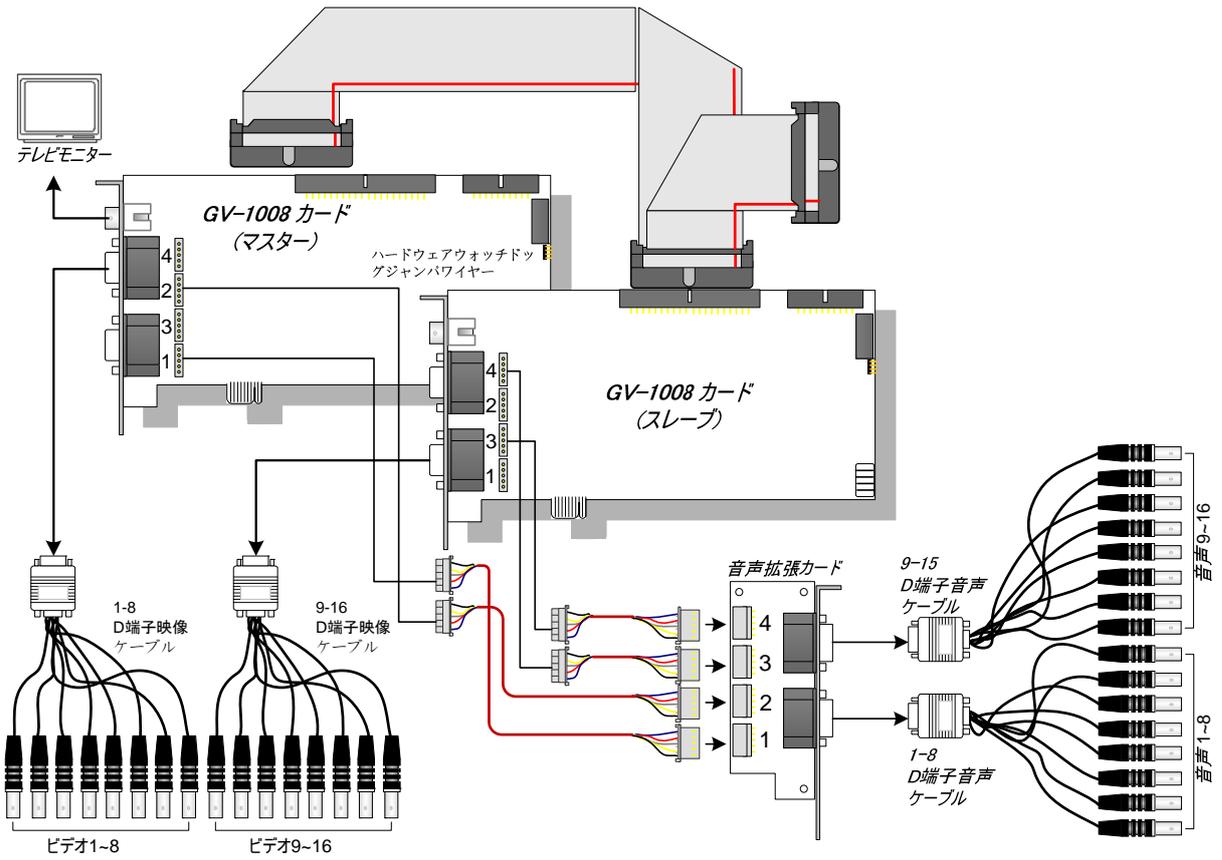


図 1-10

仕様

			GV-1008	GV-1008 x 2
入力方式	D 端子		DB 15 x 1 (映像) DB 9 x 1 (音声)	DB 15 x 2 (映像) DB 9 x 2 (音声)
	DVI 端子		DV1 x 1 (映像) DVI x 1 (音声)	DV1 x 2 (映像) DVI x 2 (音声)
映像入力			8 チャンネル	16 チャンネル
TV 出力			RCA 端子 x 1	
音声入力			8 チャンネル	16 チャンネル
録画レート	CIF	NTSC	240 fps	480 fps
		PAL	200 fps	400 fps
	D1	NTSC	240 fps	480 fps
		PAL	200 fps	400 fps
表示レート	CIF	NTSC	240 fps	480 fps
		PAL	200 fps	400 fps
	D1	NTSC	240 fps	480 fps
		PAL	200 fps	400 fps
解像度	NTSC		720 x 480, 720 x 480 (デインターレース), 640 x 480, 640 X 480 (デインターレース), 360 x 240, 320 x 240	
	PAL		720 x 576, 720 x 576 (デインターレース), 640 x 480, 640 X 480 (デインターレース), 360 x 288, 320 x 240	
圧縮方式			Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2	
GV マルチクワッドカードサポート			対応	
GV ループスルーカードサポート			対応	
GV-NET/IO カードサポート			対応	
寸法 (幅 x 高さ)			179 x 99 (mm) / 7.04 x 3.89 (in)	

1.4 GV-650A, GV-800A

GV-650A カードと GV-800A カードは、外観、システム要件およびパッケージ内容が類似していますので、本節でまとめて説明します。ただし、録画レートと音声チャンネルが異なりますので、必要に応じていずれかを選択します。

最低限必要となるシステム環境

OS	32ビット	Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008	
	64ビット	Windows 7 / Windows Server 2008	
CPU	GV-650A	Pentium Dual-Core 2.0 GHz	
	GV-650A x 2	Pentium Dual-Core 2.0 GHz	
	GV-800A	Core 2 Duo 2.53GHz	
	GV-800A x 2	Core 2 Duo 2.53GHz	
RAM	Windows XP	2 x 512 MB デュアルチャンネル	
	Windows Vista / 7 / Server 2008	2 x 1 GB デュアルチャンネル	
HDD	GV-650A / GV-800A	80 GB	
	GV-650A x 2 / GV-800A x 2	160 GB	
VGA	GV-650A / GV-800A	ATI Radeon X600 / NVIDIA 6200	
	GV-650A x 2		
	GV-800A x 2	ATI Radeon X1300 PCI-E / NVIDIA GeForce 7300 PCI-E	
DirectX	9.0c		

パッケージ内容

1. GV-800またはGV-650カード x 1
2. 音声拡張カード x 1 **
3. 1-8カメラ + 4音声ポート D 端子ケーブル x 1
4. 9-16カメラ D 端子ケーブル x 1 *
5. ハードウェアウォッチドッグジャンパ線 x 1
6. ソフトウェア CD x 1
7. 機能ガイド x 1
8. インストールガイド x 1

* 12-16カメラ D 端子ビデオキャプチャーカードに付属

** BNCビデオキャプチャーカードに付属

GV-650A/GV-800A カードを 1 枚接続する

GV-800A および GV-650A カードには、BNC 端子付きと D 端子付きの 2 種類があります。BNC タイプは、4 個の映像チャンネルのみを提供し、拡張する場合は、映像および音声拡張カードが必要となります。D 端子タイプは、同時に最大 16 個の映像チャンネルおよび 4 個の音声チャンネルを提供することができます。

D 端子タイプのビデオキャプチャーカードの場合は、下図のとおり、黒い映像/音声ケーブルを GV-650A/800A カードの黒い端子に、青い映像ケーブルを青い端子に差し込みます。

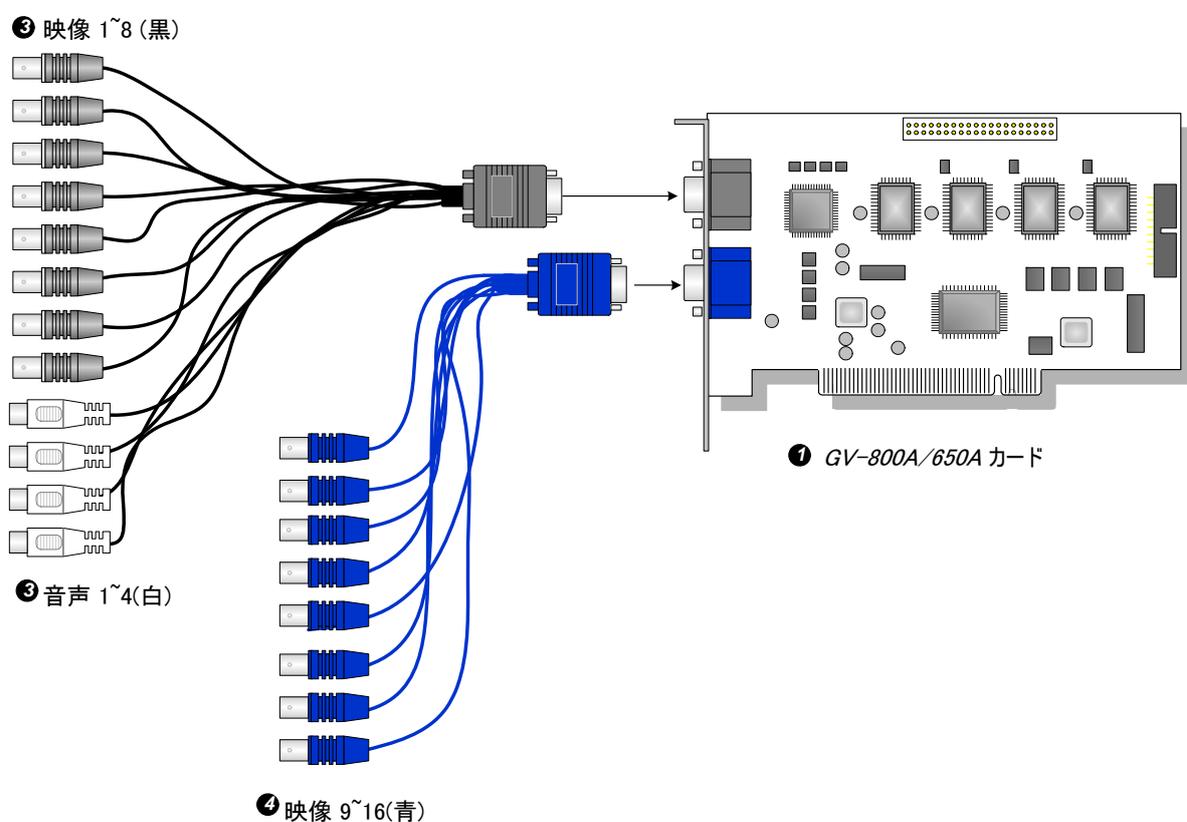


図 1-11 端子付き GV-650 または GV-800 カードの接続

注:

1. GV-650 カードシリーズは 2 つの音声チャンネルに対応しています。付属の 1-8 カメラ + 4 音声ポート D 端子ケーブルでも 2 個のみ機能します。
2. GV-800A カードを 2 枚取り付けする場合、いずれか一方は PCI-E インターフェイスのカードが必要です。

BNC 端子付きビデオキャプチャーカードの場合は、下図のとおり、音声拡張カードを GV-650/804 カードの No.1 または No.2 端子に接続します。これら 2 つの端子は、いずれも接続用に使用できます。

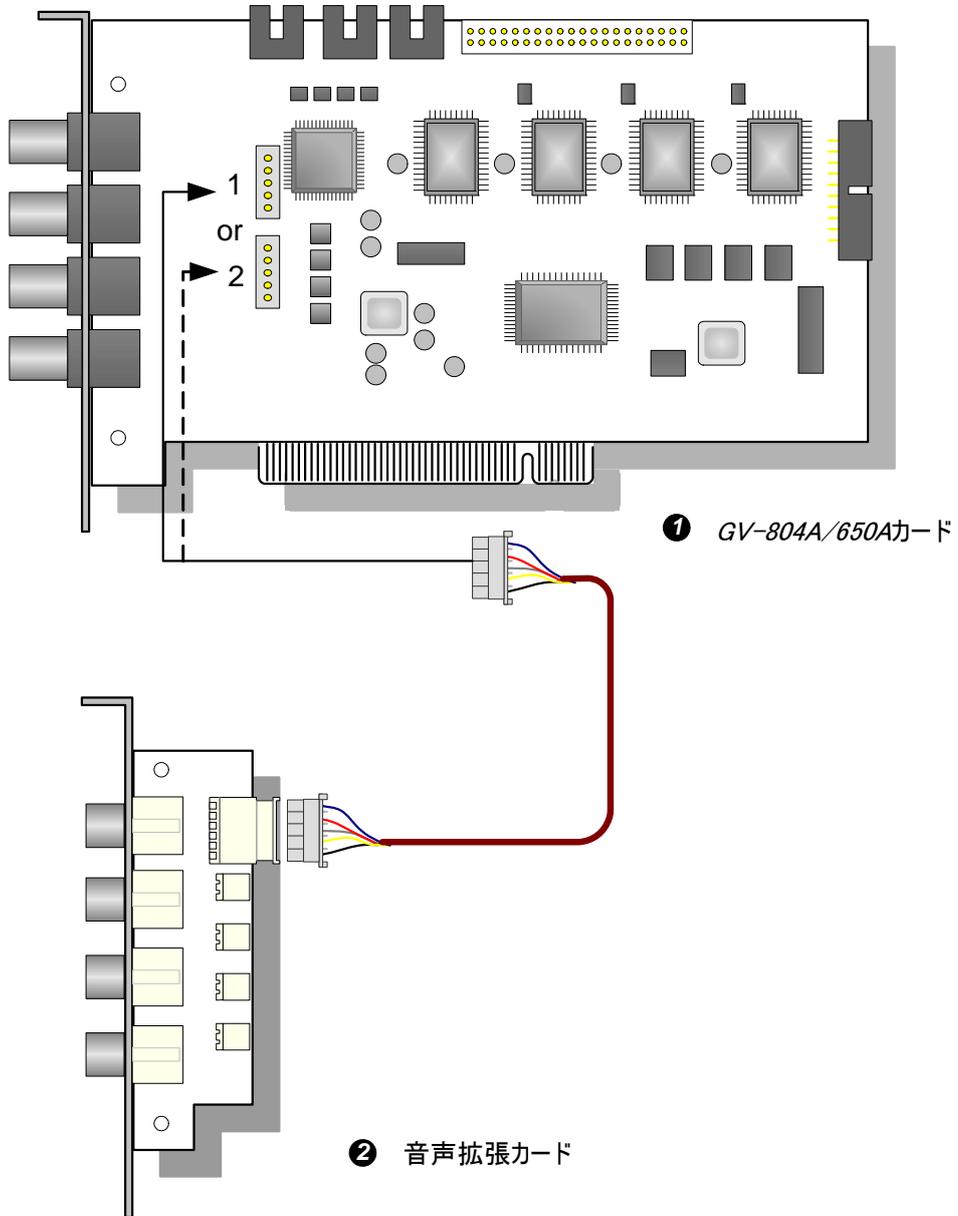


図 1-12 BNC 端子付き GV-650 または GV-804 カードの接続

GV-600A/GV-650A/GV-800A カードを 2 枚接続する

32 チャンネルでシステム構成する場合、同型番のカードを2 枚実装します。1-16 チャンネル側がマスターカードになり、17-32 チャンネルがスレーブカードになります。通常、PCI またはPCI-E スロットの小さい方の数に接続したカードがマスターになり、大きい方の数に接続したほうがスレーブになります。

- **GV-600A デュアルカード構成 2 個の音声チャンネルに対応:** マスターカードの音声 1 端子、スレーブカードの音声 5 端子にマイクを接続します。
- **GV-650A デュアルカード構成 4 個の音声チャンネルに対応:** マスターカードの音声 1、2 端子、スレーブカードの音声 5、6 端子にマイクを接続します。
- **ハードウェアウォッチドッグ接続:** 付属のハードウェアウォッチドッグジャンプワイヤをマスターカードに接続します。
- **アクセサリカード接続:**
 - GV-NET/IO カード: マスターカードのみに接続可能です。
 - GV ループスルーカード: それぞれのビデオキャプチャーカードにカードを接続します。
 - GV マルチクワッドカード: いずれかのカードに 1 枚だけカードを接続します。

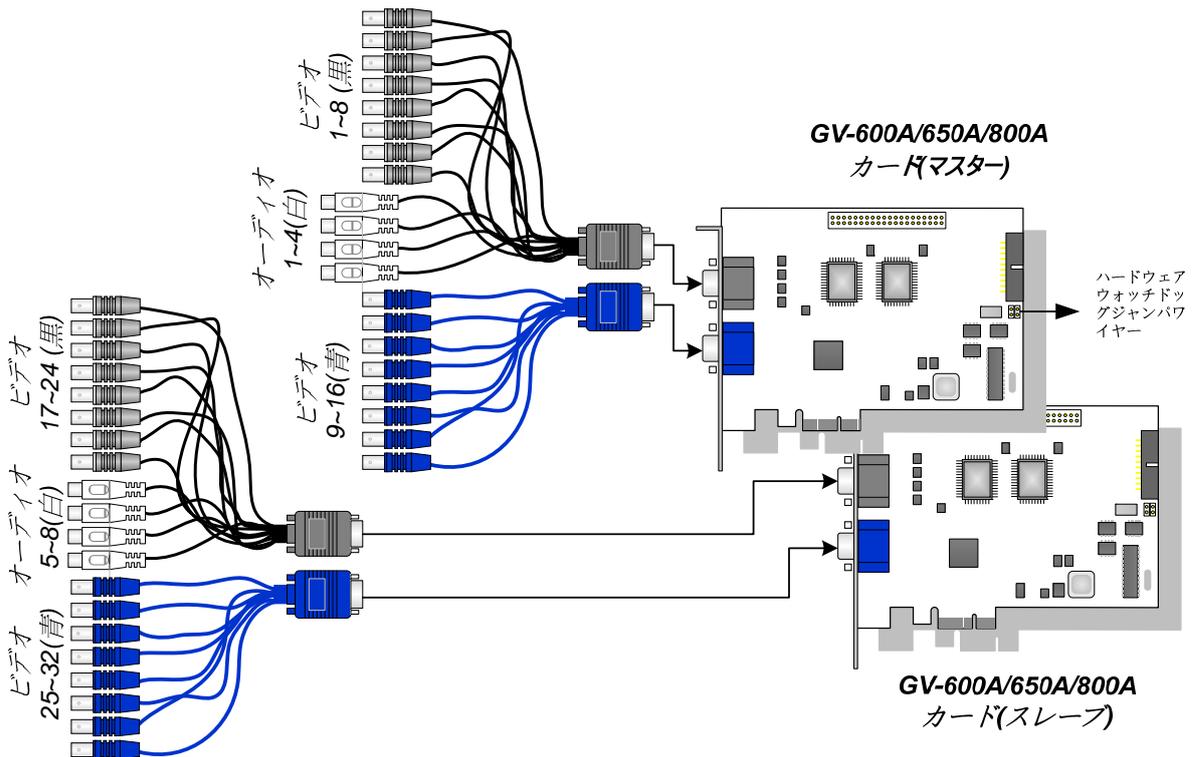


図 1-13

仕様

		GV-650A	GV-800A	
インターフェースのタイプ		PCI, PCI-E		
入力方式	BNC	BNC x 4		
	D 端子	DB15 x 2		
映像入力		4, 8, 16 カメラ(16 カメラは GV800A のみ)		
音声入力		2 チャンネル	4 チャンネル	
録画レート	CIF	NTSC	60 fps	120 fps
		PAL	50 fps	100 fps
	D1	NTSC	30 fps	60 fps
		PAL	25 fps	50 fps
表示レート	CIF	NTSC	60 fps	120 fps
		PAL	50 fps	100 fps
	D1	NTSC	30 fps	60 fps
		PAL	25 fps	50 fps
解像度	NTSC	720 x 480, 720 x 480 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 240, 320 x 240		
	PAL	720 x 576, 720 x 576 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 288, 320 x 240		
圧縮方式		Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2		
GV-NET/IO カードサポート		対応		
寸法(幅 x 高さ)	BNC	GV-650A	144 x 98 (mm) / 5.67 x 3.86 (in)	
		GV-804A	152 x 94 (mm) / 5.98 x 3.7 (in)	
	D 端子	GV-650A	144 x 98 (mm) / 5.67 x 3.86 (in)	
		GV-800A	174 x 98 (mm) / 6.85 x 3.86 (in)	

1.5 GV-600A

GV-600A カードには、BNC 端子付きと D 端子付きの 2 種類があります。BNC タイプは、4 個の映像チャンネルのみを提供し、拡張する場合は、映像および音声拡張カードが必要となります。D 端子タイプは、同時に最大 16 個の映像チャンネルおよび 1 個の音声チャンネルを提供することができます。

最低限必要となるシステム環境

OS	32ビット	Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008	
	64ビット	Windows 7 / Windows Server 2008	
CPU	GV-600A	Pentium Dual-Core 2.0 GHz	
	GV-600A x 2	Pentium Dual-Core 2.0 GHz	
RAM	Windows XP	2 x 512 MB デュアルチャンネル	
	Windows Vista / 7 / Server 2008	2 x 1 GB デュアルチャンネル	
HDD	GV-600A	80 GB	
	GV-600A x 2	160 GB	
VGA	ATI Radeon X600 / NVIDIA 6200		
DirectX	9.0c		

パッケージ内容

1. GV-600A カード x 1
2. 音声拡張カード x 1 **
3. ハードウェアウォッチドッグジャンパ線
4. 9-16 カメラ D 端子ケーブル x 1 *
5. ハードウェアウォッチドッグジャンパ線
6. ソフトウェア CD x 1
7. 機能ガイド x 1
8. インストールガイド x 1

* 10-16 カメラ D 端子ビデオキャプチャーカードに付属

** BNC ビデオキャプチャーカードに付属

GV-600A カードを 1 枚接続する

D 端子タイプのビデオキャプチャーカードの場合は、下図のとおり、黒い映像/音声ケーブルを GV-600A カードの黒い端子に、青い映像ケーブルを青い端子に差し込みます。

注: GV-600カードは、1個の音声チャンネルのみに対応しています。付属の1-8カメラ + 4音声ポート D端子ケーブルの音声ポートは、1個のみ機能します。

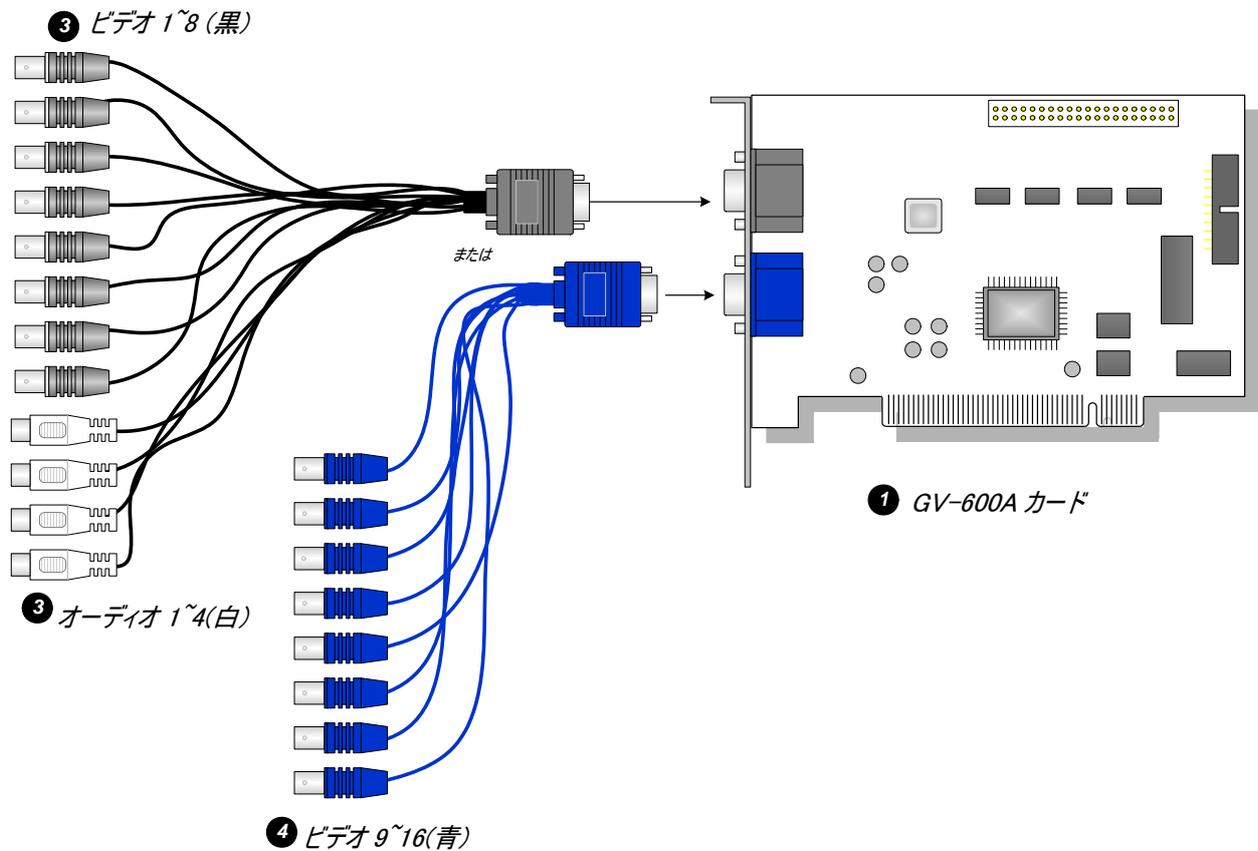


図 1-14 D 端子付き GV-600A カードの接続

BNC 端子付きビデオキャプチャーカードの場合は、下図の通り、音声拡張カードを GV-600A カードの No.1 または No.2 端子に接続します。

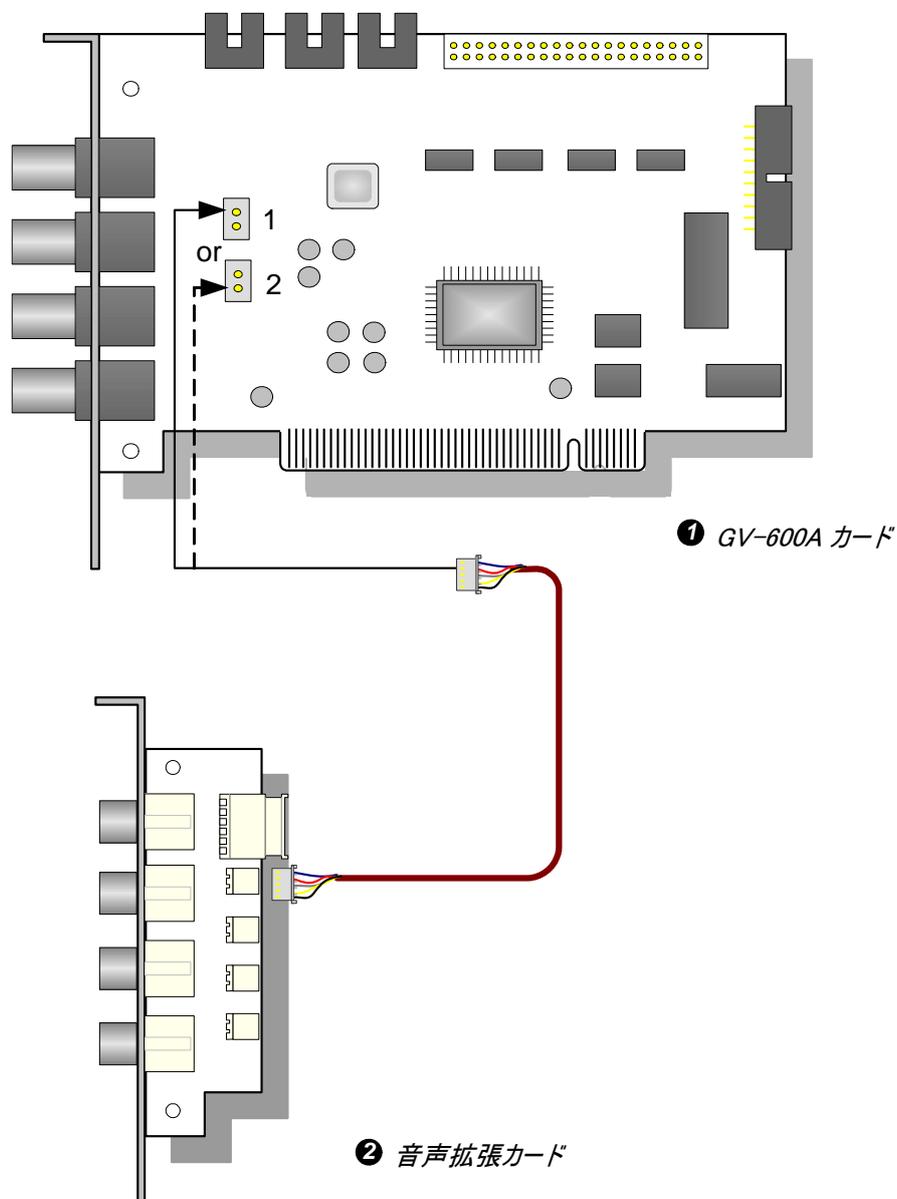


図 1-15 BNC 端子付き GV-600A カードの接続

GV-600A カードを 2 枚接続する

1.4 GV-650A、GV-800A の「GV-600A/GV-650A/GV-800A カードを 2 枚接続する」を参照してください。

仕様

GV-600A			
入力方式	BNC		BNC x 4
	D 端子		DB15 x 2
映像入力			4 カメラ
音声入力			1 チャンネル
録画レート	CIF	NTSC	30 fps
		PAL	25 fps
	D1	NTSC	15 fps
		PAL	12.5 fps
表示レート	CIF	NTSC	30 fps
		PAL	25 fps
	D1	NTSC	15 fps
		PAL	12.5 fps
解像度	NTSC	720 x 480, 720 x 480 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 240, 320 x 240	
	PAL	720 x 576, 720 x 576 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 288, 320 x 240	
圧縮方式			Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2
GV-NET/IO カードサポート			対応
寸法 (幅 x 高さ)			144 x 89 (mm) / 5.67 x 3.50 (in)

1.6 デュアルカードのインストール

最大32チャンネルの映像と音声に対応可能となります。同じモデルのビデオキャプチャーカードを2枚インストールします。例えば、2 x GV-800 カード (16 チャンネル) = 32 チャンネルになります。

異なるチャンネルの2枚のビデオキャプチャーカードを実装することも可能です。例えば、GV-800 カード (12チャンネル) + GV-800 カード (16 チャンネル) = 28 チャンネルになります。

注:

1. GV-804A カードを除くすべてのキャプチャーカードが、カードのデュアルカードをサポートします。
 2. V8.3.2から、GV-600 (V4)、GV-650 (V4)、GV-800 (V4) は、名称が変更され、GV-600A、GV-650A、GV-800Aに名称変更になりました。V4 カード、Aカードは、同じビデオキャプチャーカードです。
-

デュアルカードを利用するためのルール

GV ビデオキャプチャーカードのインターフェイスは2種類あります。PCI および PCI Express (PCI-E)です。ビデオキャプチャーカードを2枚インストールする場合、下記の組み合わせ方法で正しいスロットに取り付けください。

- GV-600A, GV-650A, GV-800A

カードの組合せ	V4.20 以降	V4.20 以降	
V4.20 以前	X	X	
V4.20 以降	X	GV-600A	PCI x 2
		GV-650A	PCI x 2
			PCI-E x 2
			PCI x 1+ PCI-E x 1
		GV-800A	PCI-E x 2
PCI x 1+ PCI-E x 1			

- バージョン 4.2 以降のカードのみデュアルカードに対応します。
- GV-600A カード 2 枚を PCI スロットに取り付けます。
- GV-650、GV-650A カードは PCI のモデルと PCI-Express のモデルがあります。PCI スロット 2 個、PCI Express スロット 2 個、または PCI スロットと PCI Express スロットそれぞれに取り付けます。
- GV-800 または GV-800A カードは、PCI Express スロット 2 個、または PCI スロットと PCI Express スロットそれぞれに取り付けます。

- GV-1120A, GV-1240A, GV-1480A

カードの組合せ	GV-1120/GV-1240/GV-1480	GV-1120A/GV-1240A/ GV-1480A
GV-1120/GV-1240/GV-1480	PCI-E x 2	X
	PCI x 1+ PCI-E x 1	
GV-1120A/GV-1240A/ GV-1480A	X	PCI-E x 2

- GV-1120 2 枚、GV-1240 2 枚、GV-1480 2 枚 および GV-1120A 2 枚、GV-1240A 2 枚、GV-1480A 2 枚での組み合わせでデュアルカードに対応します。
- GV-1120 と GV-1120A、GV-1240 と GV-1240A、GV-1480 と GV-1480A それぞれを組み合わせでご利用いただくことはできません。
- GV-1120、GV-1240、GV-1480 のカード 2 枚を、PCI Express スロット 2 個、または PCI スロットと PCI Express スロットそれぞれに取り付けます。
- GV-1120A、GV-120A、GV-1480A のカード 2 枚を PCI Express スロットに取り付けます。

シングルカードとダブルカードの比較表

• GV-600A、GV-650A、GV-800A

GV-600A/GV-650A/GV-800A	シングルカード		デュアルカード	
映像入力	カメラ 1-16 台		カメラ 2-32 台	
音声入力	GV-600A	1 チャンネル (Ch1)	GV-600A	2 チャンネル (Ch1, Ch17)
	GV-650A	2 チャンネル (Ch1-Ch2)	GV-650A	4 チャンネル (Ch1-Ch2, Ch17-Ch18)
	GV-800A	4 チャンネル (Ch1-Ch4)	GV-800A	8 チャンネル (Ch1-Ch4, Ch17-Ch20)
サポートの有無				
GV-NET/IO カード	○		○ ¹	
GV ループスルーカード	○		○ ²	
GV マルチクワッドカード	○		○ ³	

• GV-1120A, GV-1240A, GV-1480A, GV-1008

GV-1120A/GV-1240A/ GV-1480A/GV1008	シングルカード	デュアルカード
映像入力	カメラ 8-16 台	カメラ 16-32 台
音声入力	8-16 チャンネル	16-32 チャンネル
サポートの有無		
GV-NET/IO カード	○	○ ¹
GV ループスルーカード	○	○ ²
GV マルチクワッドカード	○	○ ³

注:

1. GV-NET/IO カードは、1～16 チャンネルのビデオキャプチャーカードに接続します。
2. 各ビデオキャプチャーカードに、GV ループスルーカードを接続できます。
3. 2 枚のカードのいずれか一方のみに、1 枚の GV マルチクワッドカードを接続します。

1.7 ドライバのインストール

GV キャプチャーカードをコンピュータにインストールすると、ハードウェアの検出ウィザードにより、自動でデバイスが検出されます。このウィザードはキャンセルし、次の手順を実行してドライバをインストールします。

1. ソフトウェア CD を挿入します。自動的に実行され、メニューウィンドウが表示されます。
2. GeoVision GV-Series ドライバーのインストール / 削除を選択します。
3. 次のダイアログボックスが表示されます。

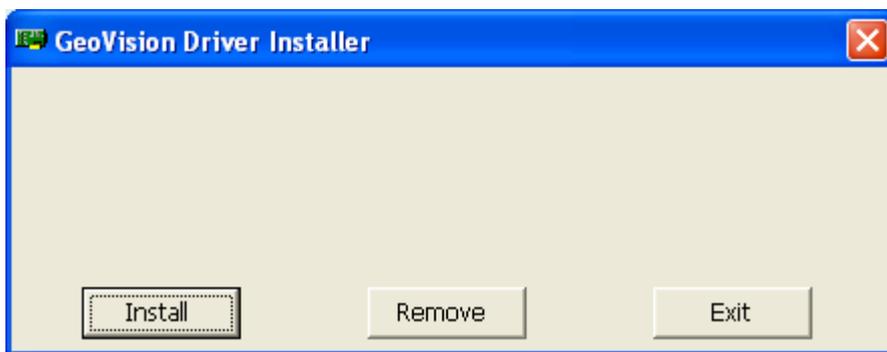


図 1-16

4. **Instal** をクリックしてドライバをインストールします。インストールが完了すると、次のメッセージが表示されます。Install Successfully.
5. **Exit** をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

注:

1. Windows XPの場合は、ウィザードはインストール後に自動で終了します。Windows 2000の場合は、手動でウィザードを閉じます。
 2. GV-4008 のカードを2枚インストールする場合、ドライバのインストール終了後、コンピュータを再起動させる必要があります。
-

ドライバがインストールされたことを確認するには、デバイスマネージャを開き、次の項目が表示されていることを確認します。

[DVR-Devices] を展開すると、次のエントリが表示されます:

モデル	エントリ
GV-604A	GV604(V4) 音声 GV604(V4) ビデオキャプチャ
GV-600A	GV600(V4) 音声 GV600(V4) ビデオキャプチャ
GV-650A	GV650(V4) 音声#1 - #2 GV650(V4) ビデオキャプチャ#1 - #2
GV-804A	GV800 音声#1 - #4 GV800_4A ビデオキャプチャ#1 - #4
GV-800A	GV800(V4) 音声#1 - #4 GV800(V4) ビデオキャプチャ#1 - #4
GV-1008	GV1480A/GV1240A/GV1248A/GV1120A/GV1008
GV-1120A	GV1480A/GV1240A/GV1248A/GV1120A/GV1008
GV-1240A	GV1480A/GV1240A/GV1248A/GV1120A/GV1008
GV-1480A	GV1480A/GV1240A/GV1248A/GV1120A/GV1008
GV-4008	GV4008 GV シリーズ USB プロテクタ

1.8 ハードウェアウォッチドッグの接続

GV キャプチャーカードのハードウェアウォッチドッグによりコンピュータを再起動するには、カードとマザーボードを接続する必要があります。

1. 付属のジャンプワイヤーを使用して、カードのリセットジャンパピンとマザーボードのリセットジャンパピンを接続します。

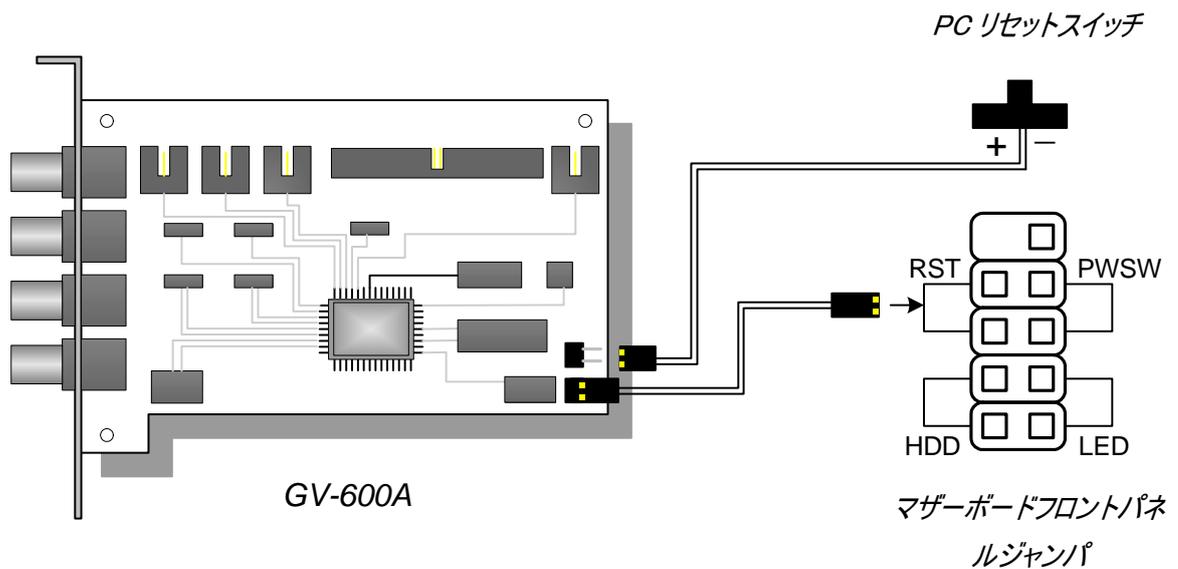


図 1-17 ウォッチドッグの接続

2. コンピュータにリセットスイッチがある場合は、既にもリセットスイッチのジャンプワイヤーがマザーボードのリセットジャンパピンに接続されています。スイッチワイヤーをマザーボードから取り外し、カードのリセットジャンパピンに接続します。

1.9 比較表(ハードウェア圧縮)

		GV-4008	GV-4008 x 2
入力方式		DVI x 2	DVI x 4
映像入力		8	16
合計録画レート (720x480)	NTSC	240 fps	480 fps
	PAL	200 fps	400 fps
表示レート	NTSC	240 fps	480 fps
	PAL	200 fps	400 fps
ビデオコーデック	H/W	H.264	
	S/W	Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2	
ビデオ解像度	NTSC	H/W	720 x 480
		S/W	360 x 240
	PAL	H/W	720 x 576
		S/W	360 x 288
音声入力		8	16
音声コーデック		ADPCM 8Khz 4ビット モノラル	
GV マルチクワッドカードサポート		X	X
GV ループスルーカードサポート		X	X
GV-NET/IO カードサポート		○ ¹	○ ¹
GV-I/O 12 入力カードサポート		○ ¹	○ ¹
GV-I/O 12 出力カードサポート		○ ¹	○ ¹
GV-I/O サポート		○	○
ハードウェアウォッチドッグ		○	○
最低限必要となるシステム環境			
OS		Windows XP (32ビット) / Vista (32ビット) / Server 2008 (32ビット)	
DirectX		9.0c	
CPU		Core 2 Duo, 2.33G	Core 2 Quad, 2.4G
RAM		2 x 1 GB デュアルチャンネル	
HDD		250 GB	500 GB
VGA		ATI Radeon X1300 PCI-E / NVIDIA GeForce 7300 PCI-E	
注:			
1. GV-Net/IO Card V3.1 は、I/O ボックスモードに設定し、USB を使ってコンピュータに接続する必要があります。			
2. 製品仕様は予告無しに変更される場合があります。			

1.10 比較表(ソフトウェア圧縮: シングルカード)

			GV-600A	GV-650A	GV-800A
入力方式			BNC / D 端子		
映像入力			4	4, 8	4, 8, 16
合計録画レート	CIF	NTSC	30 fps	60 fps	120 fps
		PAL	25 fps	50 fps	100 fps
	D1	NTSC	15 fps	30 fps	60 fps
		PAL	12.5 fps	25 fps	50 fps
表示レート	CIF	NTSC	30 fps	60 fps	120 fps
		PAL	25 fps	50 fps	100 fps
	D1	NTSC	15fps	30 fps	60 fps
		PAL	12.5 fps	25 fps	50 fps
ビデオコーデック			Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2		
ビデオ解像度	NTSC		720 x 480, 720 x 480 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 240, 320 x 240		
	PAL		720 x 576, 720 x 576 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 288, 320 x 240		
音声入力			1	2	4
音声コーデック			ADPCM 8KHz 4ビット モノラル		
GV マルチクワッドカードサポート			○	○	○
GV ループスルーカード			○	○	○
GV-NET/IO カードサポート			○	○	○
GV-I/O 12 入力カードサポート			○	○	○
GV-I/O 12 出力カードサポート			○	○	○
GV-I/O サポート			○	○	○
ハードウェアウォッチドッグ			○	○	○
最低限必要となるシステム環境					
OS	Windows XP (32ビット) / Vista (32ビット) / 7 (32ビット / 64ビット) / Server 2008 (32ビット / 64ビット)				
DirectX	9.0c				
CPU	Pentium Dual-Core 2.0 GHz	Pentium Dual-Core 2.0 GHz	Core 2 Duo 2.53GHz		
RAM	2 x 512 MB デュアルチャンネル (Windows XP)				
	2 x 1 GB デュアルチャンネル (Windows Vista / 7 / Server 2008)				
HDD	80 GB				
VGA	ATI Radeon X600A / NVIDIA 6200				
注: 製品仕様は予告無しに変更される場合があります。					

GV-1008	GV-1120A	GV-1240A	GV-1480A
D 端子 / DVI 端子			
8	8, 12, 16	8, 16	16
240 fps	120 fps	240 fps	480 fps
200 fps	100 fps	200 fps	400 fps
240 fps	80 fps	120 fps	240 fps
200 fps	72 fps	100 fps	200 fps
240 fps	480 fps	480 fps	480 fps
200 fps	400 fps	400 fps	400 fps
240 fps	480 fps	480 fps	480 fps
200 fps	400 fps	400 fps	400 fps
Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2			
720 x 480, 720 x 480 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 240, 320 x 240			
720 x 576, 720 x 576 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 288, 320 x 240			
8	8, 12, 16	8, 16	16
ADPCM 8Khz 4 ビット モノラル			
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
最低限必要となるシステム環境			
Windows XP (32 ビット) / Vista (32 ビット) / 7 (32 ビット / 64 ビット) / Server 2008 (32 ビット / 64 ビット)			
9.0c			
Core 2 Duo, 3.0 GHz	Core 2 Duo 2.53GHz	Core 2 Duo 2.53GHz	Core 2 Quad 2.4GHz
2 x 512 MB デュアルチャンネル (Windows XP)			
2 x 1 GB デュアルチャンネル (Windows Vista / 7 / Server 2008)			
250GB	80 GB	120 GB	250 GB
ATI Radeon X1300 PCI-E / NVIDIA GeForce 7300 PCI-E			
<p>1. 画像処理拡張機能を使用するには、少なくとも 1 GB のメモリが必要です。</p> <p>2. 次の機能を複数同時に利用するには、少なくとも 2 GB のメモリが必要です。画像処理拡張、映像処理、IP カメラ、およびメモリによるプリ録画。</p> <p>3. 製品仕様は予告無しに変更される場合があります。</p>			

1.11 比較表(ソフトウェア圧縮: デュアルカード)

			GV-600A x 2	GV-650A x 2	GV-800A x 2
入力方式			BNC / D 端子	BNC / D 端子	D 端子
映像入力			8(最大)	32 (最大)	16, 24, 32
合計録画レート	CIF	NTSC	60 fps	120 fps	240 fps
		PAL	50 fps	100 fps	200 fps
	D1	NTSC	30 fps	60 fps	120 fps
		PAL	25 fps	50 fps	100 fps
表示レート	CIF	NTSC	60 fps	120 fps	240 fps
		PAL	50 fps	100 fps	200 fps
	D1	NTSC	30 fps	60 fps	120 fps
		PAL	25 fps	50 fps	100 fps
ビデオコーデック			Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2		
ビデオ解像度	NTSC		720 x 480, 720 x 480 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 240, 320 x 240		
	PAL		720 x 576, 720 x 576 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 288, 320 x 240		
音声入力			2	4	8
音声コーデック			ADPCM 8Khz 4 ビット モノラル		
GV マルチクワッドカードサポート			○	○	○
GV ループスルーカードサポート			○	○	○
GV-NET/IO カードサポート			○	○	○
GV-I/O 12 入力カードサポート			○	○	○
GV-I/O 12 出力カードサポート			○	○	○
GV-I/O サポート			○	○	○
ハードウェアウォッチドッグ			○	○	○
最低限必要となるシステム環境					
OS			Windows XP (32ビット) / Vista (32ビット) / 7 (32ビット / 64ビット) / Server 2008 (32ビット / 64ビット)		
DirectX			9.0c		
CPU			Pentium Dual-Core 2.0GHz	Pentium Dual-Core 2.0GHz	Core 2 Duo 2.53GHz
RAM			2 x 1 GB デュアルチャンネル		
HDD			160 GB		
VGA			ATI Radeon X600 NVIDIA 6200		ATI Radeon X1300 PCI-E / NVIDIA GeForce 7300 PCI-E
注: 製品仕様は予告無しに変更される場合があります。					

GV-1008 x 2	GV-1120A x 2	GV-1240A x 2	GV-1480A x 2
D 端子 / DVI 端子			
16	16, 20, 24, 28, 32	16, 24, 32	32
480 fps	240 fps	480 fps	960 fps
400 fps	200 fps	400 fps	800 fps
480 fps	160 fps	240 fps	480 fps
400 fps	144 fps	200 fps	400 fps
480 fps	960 fps	960 fps	960 fps
400 fps	800 fps	800 fps	800 fps
480 fps	960 fps	960 fps	960 fps
400 fps	800 fps	800 fps	800 fps
Geo MPEG4, Geo MPEG4 (ASP), Geo H264, Geo H264 V2			
720 x 480, 720 x 480 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 240, 320 x 240			
720 x 576, 720 x 576 デインターレース, 640 x 480, 640 x 480 デインターレース, 360 x 288, 320 x 240			
16	16, 20, 24, 28, 32	16, 24, 32	32
ADPCM 8Khz 4 ビット モノラル			
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
○	○	○	○
最低限必要となるシステム環境			
Windows XP (32ビット) / Vista (32ビット) / 7 (32ビット / 64ビット) / Server 2008 (32ビット / 64ビット)			
9.0c			
Core i5-750, 2.66 GHz	Core 2 Duo, 2.53 GHz	Core 2 Duo, 2.53 GHz	Core 2 Quad, 2.4 GHz
2 x 1 GB デュアルチャンネル			
500 GB	160 GB	250 GB	500 GB
ATI Radeon X1300 PCI-E / NVIDIA GeForce 7300 PCI-E			
<p>注: 製品仕様は予告無しに変更される場合があります。</p>			

第 2 章 ハードウェアアクセサリ

本章では、次の項目について説明します。

- システム要件
- パッケージ内容
- 配線図
- 仕様
- ドライバのインストール

2.1 GVマルチクアドカード

GV マルチクアドカードは、5つのテレビモニタ(スポットモニタ)と接続することが可能です。1つのポートが16分割スクリーンをサポートしているほか、他の4つのポートは単画面と4分割画面をサポートしています。また、チャンネルシーケンスを自由に定義でき、分割画面上での表示位置を変更することができます。

GV システムの操作に関する詳細は、監視システムソフトウェア CD のユーザーズマニュアル 第 1 章 *スポットモニタコントロールの設定* を参照してください。

システム要件

- GV システム バージョン 8.1 以上

パッケージ内容

1. GV マルチクアドカード x 1
2. 1-5 D 端子映像ケーブル x 1
3. 40ピンリボンケーブル x 1
4. 10ピンコネクタ 4つ付き 40ピンリボンケーブル x 1
5. インストールガイド x 1

接続

- 下図のとおり、付属のリボンケーブルを使用して、GV マルチクアドカードを GV ビデオキャプチャーカードに接続します。

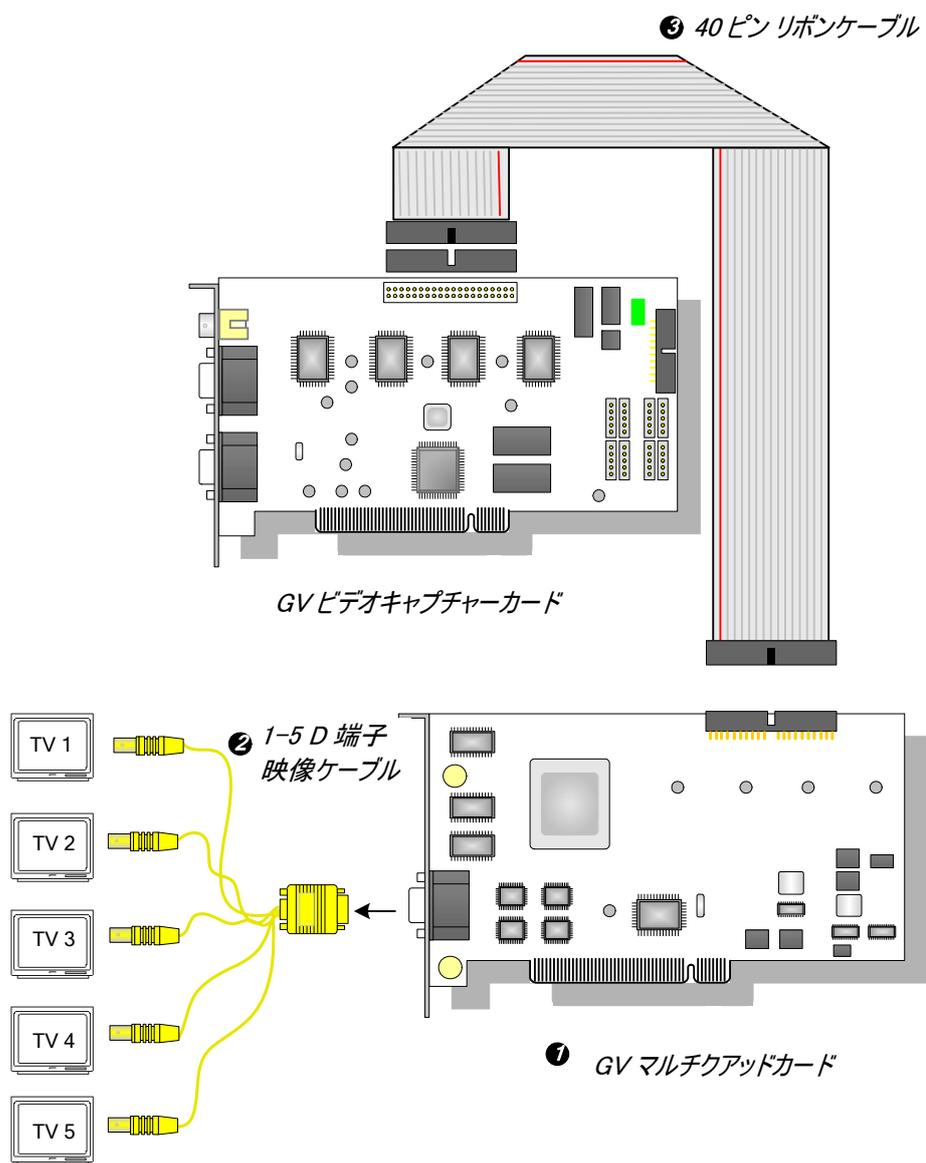


図 2-1 GV マルチクアドカードの接続

2 枚のビデオキャプチャーカードへの接続

コンピュータに 2 枚のビデオキャプチャーカードを実装している場合は、これらのカードのいずれか 1 枚だけに GV マルチクワッドカードを接続します。

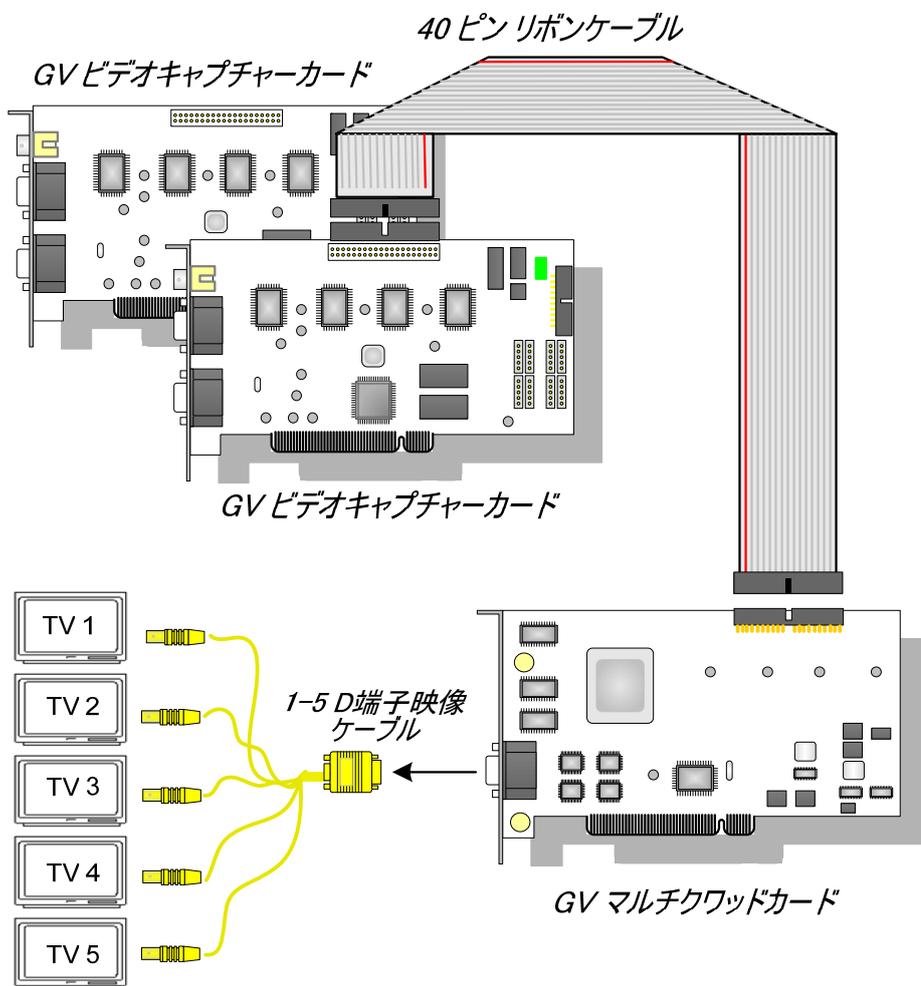


図 2-2

ドライバのインストール

GV マルチクアドカードをコンピュータにインストールすると、新しいハードウェアの検出ウィザードにより、自動的にデバイスが検出されます。このウィザードを無視して、1.5 ドライバのインストール の手順に従ってドライバをインストールします。

ドライバが正しくインストールされていることを確認します。デバイスマネージャを開き、サウンド、ビデオおよびゲームコントローラを展開すると、**GVTVOUT Audio #A** と **GVTVOUT Video Capture #A** のエントリを見つけることができます。

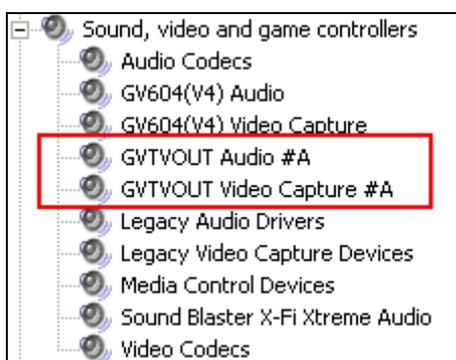


図 2-3 GV マルチクアドカードドライバの確認

仕様

GV ビデオキャプチャーカードのインターフェース	40 ピンコネクタ
TV 出力	DB15/5BNC コネクタ
入力信号	16 チャンネル
テレビモニタレイアウト	ポート 1: 最大 16 分割に対応 ポート 2～ポート 5: 単画面/4 分割対応
対応モデル	GV ビデオキャプチャーカード全モデル
寸法 (幅 x 高さ)	178 x 104 (mm) / 7.01 x 4.09 (in)

2.2 GVループスルーカード

GV ループスルーカードは、映像信号を GV ビデオキャプチャーカードから内部デバイス処理を行うことなく直接取り込むことにより、画質を損なうことなく分配するためのカードです。このカードは、入力された映像信号を、ユーザーの必要に応じて外部のモニタなどに出力することができます。

パッケージ内容

- | | |
|------------------------|-----------------------------------|
| 1. GV ループスルーカード x 1 | 4. 40ピンリボンケーブル x 1 |
| 2. 1-8 D 端子映像ケーブル x 1 | 5. 10ピンコネクタ 4 つ付き 40ピンリボンケーブル x 1 |
| 3. 9-16 D 端子映像ケーブル x 1 | 6. インストールガイド x 1 |

概要

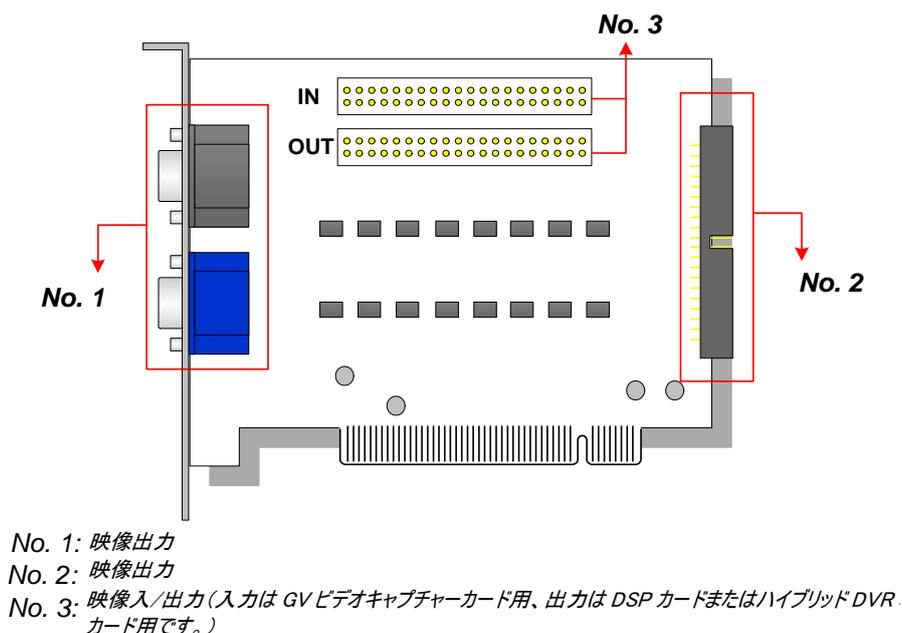


図 2-4 GV ループスルーカード

注:

- No.2 映像出力には、追加の D 端子拡張カードが必要となります。
- No.1 または No.2 のいずれか 1 つを映像出力として選択します。これら 2 つを同時に使用した場合、画質が劣化する可能性があります。
- No. 3 には、GV シリーズのみを接続してください(例えばビデオキャプチャーカード、DSP カード、ハイブリッド DVR カードなど)。その他のデバイスは絶対に使用しないでください。

接続

- 下図のとおり、D 端子ケーブルと GV ビデオキャプチャカードを GV ループスルーカードに接続します。
- GV-2004、GV2008 カードとの接続には、付属のリボンケーブルの 10 ピンコネクタが4つ付いている方の先端を利用します。GV-2004 または GV-2008 カードのコネクタに付いた番号に対応する適切なケーブルをコネクタに差し込みます。例えば、2 つの GV-2008 カードを接続するときは、“(1-4) 1”と“(5-8) 1”のコネクタをマスターGV-2008 カードのビデオ入力 1-4 と 5-8 と接続します。そして、“(1-4) 2”と“(5-8) 2”のコネクタをサブ GV-2008 カードのビデオ入力と接続します。

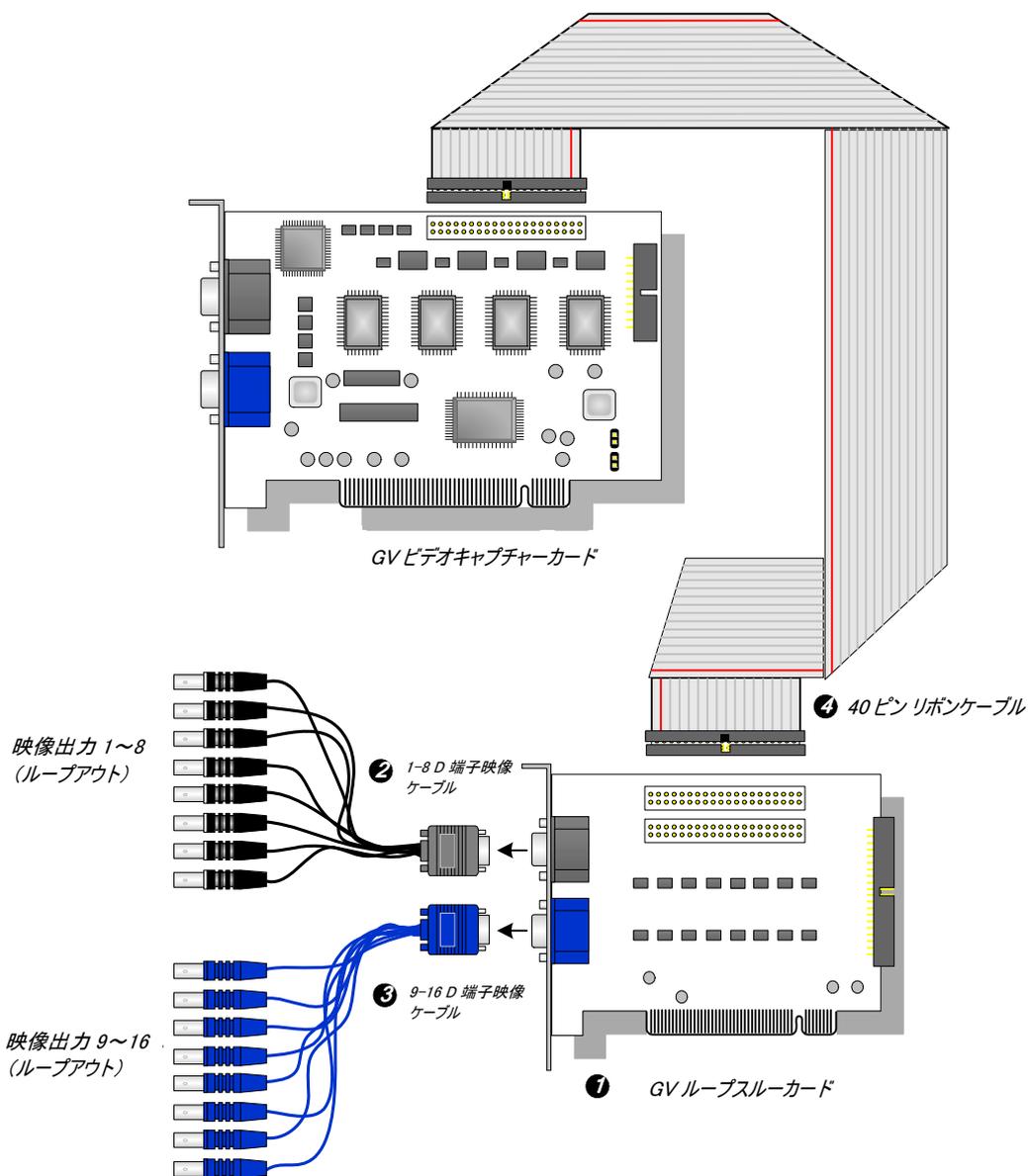


図 2-5 GV ループスルーカードの接続

2 枚のビデオキャプチャーカードへの接続

お使いのシステムに 2 枚のビデオキャプチャーカードを挿入している場合は、GV ループスルーカードをそれぞれのビデオキャプチャーカードに接続できます。

仕様

GVビデオキャプチャーカードのインターフェース	40ピンコネクタ x 2
出力インターフェース	DB15 端子 x 2
	40ピンコネクタ x 1
入力信号	16 チャンネル
互換モデル	GVビデオキャプチャーカード全モデル
寸法 (幅 x 高さ)	130 x 98 (mm) / 5.12 x 3.86 (in)

2.3 GV-NET カードV3.1

GV-NET カードは、RS-485/RS-232 インターフェイスコンバータです。このカードはお使いのコンピュータの RS-232 ポートまたは USB ポートに接続でき PTZ ドームなどの RS-485 デバイスをカードを通じて接続することができます。

パッケージ内容

1. GV-NET カード x 1
2. RJ-11 - DB9 ケーブル x 1
3. RJ-11 - USB ケーブル x 1
4. 3ピン内部 USB ケーブル x 1
5. 4ピン - 4ピン ミニ電源ケーブル x 1
6. インストールガイド x 1

概要

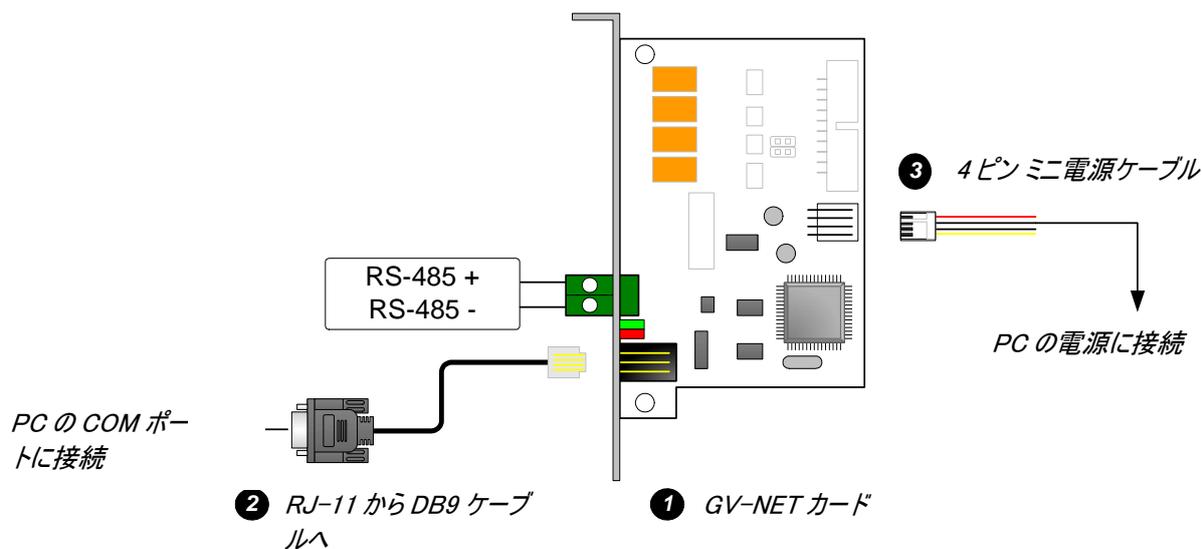


図 2-6 GV-NET カード V3.1 の接続

注: GV-NET カードは、RS-485 / RS-232 データ変換のみを提供します。GV ビデオキャプチャカードに接続する必要はありません。

RS-485 デバイスの接続

GV-NET カードを RS-485 デバイスに接続するには、3 つの方法があります。以下の図を参照してください。

1. RS-485 デバイスの接続時、RJ-11 - DB9 ケーブルを PC の COM ポートに接続できます。

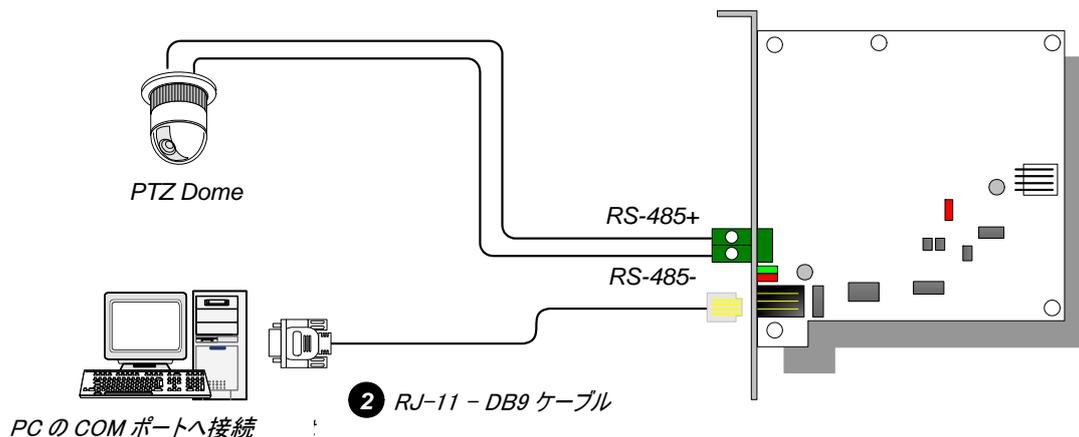


図 2-7

2. RS-485 デバイスの接続時、USB ケーブルを PC の USB ポートに接続できます。

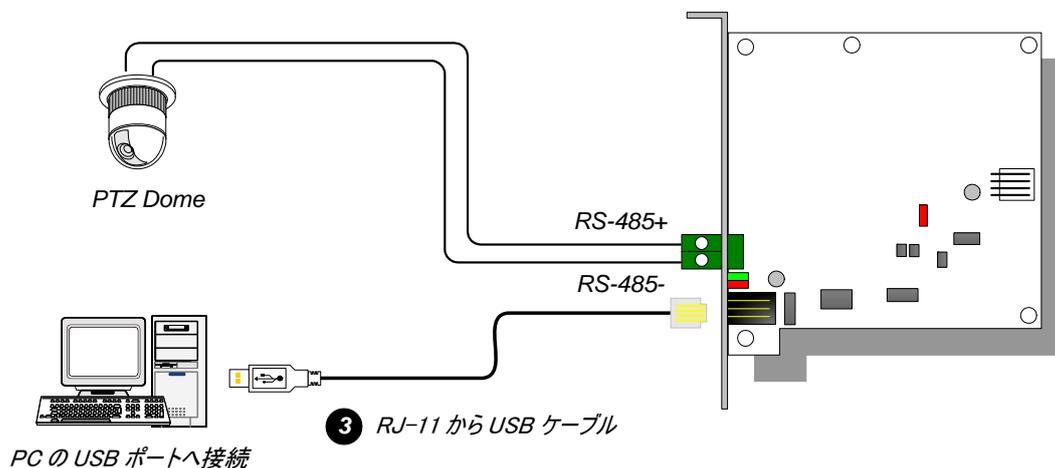


図 2-8

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、2.19 USB ドライバのインストールを参照してください。

3. RS-485 デバイスの接続時、3ピン内部 USB ケーブルを PC のマザーボードの USB コネクタに接続できます。

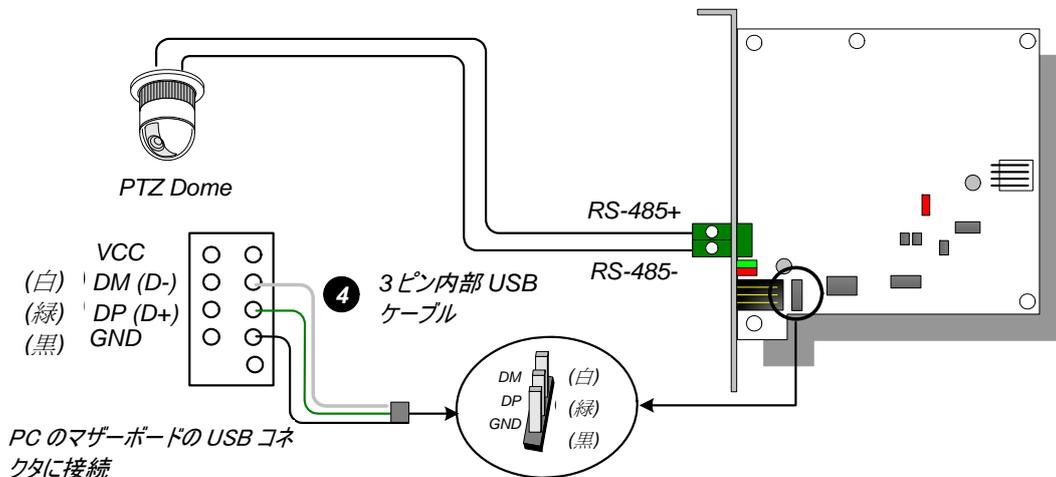


図 2-9

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、[2.19 USB ドライバのインストール](#)を参照してください。

仕様

インターフェース	RJ-11 - DB9 (RS-232)
	RJ-11 から USB
	3ピン内部 USB ケーブルから内部 USB
	RS-485+ / RS-485-
通信	RS-485 1,200~115,200 bps; USB
動作環境	0~50°C / 32~122°F 5%~95%(結露無き事)
互換モデル	GV ビデオキャプチャーカード全モデル
寸法 (幅 x 高さ)	97 x 90 (mm) / 3.82 x 3.54 (in)

2.4 GV-NET/IO カードV3.1

GV-NET/IO カードは、RS-485 / RS-232 インターフェースコンバータであり、同時に 4 つの入力と 4 つのリレー出力を提供します。DC と AC 両方の出力電圧をサポートしています。

主な機能

- USB ポートは PC 接続用であり、30 DC 出力電圧が使われています。
- 機能の拡張に、NET/IO カードモードと I/O ボックスモードの 2 つのモード間で切り替えが可能です。
- I/O ボックスモード時は、最高 4 つの GV-NET/IO カードを一緒に繋げることが可能です。
- I/O ボックスモード時は、独立のデバイスとして機能します。

パッケージ内容

1. GV-NET/IO カード x 1
2. 4 端子付き 20 ピンリボンケーブル x 1
3. RJ-11 - DB9 ケーブル x 1
4. RJ-11 - USB ケーブル x 1
5. 3 ピン内部 USB ケーブル x 1
6. 4 ピン - 4 ピン ミニ電源ケーブル x 1
7. インストールガイド x 1

概要

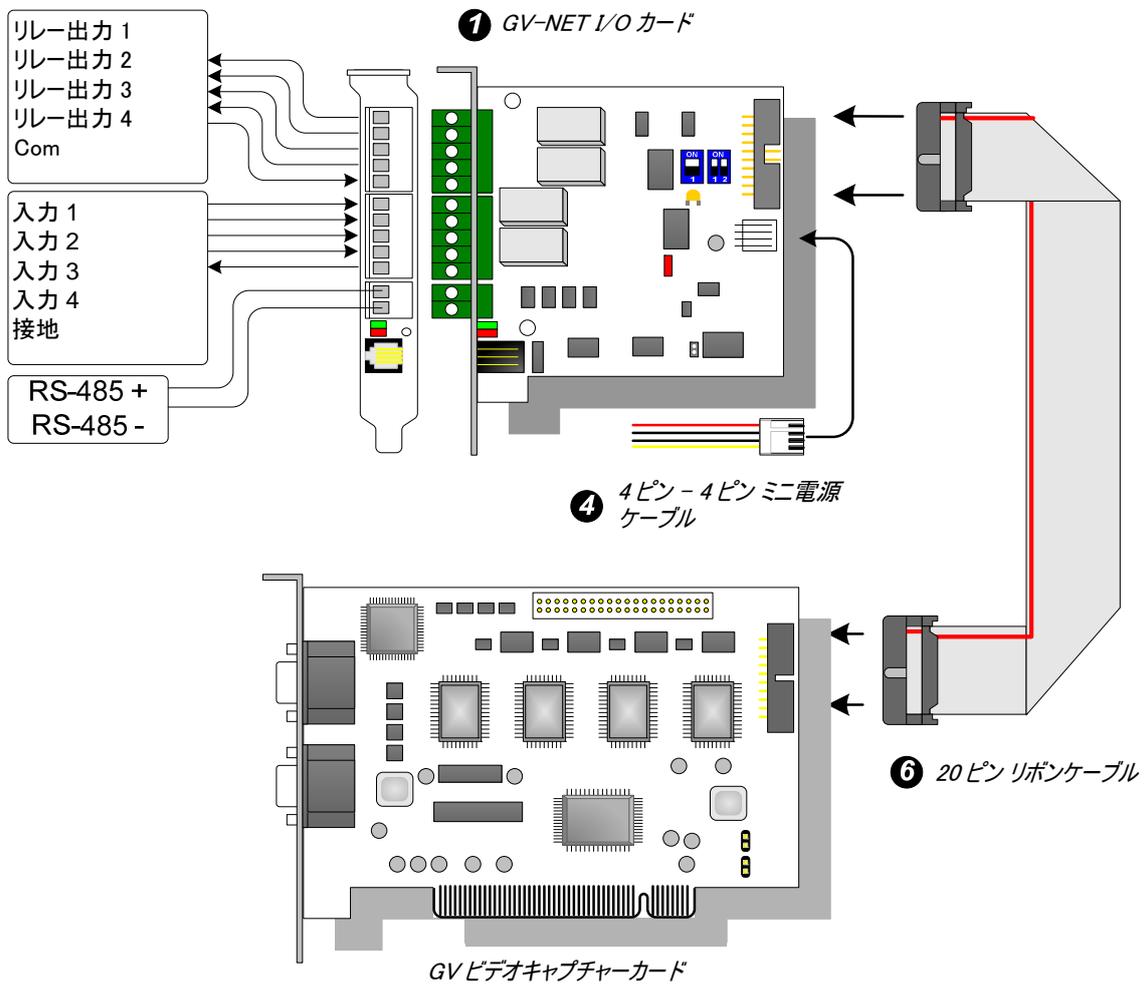


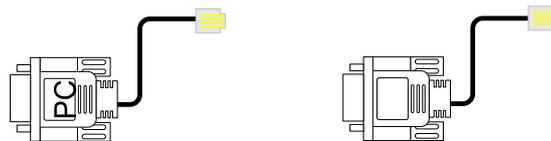
図 2-10 GV-NET/IO カードの接続

注:

1. 古いバージョンに付属の RJ-11 - DB9 ケーブルは GV-NET/IO カード V3.1 と互換性がありません。

PC Mark 有り Version 3.1

PC Mark なしの古いバージョン



2. GV-NET/IO カード V3.1 が I/O ボックスモードの場合、V3.0 以前のバージョンの GV-IO 12 入力カードとは互換性がありません。
3. I/O 操作におけるノイズ障害を防ぐために、GV-NET/IO カードを PC ケースにネジでしっかりと固定します。

2 枚のビデオキャプチャーカードへの接続

お使いのシステムで2枚のビデオキャプチャーカードを挿入している場合は、GV-NET/IO カードをそれぞれのビデオキャプチャーカードの 1～16 チャンネルに接続します。

NET/IO カードモードでの接続

NET/IO カードモードでの接続に関しては、以下の手順に従ってください。

- GV-NET/IO カードは 20 ピンリボンケーブルを使って GV ビデオキャプチャーカードに接続する必要があります。
- GV-NET/IO カードを RS-485 デバイスに接続するには、3 つの接続方法があります。以下を参照してください。

GV-NET/IO カードと RS-485 デバイスの 3 つの接続方法:

1. RS-485 デバイスの接続時、RJ-11 - DB9 ケーブルを PC の COM ポートに接続できます。
(AC/DC 出力電圧使用可能)

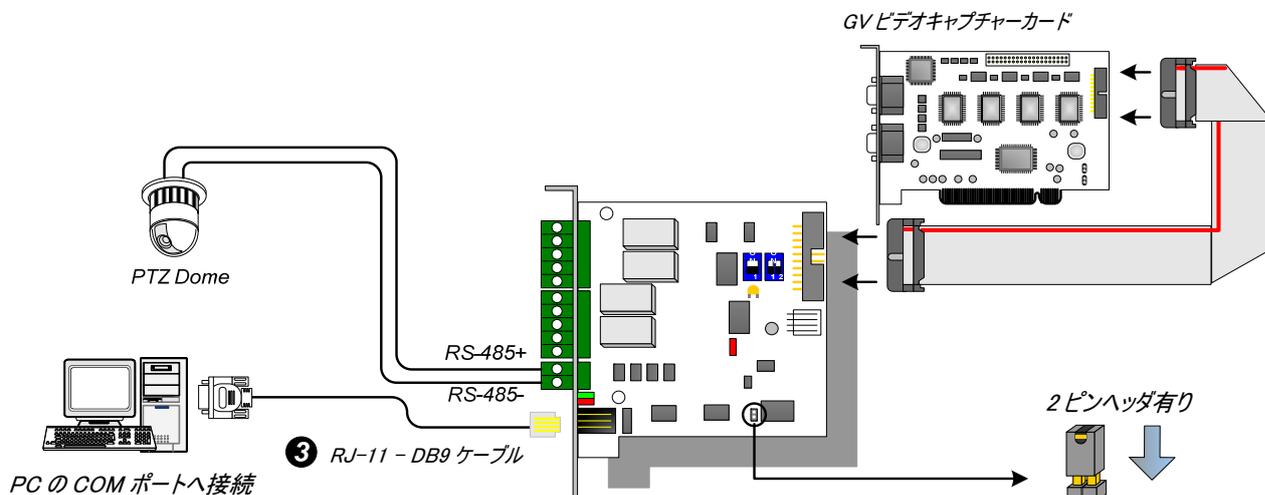


図 2-11

2. RS-485 デバイスの接続時、USB ケーブルを PC の USB ポートに接続できます。(AC/DC 出力電圧使用可能)

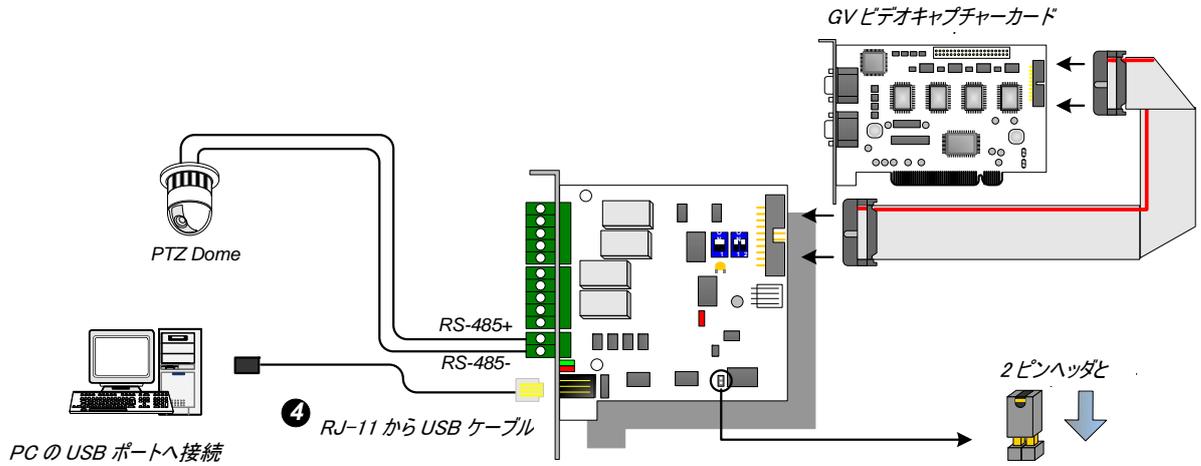


図 2-12

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、2.19 USB ドライバのインストールを参照してください。

3. RS-485 デバイスの接続時、3 ピン内部 USB ケーブルを PC のマザーボードの USB コネクタに接続できます。(AC/DC 出力電圧使用可能)

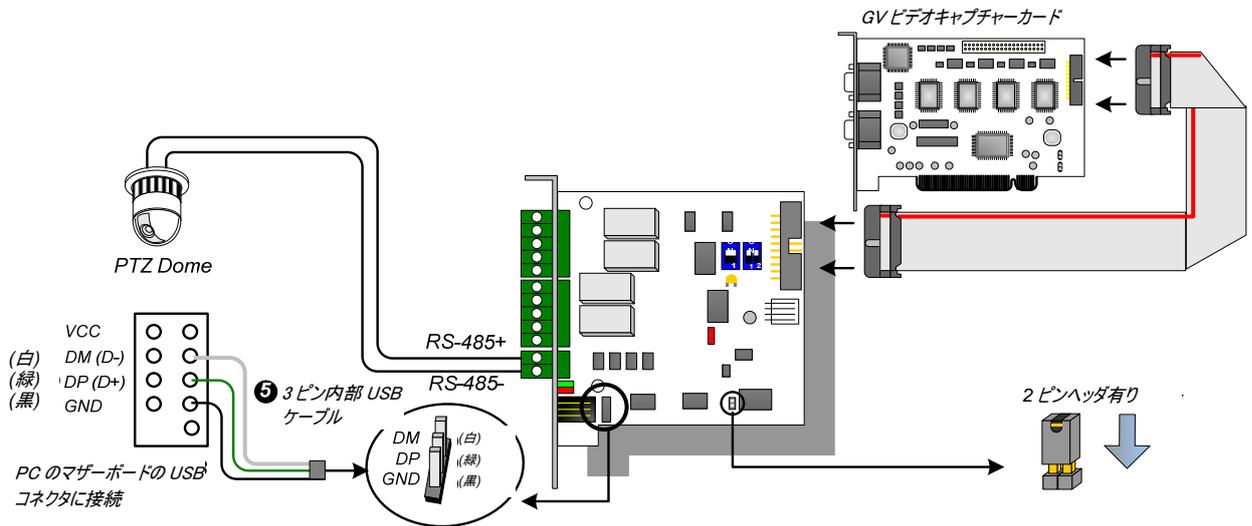


図 2-13

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、2.19 USB ドライバのインストールを参照してください。

I/O ボックスモードでの接続

NET/IO カードモードでの接続に関しては、以下の手順に従ってください。

- GV-NET/IO カードを GV ビデオキャプチャーカードに接続する必要はありません。
- 以下の 3 つの方法のいずれかで、GV-NET/IO カードを PC に接続します。

GV-NET/IO カードと PC の 3 つの接続方法:

1. RJ-11 - DB9ケーブルをPCのCOM ポートに接続できます。(AC/DC出力電圧使用可能)

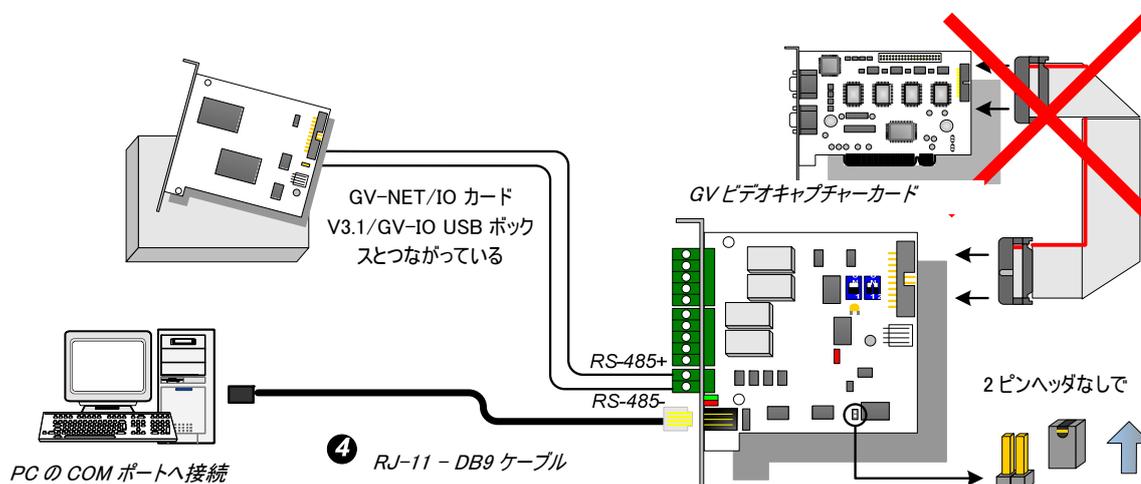


図 2-14

2. RJ-11 – USBケーブルをPCのUSBポートに接続できます。(DC出力電圧のみ使用可能)

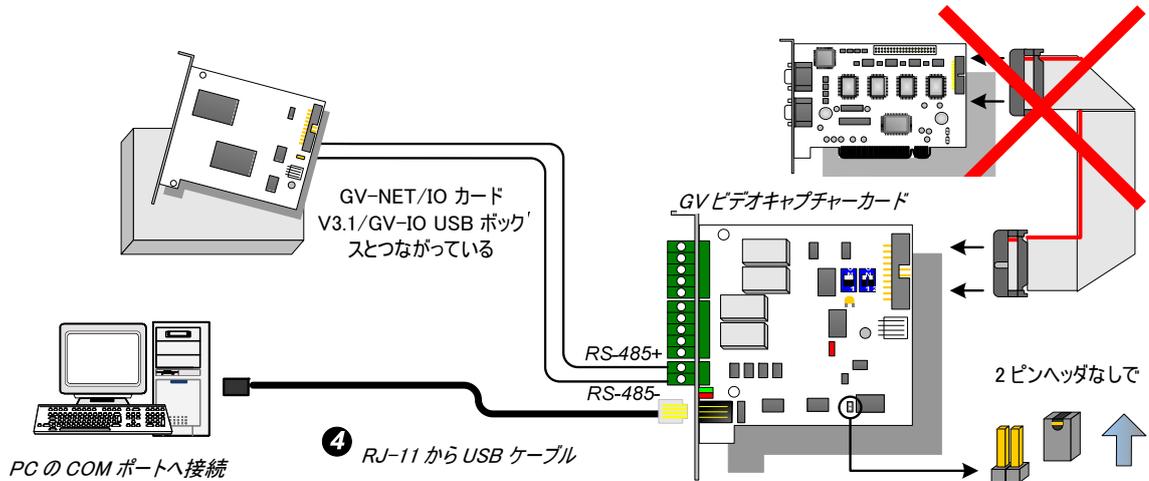


図 2-15

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、2.19 USB ドライバのインストールを参照してください。

3. 3ピン内部USBケーブルをPCのマザーボードのUSBコネクタに接続できます。(DC出力電圧のみ使用可能)

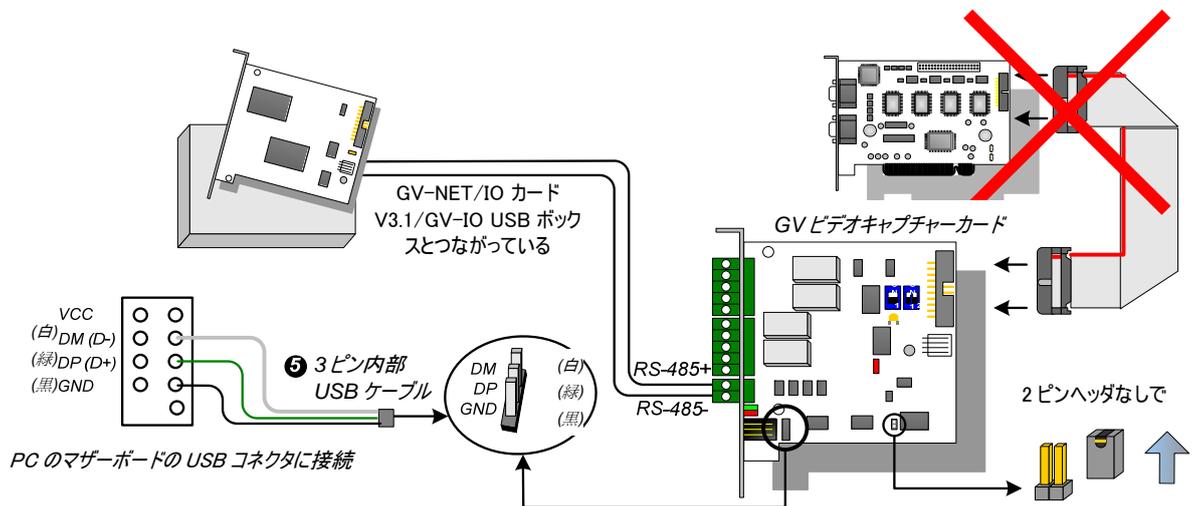


図 2-16

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、2.19 USB ドライバのインストールを参照してください。

スイッチモード

GV-NET/IOカードは、その機能拡張に、2つのモードをユーザーに提供します: I/OボックスモードとNET/IOカードモード 2ピンヘッダに差し込むモードスイッチジャンパーで、モード間で切り替えることが可能です。

- **NET/IO カードモード (デフォルト):** スイッチジャンパーが挿入されると、デフォルトモードは GV-NET/IO カードとして作動します。GV-NET/IO カードを GV ビデオキャプチャーカードに接続する必要があります。
- **I/O ボックスモード:** スイッチジャンパーが挿入されていない場合、GV-NET/IO カードは独立のデバイスとして作動します。GV ビデオキャプチャーカードに接続する必要はありません。

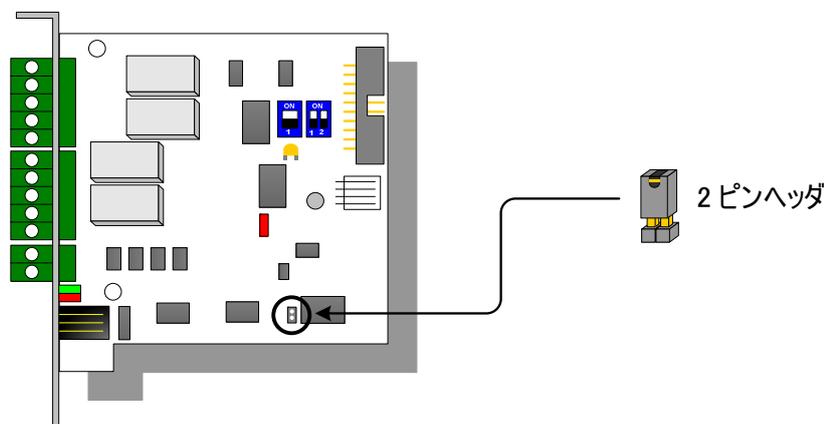


図 2-17

拡張接続

RS-485コネクタ経由で、GV-NET/IOカードがI/Oボックスモード時は、最高4つのGV-NET/IOカードを一緒に繋げることが可能です。拡張接続用のアドレスアサインメントは以下の通りです。

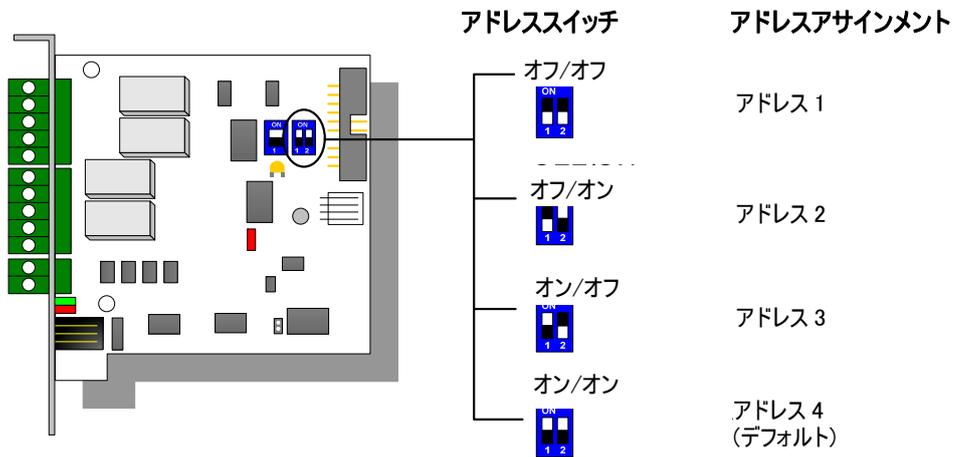


図 2-18

注: GV-NET/IO カードが I/O ボックスモードに設定されている場合、GV-I/O ボックスで拡張接続が可能です。

DIP スイッチ

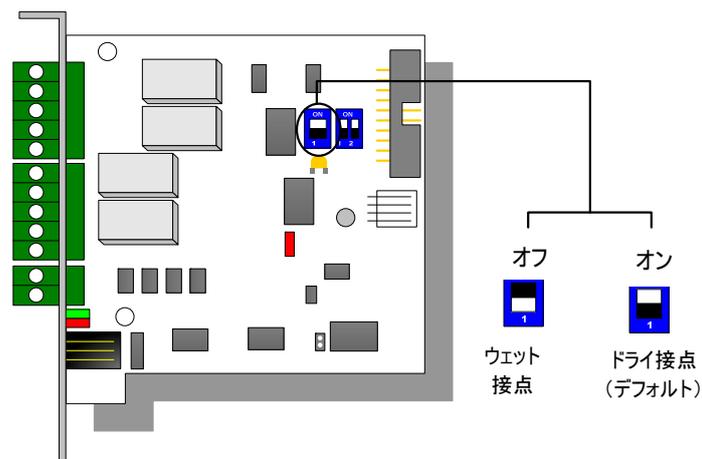


図 2-19

仕様

入力	入力	4	
	入力信号	ドライ接点、ウェット接点 9~30V AC/DC	
出力	リレー出力	4	
	接点構成	通常開(NO 接点,メイク接点)	
	定格制御容量	USB 接続	30V DC, 3A
RS-232 接続		125 / 250V AC、 30V DC, 3A	
インターフェース	RJ-11 - DB9 ケーブル		
	RJ-11 から USB		
	3ピン内部 USB から内部 USB		
モードスイッチ	I/O ボックスモード	GVビデオキャプチャーカードなし	
	NET/IO カードモード	GVビデオキャプチャーカード有り	
アドレス	1~4		
通信	RS-485、USB、RS-232		
動作環境	0~50°C / 32~122°F 5%~95%(結露無き事)		
対応モデル	GVビデオキャプチャーカード全モデル		
寸法 (幅 x 高さ)	99 x 90 (mm) / 3.90 x 3.54 (in)		

2.5 GVハブボックス

GV ハブは、コンピュータの USB ポートを通じて、4 つの RS-232/RS-485 シリアルポートを追加します。シリアルポートをプラグアンドプレイ USB により拡張できるため、モバイル装置および POS アプリケーションを接続する場合に最適です。

パッケージ内容

1. GV ハブボックス x 1
2. USB ケーブル AB x 1
(1.2 メートル / 3.93 フィート)
3. DB9 RS-232 ケーブル x 4
(1.8 メートル / 5.90 フィート)
4. インストール CD x 1
5. インストールガイド x1

概要

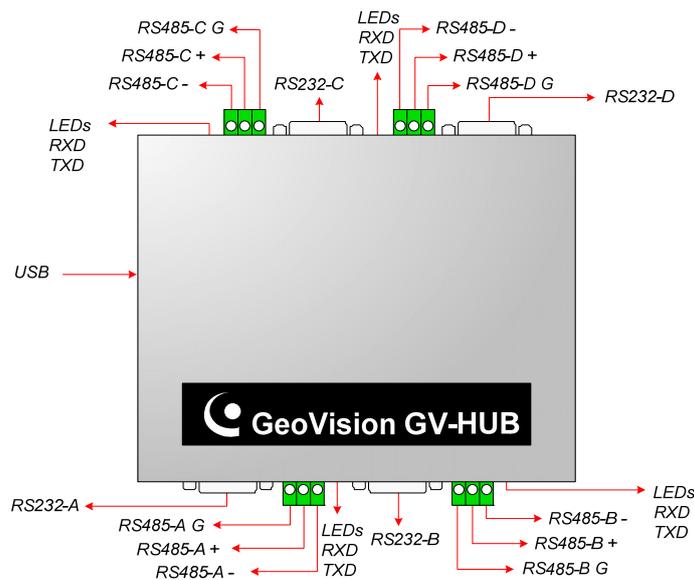


図 2-20 GV ハブ

注: RS-232 / 485 ポートは 4 セット(A-D)あります。各セットは、RS-232 または RS-485 ポートのいずれかのみを接続用に使することができます。

接続

以下に、2 つの GV ハブ使用例について説明します。

POS システムの接続

GV ハブは、最大 4 つの POS システム用にローカル接続を提供し、USB ケーブルを通じて取引データを GV システムに送信することができます。

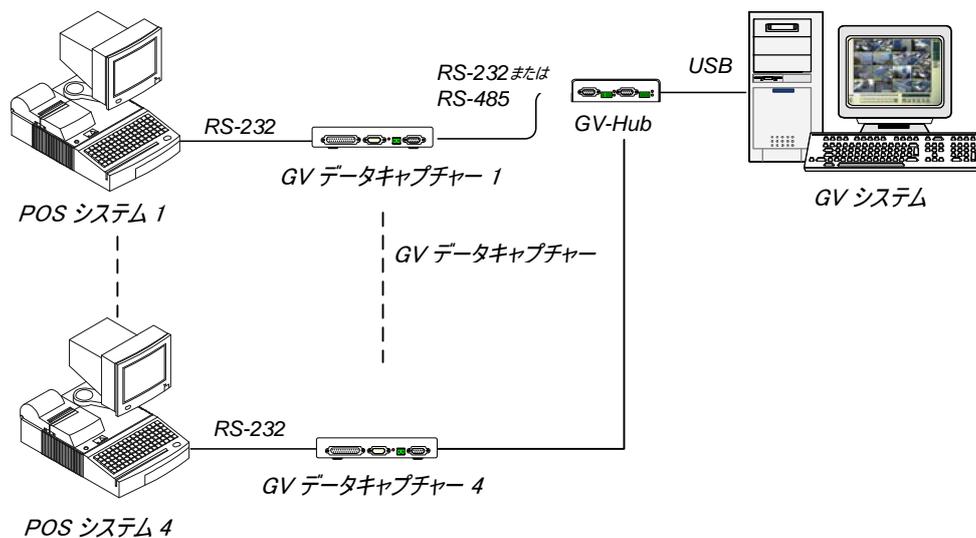


図 2-21 POS システムの接続

RS-485 デバイスの接続

GV ハブを使用することにより、GV システムに同時に最大 16 台までの PTZ ドームと 9 組の GV-IO および GV リレーモジュールを接続することができます。

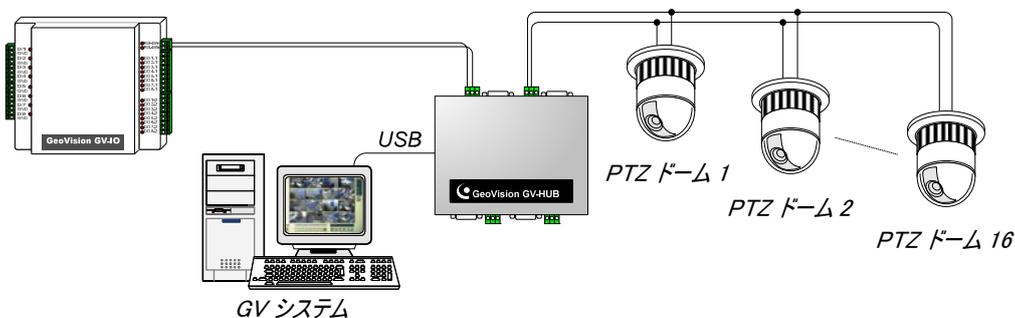


図 2-22 RS-485 デバイスの接続

ドライバのインストール

GV ハブボックスをコンピュータにインストールすると、新しいハードウェアの検出ウィザードにより、自動的にデバイスが検出されます。このウィザードを無視し、次の手順を実行してドライバをインストールします。

1. インストール CD をコンピュータに挿入します。
2. **GvUsb.exe** を起動します。
3. 次の警告ウィンドウが表示されたら、**続行**をクリックします。ドライバが自動的にインストールされます。



図 2-23 ハードウェアのインストール

ドライバが正しくインストールされていることを確認するには、**デバイスマネージャ**を開きます。正しくインストールされている場合、**ポート**を展開すると、**Prolific USB-to-Serial Bridge** の 4 エントリが表示されます。

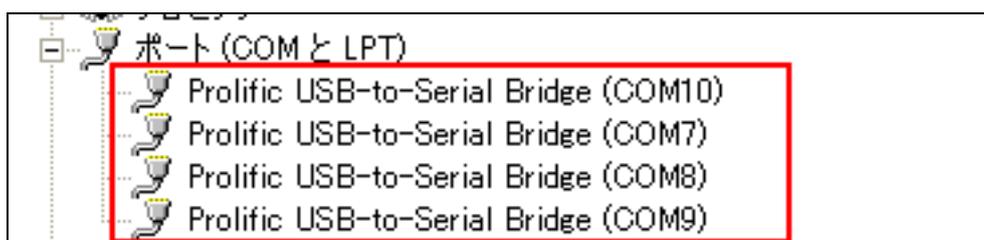


図 2-24 Prolific USB-to-Serial Bridge の表示

仕様

シリアルインターフェース	RS-232	信号: DCD、RxD、TxD、DTR、GND、DSR、RTS、CTS
		端子: DB9 オス x 4(A、B、C、D)
	RS-485	信号: D+、D-、GND
		端子: 端子台 x 4(A、B、C、D)
	シリアルライン保護	全信号に 16 KV ESD
USB	準拠規格	USB 1.1、1.0
		USB 2.0 下位互換
	速度	FS(フルスピード) 12 Mbps
通信パラメータ	パリティ	なし、偶数、奇数
	データビット	7、8
	ストップビット	1(デフォルト)、2
	フロー制御	RTS/CTS、XON/XOFF
	速度	600 bps~115,200 bps
動作環境	0~55° C / 32~131° F 5%~95% (結露無き事)	
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	103 x 30 x 125 (mm) / 4.06 x 1.18 x 4.92 (in)	

2.6 GV-COM ボックス

GV-COM は、コンピュータの USB ポートを通じて、1 つの RS-232/RS-485 シリアルポートを追加します。シリアルポートをプラグアンドプレイ USB により拡張できるため、PTZ 装置および POS アプリケーションを接続する場合に最適です。

パッケージ内容

- | | |
|--|------------------|
| 1. GV-COM ボックス x 1 | 4. 終端抵抗 x 1 |
| 2. USB ケーブル AB x 1
(1.2 メートル / 3.93 フィート) | 5. インストール CD x 1 |
| 3. DB9 RS-232 ケーブル x 1
(1.8 メートル / 5.90 フィート) | 6. インストールガイド x 1 |

概要

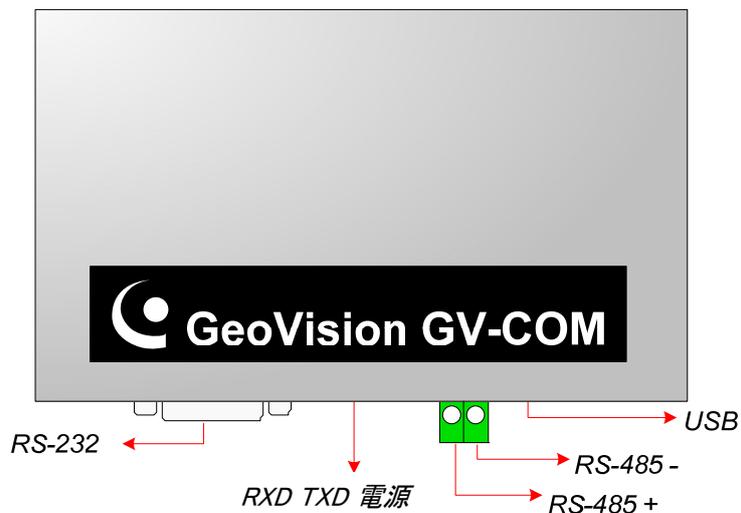


図 2-25 GV-COM

長距離接続

次の 2 つの条件に当てはまる場合は、付属の終端抵抗を使用する必要があります。

1. 接続距離が 600m 以上 (1,968.50 フィート)。
2. 高速通信速度 (例えば 115,200bps) を適用。

下図のように、終端抵抗を RS-485 デバイスに取り付けられている端子台で使用します。

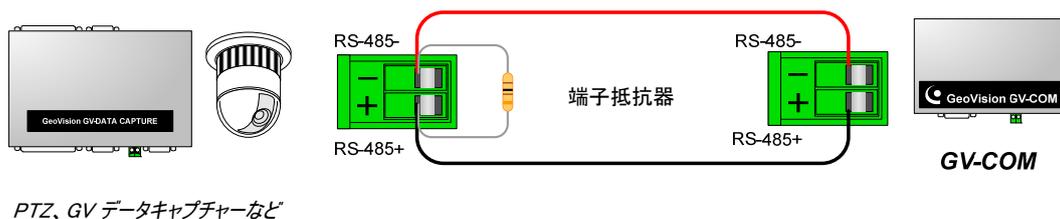


図 2-26 終端抵抗の接続

ドライバのインストール

GV-COM をコンピュータにインストールすると、新しいハードウェアの検出ウィザードにより、自動的にデバイスが検出されます。ドライバをインストールするには、2.6 GV ハブボックス、ドライバのインストールの手順に従ってください。

ドライバが正しくインストールされていることを確認するには、**デバイスマネージャ**を開きます。正しくインストールされている場合は、**ポートフォルダ**を展開すると、Prolific USB-to-Serial Bridge が 1 個表示されます。

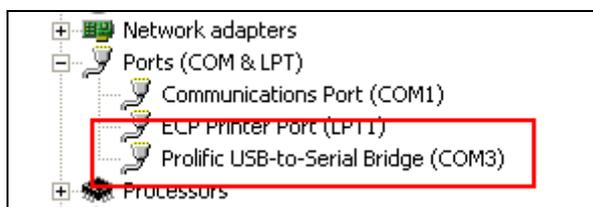


図 2-27 Prolific USB-to-Serial Bridge の表示

仕様

シリアルインターフェース	RS-232	信号: DCD、RxD、TxD、DTR、GND、DSR、RTS、CTS 端子: DB9 オス
	RS-485	Signal: D+, D- 端子: 端子台
	シリアルライン保護	全信号に 16 KV ESD
USB	準拠規格	USB 1.1、1.0 USB 2.0 下位互換
	速度	FS(フルスピード) 12 Mbps
通信パラメータ	パリティ	なし、偶数、奇数
	データビット	7、8
	ストップビット	1(デフォルト)、2
	フロー制御	RTS/CTS、XON/XOFF
	速度	600 bps~115,200 bps
動作環境	0~55° C / 32~131° F 5%~95% (結露無き事)	
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	103 x 32 x 64 (mm) / 4.06 x 1.26 x 2.52 (in)	

2.7 GV-IO 12 入力カードV3

GV-IO 12 入力カードは、GV-NET/IO カードと共に使用するよう設計されています。12 点のデジタル入力の採用により、GV-IO 12 入力カードは GV システムの能力を 16 点のデジタル入力に拡張することができます。

システム要件

- GV-NET/IO カード

パッケージ内容

1. GV-IO 12 入力カード x 1
2. 4 端子付き 20 ピン リボンケーブル x 1
3. 4 ピン - 4 ピン ミニ電源ケーブル x 1
4. インストールガイド x 1

接続

GV-IO 12 入力カードを空のカードスロットに挿入します。下図のとおり、20 ピンリボンケーブルを、GV ビデオキャプチャーカード、GV-IO 12 出力カード、GV-NET/IO カードにすべて接続します。

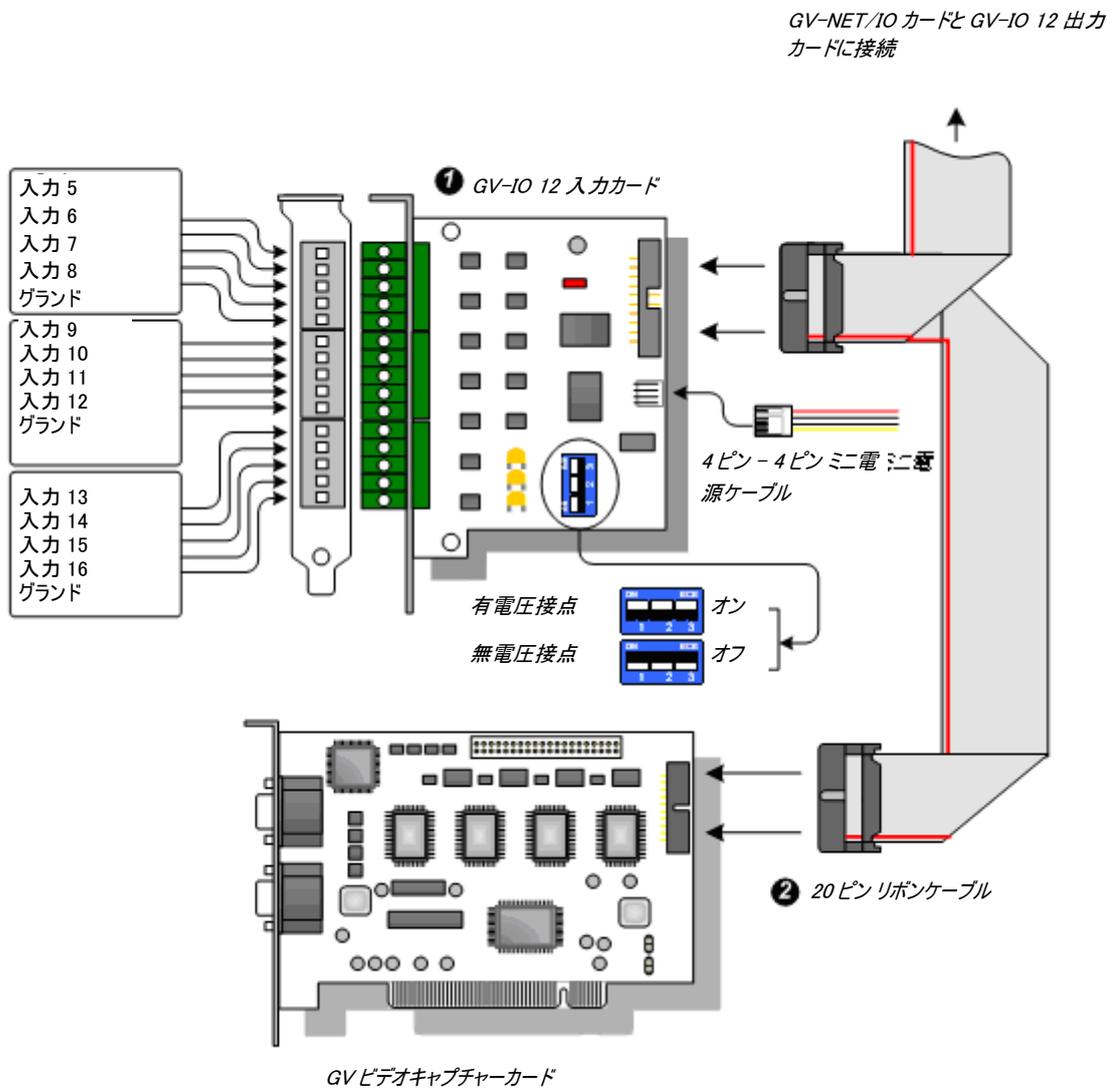


図 2-28 GV-IO 12 入力カードの接続

注:

1. DIP スイッチの使用:
 - a. ドライ接点(無電圧)と 9-30V ウェット接点(電圧出力)用スイッチを使用します。
 - b. カードは、ドライ接点とウェット接点デバイスを共に混ぜ合わせて使用することが可能です。
(デフォルト設定: 有電圧接点)
 - c. 4 つで1グループに分けられている 12 入力端子は、ドライ接点と無電圧接点用にカード上の 3 つのスイッチに関連しています。
2. I/O 操作におけるノイズ障害を防ぐために、GV-IO 12 入力カードを PC ケースにネジでしっかりと固定します。
3. GV-IO 12 入力カードは、必ず GV-NET/IO カードと共に使用する必要があります。

仕様

入力	入力	12
	入力信号	ドライ接点、ウェット接点 9~30V AC/DC
DC 入力	DC 5V、1A	
動作環境	0~55° C / 32~131° F 5%~95% (結露無き事)	
対応モデル	GV ビデオキャプチャーカード全モデル	
寸法 (幅 x 高さ)	90 x 99 (mm) / 3.54 x 3.90 (in)	

2.8 GV-IO 12 出力カードV3

GV-IO 12 出力カードは、GV-NET/IO カードと共に使用するよう設計されています。12 点のリレー出力の採用により、GV-IO 12 出力カードは GV システムの能力を 16 点のリレー出力に拡張することができます。

システム要件

- GV-NET/IO カード

パッケージ内容

1. GV-IO 12 出力カード x 1
2. 4 端子付き 20 ピン リボンケーブル x 1
3. 4 ピン - 4 ピン ミニ電源ケーブル x 1
4. インストールガイド x 1

接続

GV-IO 12 出力カードを空のカードスロットに挿入します。下図のとおり、20ピンリボンケーブルを、GVビデオキャプチャーカード、GV-IO 12 入力カード、GV-NET/IO カードにすべて接続します。

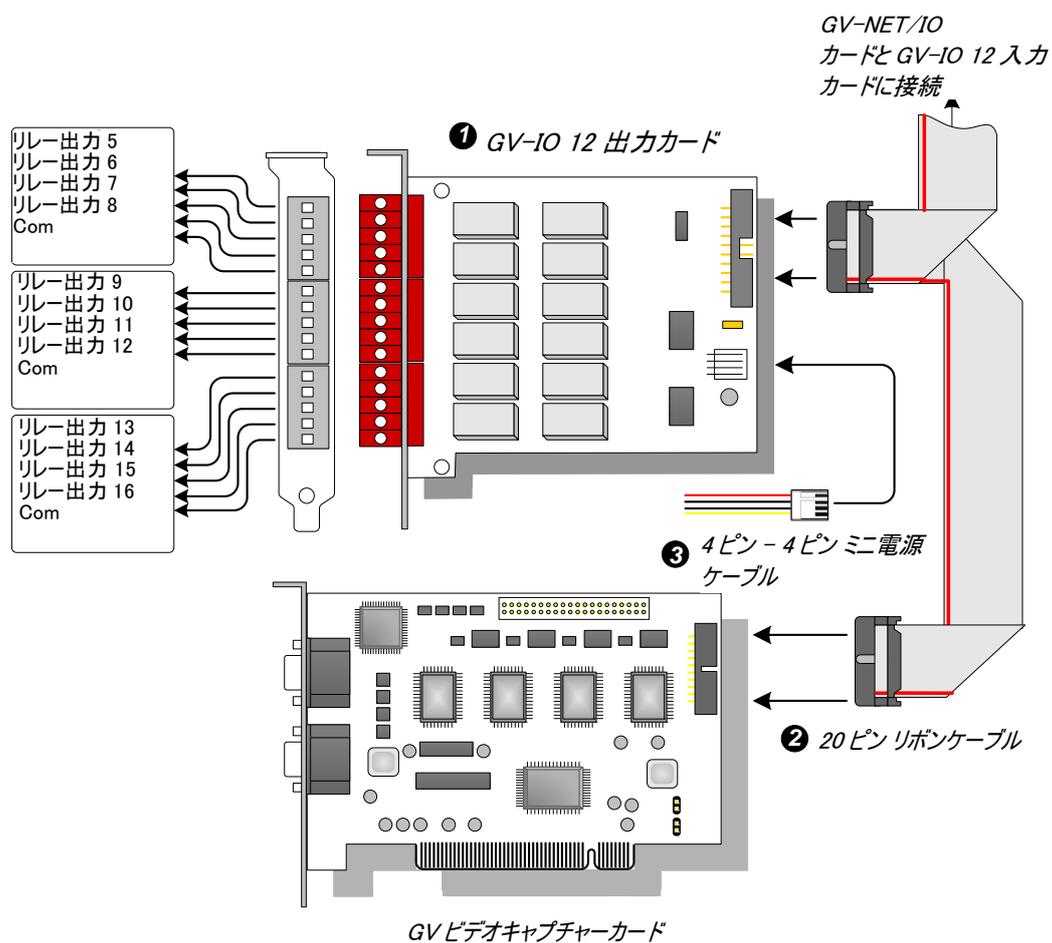


図 2-29 GV-IO 12 出力カードの接続

注:

1. I/O 操作におけるノイズ障害を防ぐために、GV-IO 12 出力カードをコンピュータケースにネジでしっかりと固定します。
2. GV-IO 12 出力カードは、必ず GV-NET/IO カードと共に使用する必要があります。

仕様

出力	リレー出力	12	
	接点構成	通常開(NO 接点,メイク接点)	
	定格制御容量	USB 接続	30V DC, 3A
RS-232 接続		125 / 250V AC, 3A	
DC 入力	DC 5V、1A		
動作環境	0~55° C / 32~131° F 5%~95% (結露無き事)		
互換モデル	GV ビデオキャプチャーカード全モデル		
寸法 (幅 x 高さ)	120 x 99 (mm) / 4.72 x 3.90 (in)		

2.9 GV-IO ボックス (16 ポート)

GV-IO ボックス 16 は、16 点の入力と 16 点のリレー出力を提供します。また、DC と AC 両方の出力電圧をサポートします。

主な機能

- 入力用 16 点、出力用 16 点の端子を備えています。
- 最大 9 台の GV-I/O ボックス 16 を一緒に繋げることが可能です。
- USB ポートは PC 接続用で、30 DC 出力電圧で使用されます。

システム環境

- GV システムバージョン 8.2 またはそれ以降

パッケージ内容

1. GV-IO Box 16 x 1
2. USB ケーブル (Type A から B) x 1
3. 終端抵抗 x 1
4. 電源アダプタ DC 12V x 1
5. インストールガイド x 1

概要

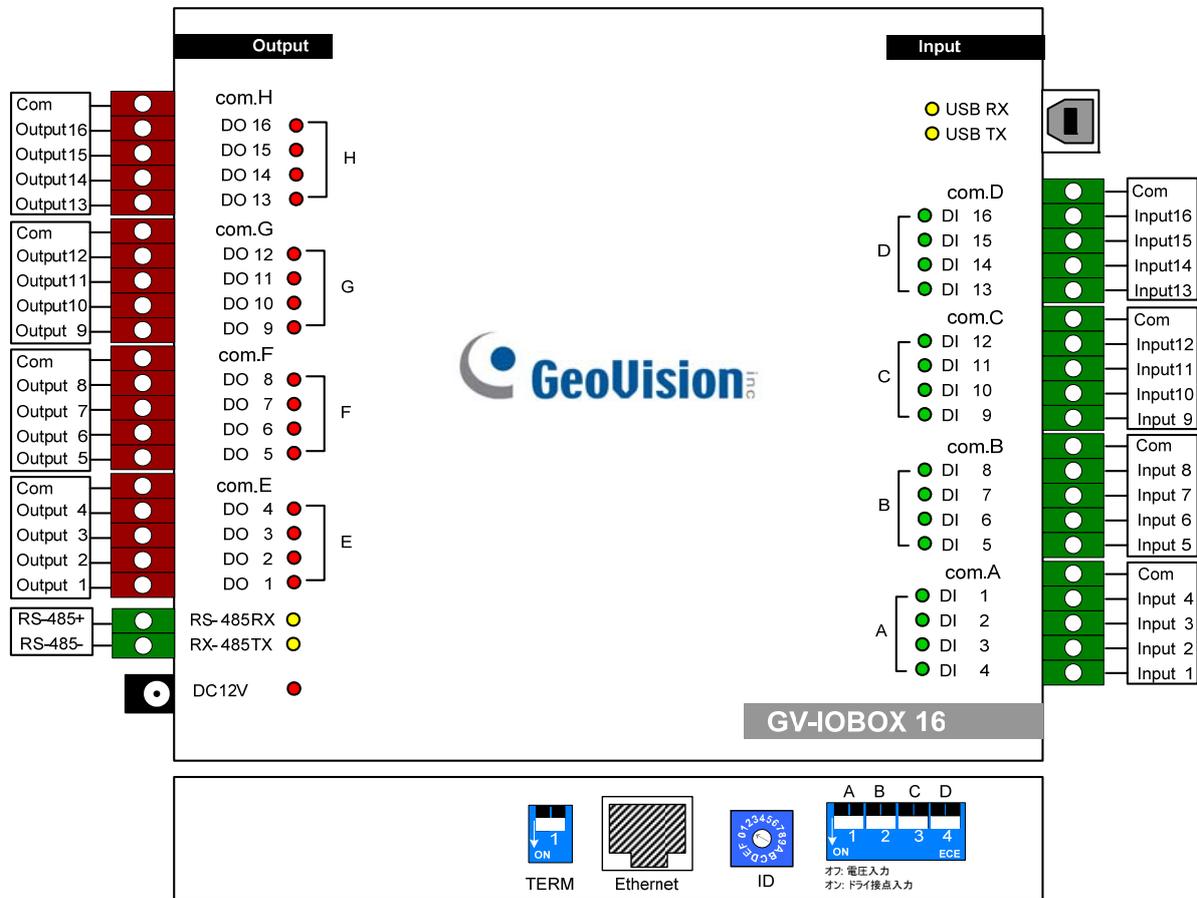
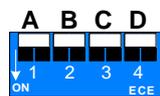


図 2-30

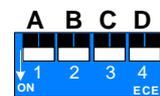
DIP スイッチ

GV-I/O ボックス 16 では、ドライ接点とウェット接点デバイスを混在で使用することが可能です。4 つで1グループ(A、B、C、D)に分けられています。



ウェット接点

入力接点をウェット接点に変更するには、スイッチを上を押します。



ドライ接点

入力接点をドライ接点に変更するには、スイッチを下を押します。

注: RS-485 コネクタは、RS-485 から RS-232 への変換機能を備えていません。このため、PTZ カメラなどの RS-485 デバイスをコネクタに接続しても動作しません。

PC への接続

GV-I/O ボックス 16 を PC に接続するには 2 つの方法があります。

- (1) USB ケーブルを使って PC に接続します。
- (2) GV-Hub、GV-COM、GV-NET カード、GV-NET/IO カードのいずれかを使って、RS-485 コネクタを使って PC に接続します。

1. USB ケーブルを使って、1 台の GV-I/O ボックス 16 を PC に接続します。(DC 出力電圧のみ使用可能)

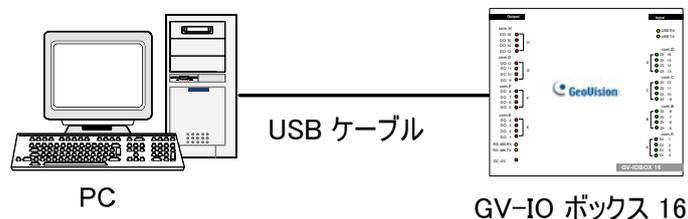


図 2-31

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、[2.19 USB ドライバのインストール](#)を参照してください。

2. RS-485 コネクタを使って、1 台の GV-I/O ボックス 16 をコンピュータに接続します。(AC/DC 出力電圧使用可能)

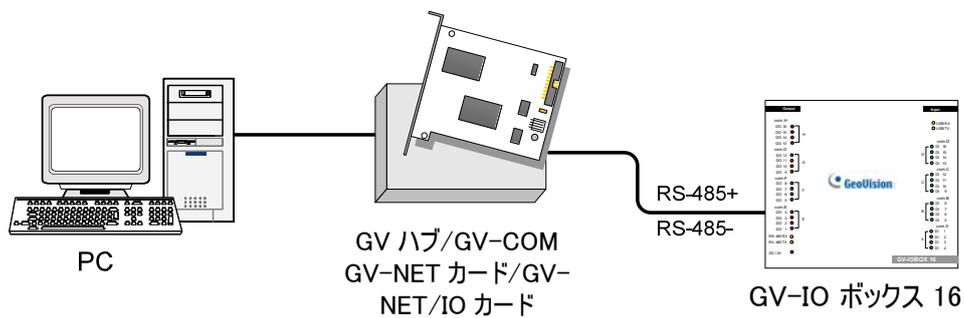


図 2-32

GV-IO ボックス 16 にアドレスを割り当てる

I/O の能力を更に拡張するために、最大 9 台の GV-I/O ボックス 16 を一連に繋げることができます。ID スイッチを使って、拡張された GV-IO USB ボックスにアドレス 1~9 を割り当てます。

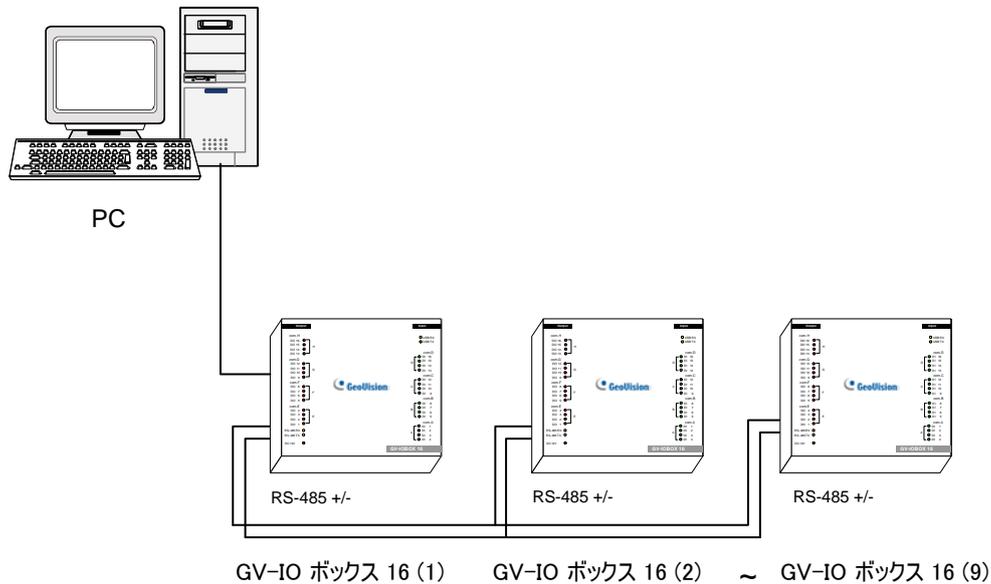


図 2-33

ID スイッチ



ID

1. アドレス 0 と A~F は機能しません。
2. アドレスの割り当ては、電源を切っているときに行ってください。
3. 接続された GV-I/O ボックス 16 の、割り当て済みアドレスを変更したい場合、新しいアドレスにスイッチを設定した後、電源アダプタを再接続します。

長距離接続

接続距離が 200 メートルを超える場合は、必ず付属の終端抵抗をお使いください。接続方法について下図に説明いたします。

1. 複数の GV-IO ボックス 16 が 1 本の RS-485 ケーブルを通じて PC に接続されている

コンピュータに複数の GV-IO ボックス 16 を接続した後、最初と最後に接続されている GV-IO ボックス 16 の接続にある終端抵抗スイッチだけをオンにします。

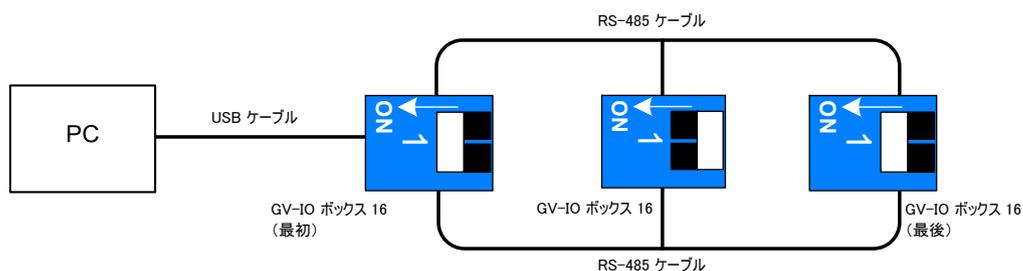


図 2-34

2. 複数の GV-IO ボックス 16 が 1 台の RS-485 / RS-232 変換デバイスを通じて PC に接続されている

GV-NET/IO カードや GV-Hub といった RS-485 / RS-232 変換デバイスを通じてコンピュータに複数の GV-IO ボックス 16 を接続した後、変換デバイス内に終端抵抗を挿入し、最後に接続された GV-IO ボックス 16 の終端抵抗のスイッチをオンにします。

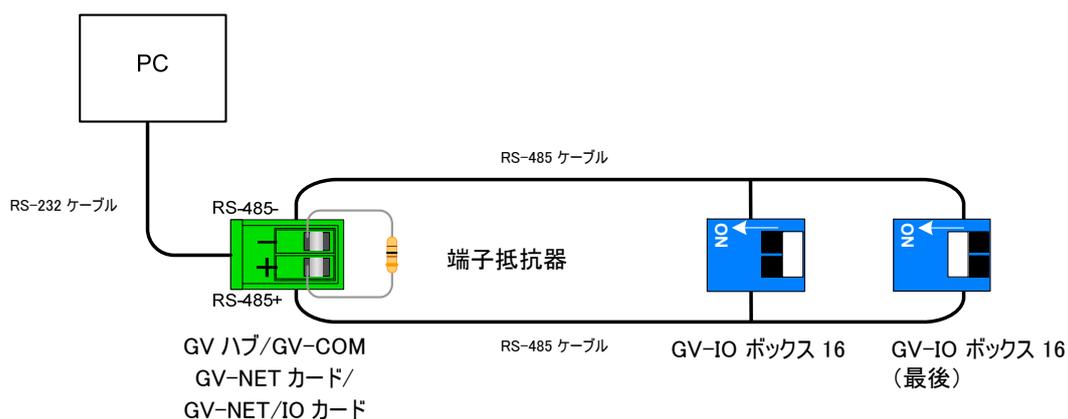


図 2-35

3. 複数の GV-IO ボックス 16 が別々の RS-485 ケーブルを通じて PC に接続されている

別々の RS-485 ケーブルを通じて複数の GV-IO ボックス 16 をコンピュータに接続した後、接続された GV-IO ボックス 16 の各ケーブルの末端にある終端抵抗のスイッチをオンにします。

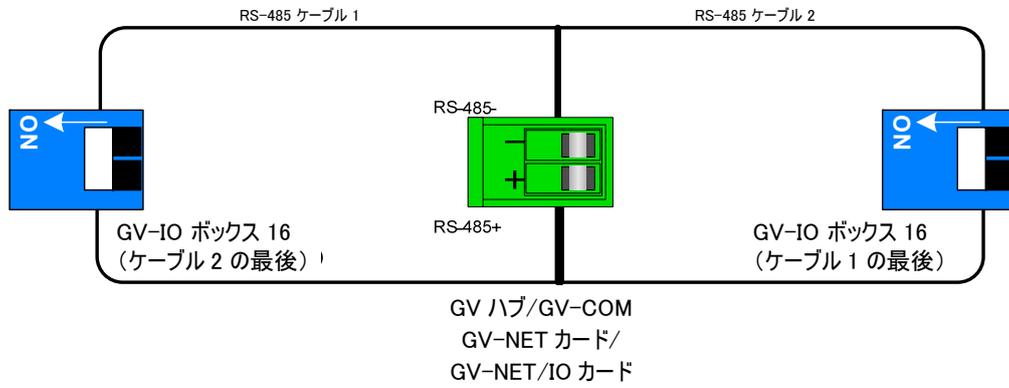
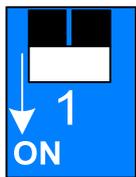


図 2-36

終端抵抗



終端抵抗のスイッチをオンにするには、スイッチを下に押します。

仕様

入力	入力	16		
	入力信号	ドライ接点		
		ウェット接点、9~30V AC/DC		
出力	リレー出力	16		
	リレーステータス	通常開		
	リレーキャパシタンス	USB 接続	30V DC, 3A	
		RS-232 接続	125 / 250V AC, 3A 30V DC, 3A	
Ethernet	RJ-45, 10/100 Mbps			
DC 入力	DC 12V、1A			
アドレス	0-9, A-F			
終端抵抗	120Ω			
動作環境	0~50° C / 32~122° F 5%~95% (結露無き事)			
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	135 x 28 x 145 (mm) / 5.31 x 1.10 x 5.70 (in)			

2.10 GV-IO ボックス (8 ポート)

GV-IO ボックス 8 は、8 点の入力と 8 点のリレー出力を提供します。また、DC と AC 両方の出力電圧をサポートします。

主な機能

- 8 入力、8 出力端子を備えています。
- 最大 9 個の GV-I/O ボックス 8 を一緒に繋げることが可能です。
- USB ポートは PC 接続用で、30 DC 出力電圧で使用されます。

システム環境

- GV システムバージョン 8.2 またはそれ以降

パッケージ内容

1. GV-IO Box 8 x 1
2. USB ケーブル (A-B タイプ) x 1
3. 終端抵抗 x 1
4. 電源アダプタ DC 12V x 1
5. インストールガイド x 1

概要

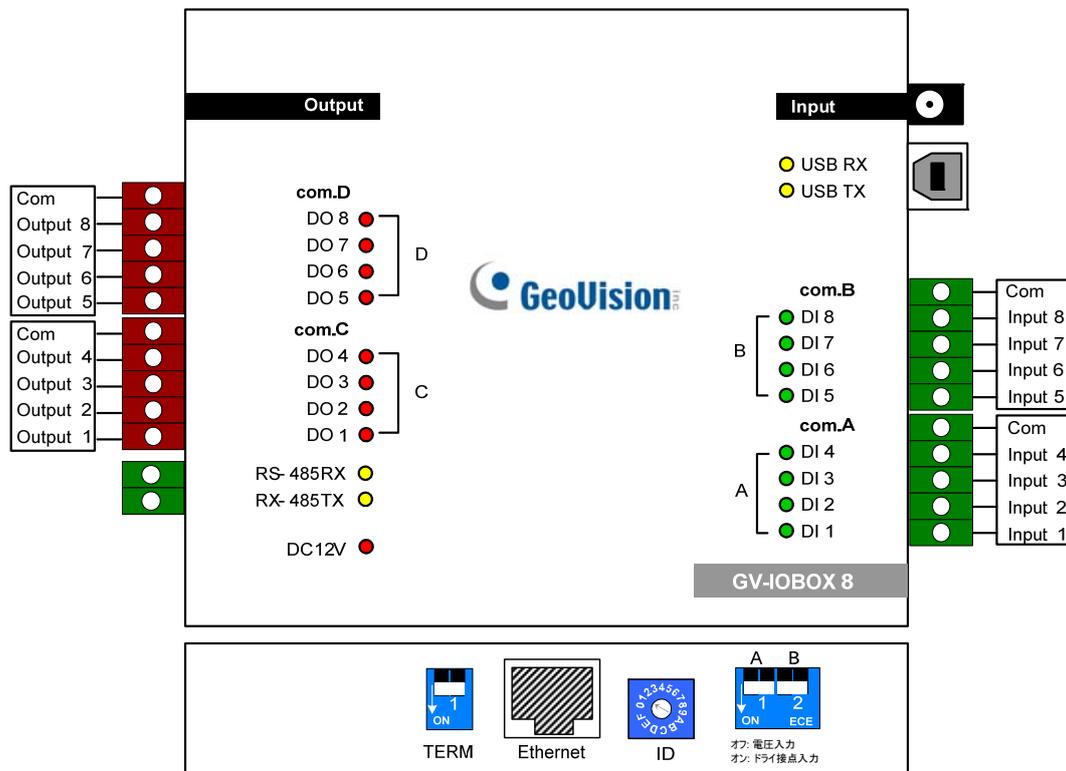
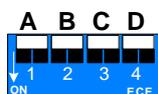


図 2-37

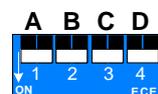
DIP スイッチ

GV-I/O ボックス 8 では、ドライ接点とウェット接点デバイスを混在で使用することが可能です。4 つで1グループ(AとB)に分けられている 8 入力端子は、ドライ接点とウェット接点用にボックスの 2 つのスイッチに関連しています。



ウェット接点

入力接点を別の種類に変更するには、スイッチを上を押します。



ドライ接点

入力接点を別の種類に変更するには、スイッチを下を押します。

注:

- RS-485 コネクタは、RS-485 から RS-232 への変換機能を備えていません。このため、PTZ カメラなどの RS-485 デバイスをコネクタに接続しても動作しません。
- GV システムの 8.2 バージョンに GV-IO ボックス 8 を追加する場合、システム構成ダイアログボックス内のデバイスドロップダウンリストから GVIO-USB(16) を選択します。

PC への接続

GV-I/O ボックスを PC に接続するには 2 つの方法があります。

- (1) USB ケーブルを使って PC に接続します。
- (2) GV-Hub, GV-COM, GV-NET カード、GV-NET/IO カードのいずれかを通じて、RS-485 コネクタを使って PC に接続します。

- 1. USB ケーブルを使って、1 台の GV-I/O ボックス 8 をコンピュータに接続します。(DC 出力電圧のみ使用可能)



図 2-38

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、2.22 USB ドライバのインストールを参照してください。

- 2. RS-485 コネクタを使って、1 台の GV-I/O ボックス 16 をコンピュータに接続します。(AC/DC 出力電圧使用可能)

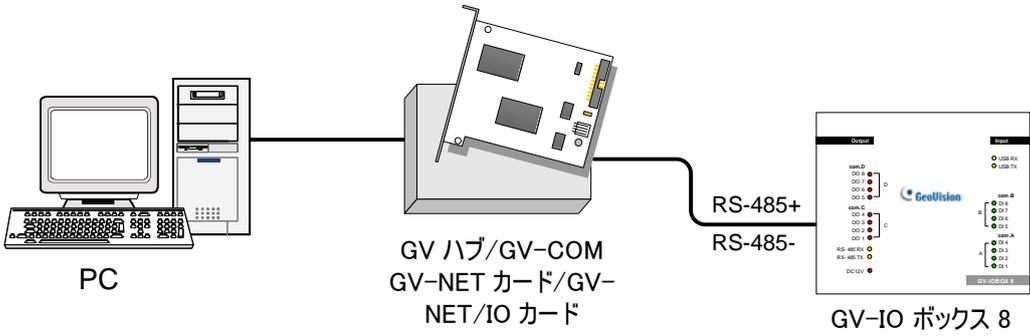


図 2-39

GV-IO ボックス 8 にアドレスを割り当てる

I/O の能力を更に拡張するために、最大 9 台の GV-I/O ボックス 8 を一連に繋げることができます。接続された GV-IO ボックス 8 に ID スイッチ (1~9) を使って、アドレス 1~9 を割り当てます。

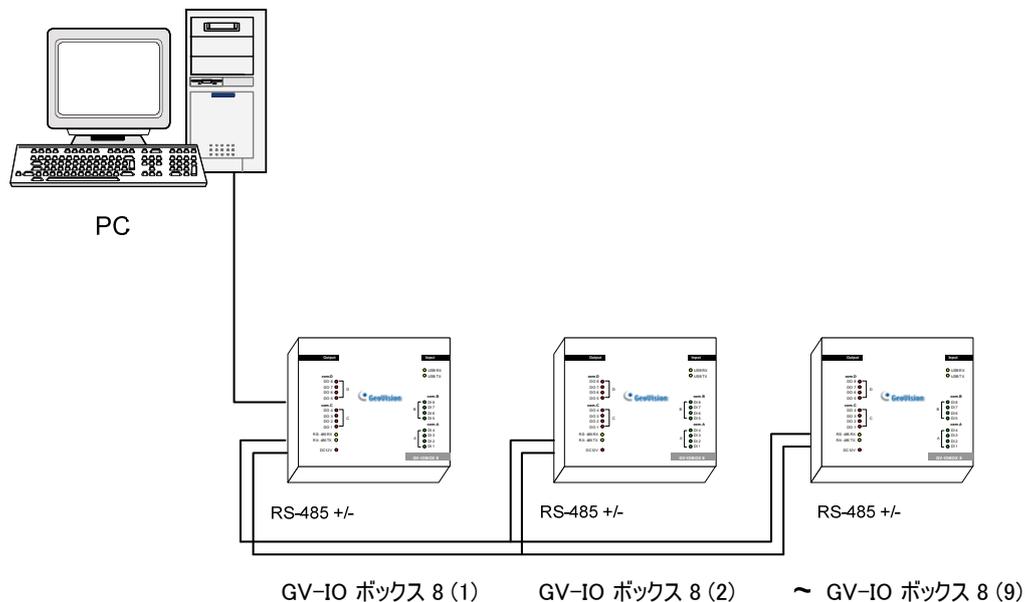


図 2-40

ID スイッチ



ID

1. アドレス 0 と A~F は機能しません。
2. アドレスの割り当ては、電源を切っているときに行ってください。
3. 接続された GV-I/O ボックス 8 の、割り当て済みアドレスを変更したい場合、新しいアドレスにスイッチを設定した後、電源アダプタを再接続します。

長距離接続

接続距離が 200 メートルを超える場合は、必ず付属の終端抵抗をお使いください。接続方法について下図に説明いたします。

1. 複数の GV-IO ボックス 8 が 1 本の RS-485 ケーブルを通じて PC に接続されている

コンピュータに複数の GV-IO ボックス 8 を接続した後、最初と最後に接続されている GV-IO ボックス 8 の接続にある終端抵抗スイッチだけをオンにします。

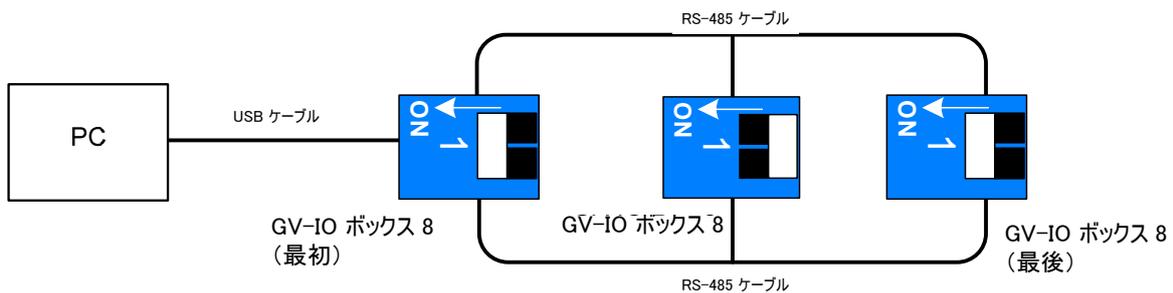


図 2-41

2. 複数の GV-IO ボックス 8 が 1 台の RS-485 / RS-232 変換デバイスを通じて PC に接続されている

GV-NET/IO カードや GV-Hub といった RS-485 / RS-232 変換デバイスを通じてコンピュータに複数の GV-IO ボックス 8 を接続した後、変換デバイス内に終端抵抗を挿入し、最後に接続された GV-IO ボックス 8 の終端抵抗のスイッチをオンにします。

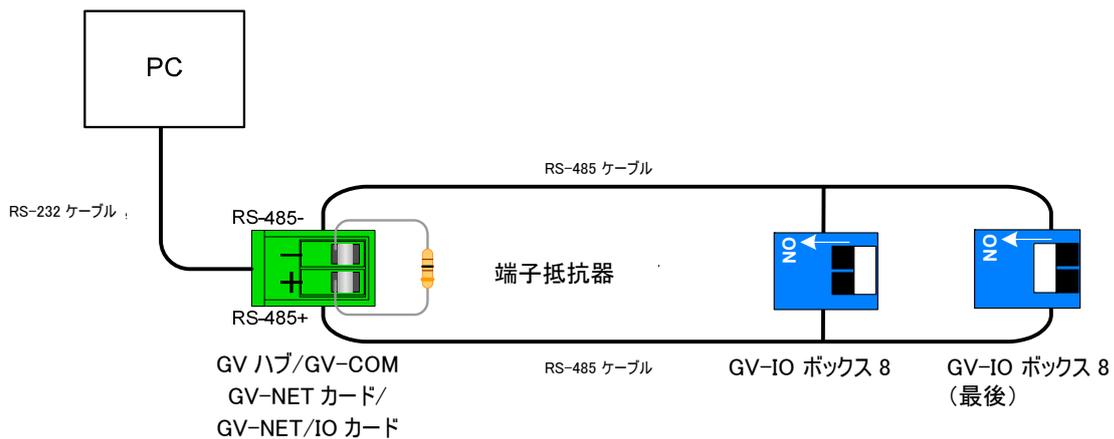


図 2-42

3. 複数の GV-IO ボックス 8 が別々の RS-485 ケーブルを通じて PC に接続されている

別々の RS-485 ケーブルを通じて複数の GV-IO ボックス 8 をコンピュータに接続した後、接続された GV-IO ボックス 8 の各ケーブルの末端にある終端抵抗のスイッチをオンにします。

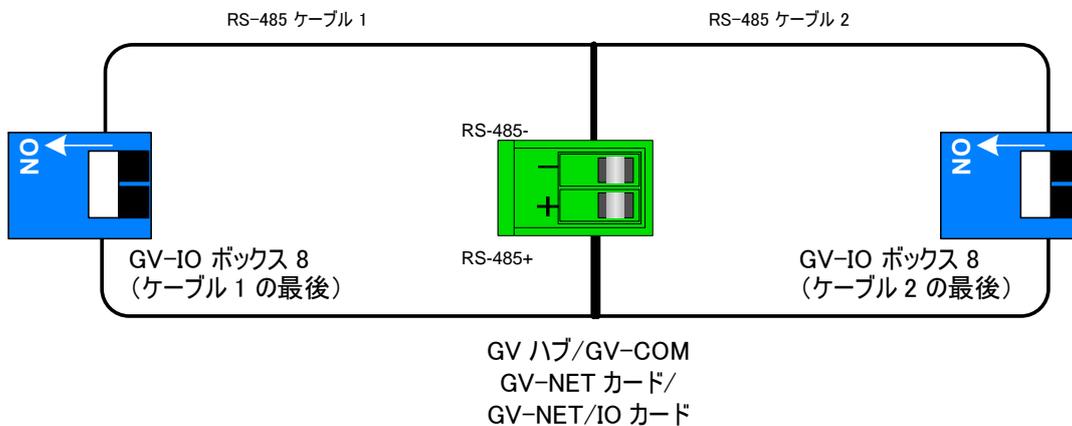


図 2-43

終端抵抗



終端抵抗のスイッチをオンにするには、スイッチを下に押します。

仕様

入力	入力	8	
	入力信号	ドライ接点	
		ウェット接点、9~30V AC/DC	
出力	リレー出力	8	
	リレーステータス	通常開	
	リレーキャパシタンス	USB 接続	30V DC, 3A
		RS-232 接続	125 / 250V AC, 3A 30V DC, 3A
Ethernet	RJ-45, 10/100 Mbps		
DC 入力	DC 12V、1A		
アドレス	0-9, A-F		
終端抵抗	120Ω		
動作環境	0~50° C / 32~122° F 5%~95% (結露無き事)		
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	135 x 28 x 145 (mm) / 5.31 x 1.10 x 5.70 (in)		

2.11 GV-IO ボックス (4 ポート)

GV-IO Box 4 では、4 点の入力と 4 点のリレー出力を提供します。DC 出力電圧と AC 出力電圧の両方をサポートし、PC 接続用の USB ポートを搭載します。

主な機能

- 4 入力、4 出力端子を備えています。
- 最大 9 個の GV-I/O ボックス 4 を一緒に繋げることが可能です。
- USB ポートは PC 接続用で、30 DC 出力電圧で使用されます。

システム環境

- GV システムバージョン 8.2 またはそれ以降

パッケージ内容

1. GV-IO ボックス 4 x 1
2. RJ-11 - DB9 ケーブル x 1
3. RJ-11 - USB ケーブル x 1
4. 終端抵抗 x 1
5. 電源アダプタ DC 12V x 1
6. インストールガイド x 1

概要

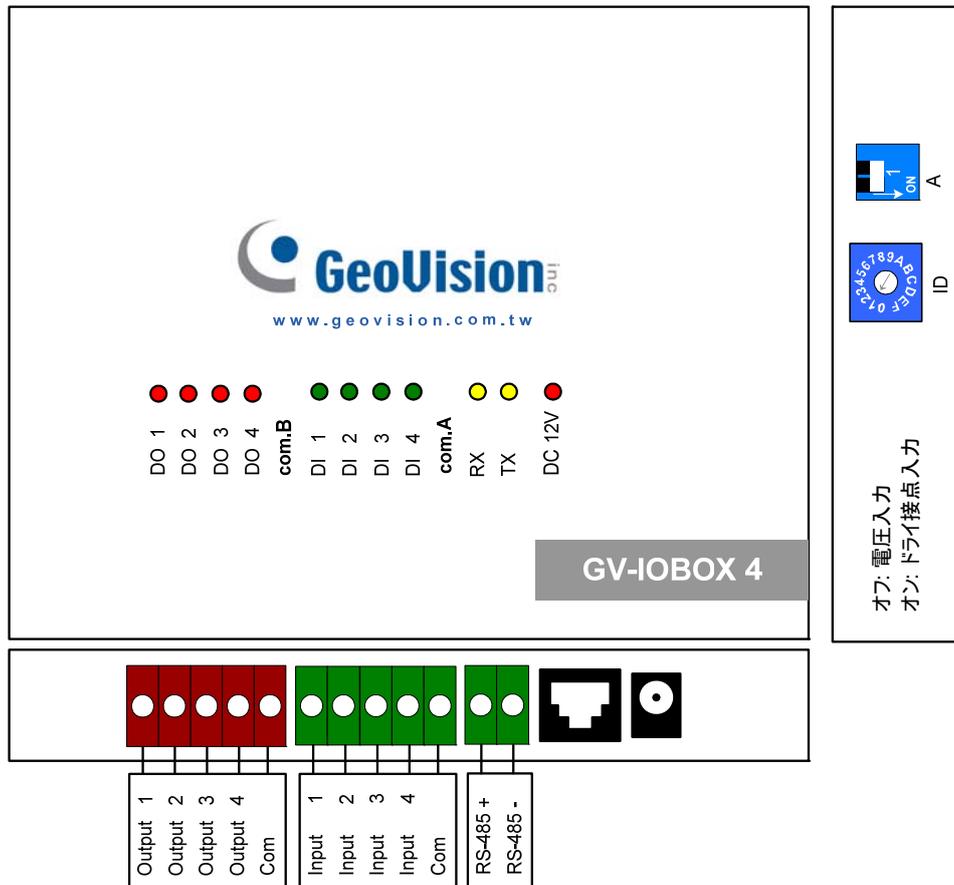
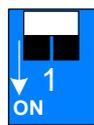


図 2-44

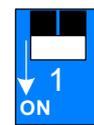
DIP スイッチ



A

ウェット接点

入力接点を別の種類に変更するには、スイッチを上を押します。



A

ドライ接点

入力接点を別の種類に変更するには、スイッチを下を押します。

Note: RS-485 コネクタは、RS-485 から RS-232 への変換機能を備えていません。このため、PTZ カメラなどの RS-485 デバイスをコネクタに接続しても動作しません。

PC への接続

GV-I/O ボックスを PC に接続するには 2 つの方法があります。

1. RJ-11 - USB ケーブルを使って、1 台の GV-I/O ボックス 4 をコンピュータに接続します。(DC 出力電圧のみ使用可能)

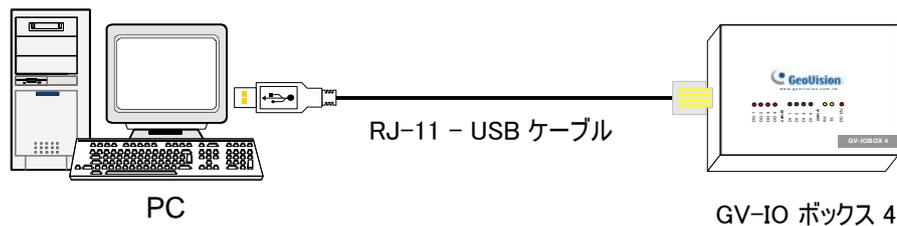


図 2-45

注: USB ドライバのインストールが必要です。詳細については、[2.19 USB ドライバのインストールを参照してください](#)。

2. RJ-11 - DB9 ケーブルを使って、1 台の GV-I/O ボックス 4 をコンピュータに接続します。(AC/DC 出力電圧使用可能)

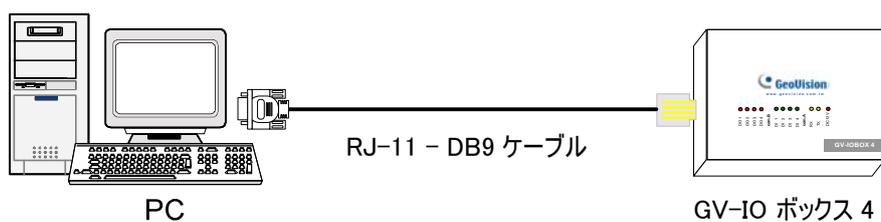


図 2-46

GV-IO ボックス 4 にアドレスを割り当てる

I/O の能力を拡張するために、最大 9 台の GV-I/O ボックス 4 を一連に繋げることができます。接続された GV-I/O ボックス 4 に ID スイッチ (1~9) を使って、アドレス 1~9 を割り当てます。

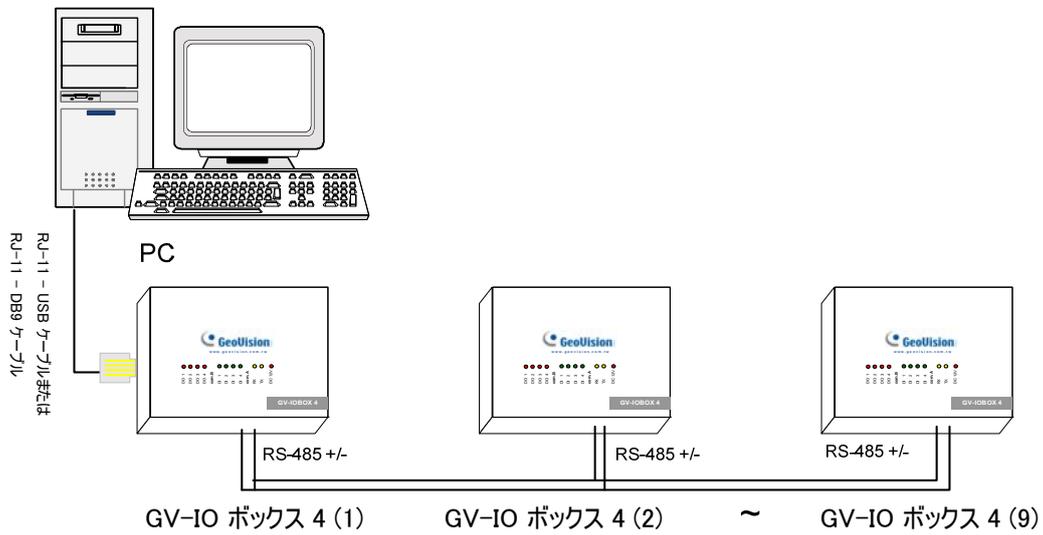


図 2-47

DIP スイッチ



ID

1. アドレス 0 と A~F は機能しません。
2. アドレスの割り当ては、電源を切っているときに行ってください。
3. 接続された GV-I/O ボックス 4 の、割り当て済みアドレスを変更したい場合、新しいアドレスにスイッチを設定した後、電源アダプタを再接続します。

長距離接続

接続距離が 200 メートルを超える場合は、必ず付属の終端抵抗をお使いください。接続方法について下図に説明いたします。

1. 複数の GV-IO ボックス 4 が 1 本の RS-485 ケーブルを通じて PC に接続されている

GV-IO ボックス 4 をもう一つ、または複数の GV-IO ボックス 4 に接続した場合、最初と最後に接続されている GV-IO ボックス 4 だけに終端抵抗を挿入します。

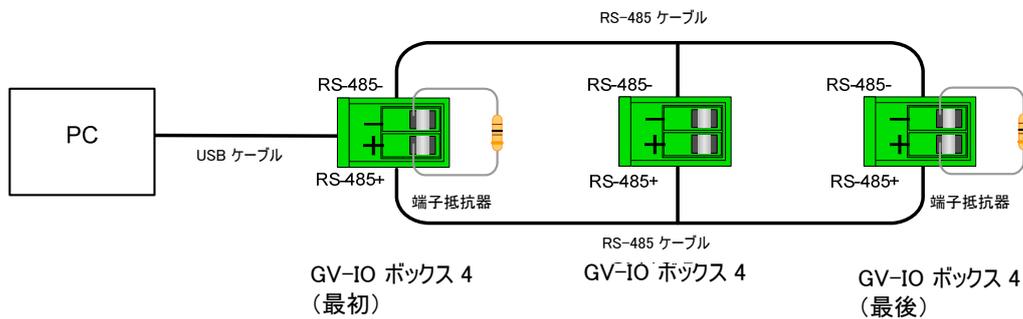


図 2-48

2. 複数の GV-IO ボックス 4 が 1 台の RS-485 / RS-232 変換デバイスを通じて PC に接続されている

GV-NET/IO カードや GV-Hub といった RS-485 / RS-232 変換デバイスを通じてコンピュータに複数の GV-IO ボックス 4 を接続した後、変換デバイス内に終端抵抗を挿入し、最後に接続された GV-IO ボックス 4 の終端抵抗のスイッチをオンにします。

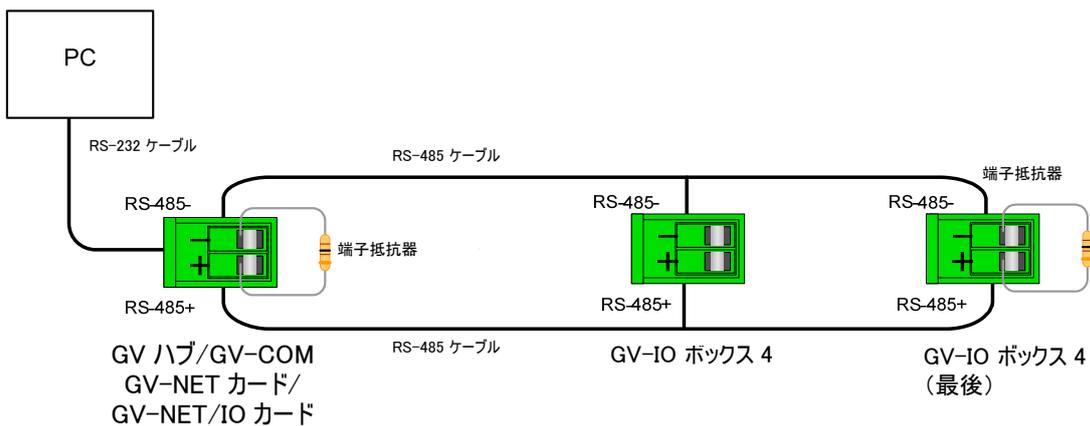


図 2-49

3. 複数の GV-IO ボックス 4 が別々の RS-485 ケーブルを通じて PC に接続されている

別々の RS-485 ケーブルを通じて複数の GV-IO ボックス 4 をコンピュータに接続した後、接続された GV-IO ボックス 4 の各ケーブルの末端に終端抵抗を挿入します。

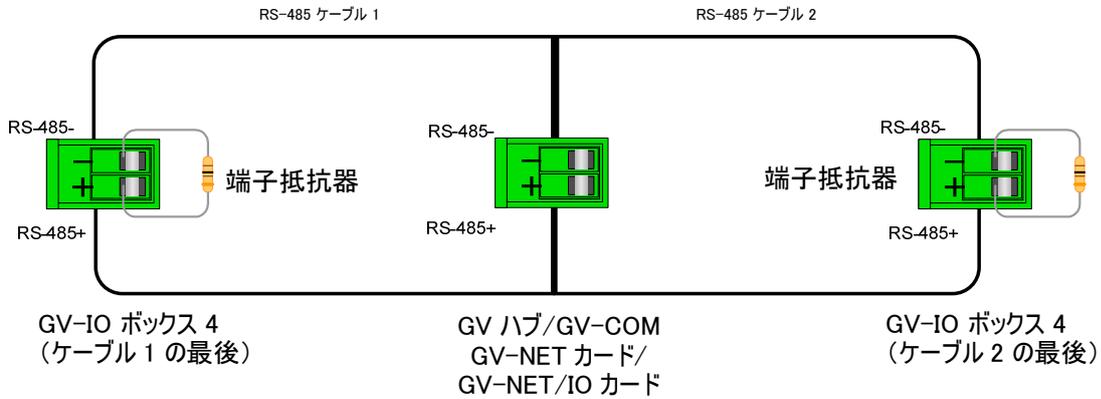


図 2-50

仕様

入力	入力	4	
	入力信号	ドライ接点 ウェット接点 9~30V AC/DC	
出力	リレー出力	4	
	リレーステータス	通常開	
	リレーキャパシタンス	USB 接続	30V DC, 3A
RS-232 接続		125 / 250V AC, 3A 30V DC, 3A	
DC 入力	DC 12V、1A		
アドレス	0-9, A-F		
動作環境	0~50° C / 32~122° F 5%~95% (結露無き事)		
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	180 x 27 x 183 (mm) / 7.09 x 1.06 x 7.20 (in)		

2.12 GVデータキャプチャーV3E

GV データキャプチャーV3E は、LAN だけでなくインターネット接続にも対応しています。また、V3E は、シリアルとパラレル両方の POS システム(キャッシュレジスタ)をサポートしています。

システム要件

- GV データキャプチャーV3E: GV システムバージョン 8.0.4.0 以上

GV データキャプチャーV3E の詳細については、製品に付属の GV データキャプチャーV3E ユーザーズマニュアルを参照してください。

2.13 GVキーボード

GV キーボードは、GV システムのプログラムおよび操作用に設計されています。RS-485 設定を通じて、最大 16 までの GV システムを追加制御することができます。

システム要件

- GV システムバージョン V7.0 以上

GV キーボードについての詳細は、製品に付属の GV キーボードユーザーズマニュアルを参照してください。

2.14 GVジョイスティック

GV ジョイスティックをご利用頂くことにより、パン、チルト、ズーム、フォーカスなどの PTZ カメラコントロールが容易に操作可能になります。GV システム上で動作します。GV キーボードと親和性が高い製品です。

システム要件

- GV システムバージョン 8.2 またはそれ以上

GV ジョイスティックについての詳細は、製品に付属の GV ジョイスティックユーザーズマニュアル を参照してください。

2.15 GV-IR リモコン

GV-IR リモコンは、システムの基本操作用に設計されています。

システム要件

- GV システムバージョン 6.1 またはそれ以上

GV-IR リモコンについての詳細は、製品に付属の赤外線リモコンユーザーズマニュアル を参照してください。

2.16 GV-Wiegandキャプチャーボックス

GV-Wiegand キャプチャーを通して、お使いのアクセスコントロールシステムを GV システムに統合させることができます。統合を行うと、ビデオ映像のオーバーレイ表示を利用してカード所有者名、ID、写真や関連情報を調べることができます。

システム要件

- GV システムバージョン 8.1 またはそれ以上

GV-Wiegand キャプチャーボックスの詳細については、製品に付属の *GV-Wiegand* キャプチャーユーザーズマニュアルを参照してください。

2.17 GVビデオサーバー

GV ビデオサーバーは、現在のIPカメラと同様にリアルタイムデジタル映像をインターネットによって転送することができます。GV ビデオサーバーを GV システムに接続すると、お手持ちの監視システムをアップグレードし、新しいIP監視システムネットワークを構築することが可能です。

システム要件

- GV システムバージョン 8.1 またはそれ以上

GV ビデオサーバーの詳細については、製品に付属の *GVビデオサーバーユーザーズマニュアル* を参照してください。

2.18 GVコンパクトDVR

GV コンパクト DVR はオールインワンソリューションで、モニタリングをより便利にします。インターネットに接続することで、リモートアクセスも可能になります。

システム要件

- GV システムバージョン 8.2 またはそれ以上

GV コンパクト DVR についての詳細は、製品に付属の *GV コンパクト DVR ユーザーズマニュアル* を参照してください。

2.19 USBドライバのインストール

USB 機能を利用するには、PC でドライバをインストールする必要があります。以下のステップに従ってドライバをインストールしてください。

1. ソフトウェア CD を挿入します。自動的にウィンドウが表示されます。
2. **GeoVision GV シリーズドライバのインストールまたは削除**を選択し、**GeoVision USB デバイスドライバのインストール** をクリックします。このダイアログボックスが表示されます。



図 2-51

3. **インストール**をクリックしてドライバをインストールします。インストールが完了すると、次のメッセージが表示されます。**インストールが完了しました。**
4. **終了** をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
5. ドライバが正しくインストールされていることを確認するには、**デバイス マネージャ**を開きます。正しくインストールされている場合は、**ポート**を展開すると、**Prolific USB-to-Serial Bridge** のエントリが 1 つ表示されます。

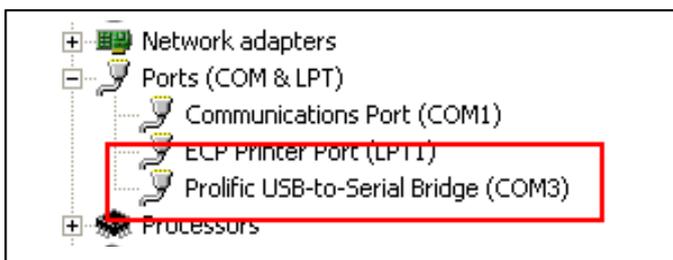


図 2-52

2.20 GV-I/Oボックスのネットワーク利用

GV-I/Oボックス8およびGV-I/Oボックス16は、ネットワーク機能に対応しています。これにより、ネットワークを通じて、GV-System、GV-GIS、およびコントロールセンターと統合運用することが可能になります。

ご使用のネットワーク環境に応じて、固定IPアドレス、動的IPアドレス(DHCP)を選択します。

GV-I/Oボックスは、**バーチャルI/O機能**を使用し、ネットワーク接続を行います。GV-I/OボックスをGV-Systemで利用する場合、下記点にご注意下さい。

1. GV-Systemは9つのI/Oモジュールに対応します。(ローカルI/Oデバイス、バーチャルI/Oデバイスの合計数)
2. GV-I/Oボックスは、5つまでの接続に対応します。(GV-System、CMSアプリケーション)

注:

1. GV-I/Oボックスの初期IPアドレスは**192.168.0.100**です。IPアドレスを設定するために使用するコンピュータは、同一のネットワーク上に存在しなければなりません。
 2. GV-I/OボックスとGV-Systemを統合する場合、監視システムソフトウェアCDのユーザーズマニュアル第6章、**バーチャルI/O制御**を参照ください。
 3. GV-I/OボックスのWebインターフェイスにアクセスする際には、**Internet Explorer 7**以上でアクセスして下さい。
-

2.20.1 固定 IP / 動的 IP アドレス

GV-I/Oボックスに固定IPを設定する場合、下記手順を行います。

1. インターネットブラウザを開き、初期IPアドレスを入力します。<https://192.168.0.100>
ログインダイアログボックスが表示されます。
2. ユーザー名、パスワードに初期値「admin」を入力し、OK をクリックします。
次のページが表示されます。

図 2-53

3. マシン名 (Machine Name) 欄で、必要に応じて GV-I/O ボックスの名前を編集します。
4. **Disable (無効)** をクリックします。IP アドレス (IP Address)、サブネットマスク (Subnet Mask)、デフォルトゲートウェイ (Default Gateway)、および DNS (Domain Name Server) を含む固定 IP アドレス情報を入力します。
5. **Disable (無効)** の場合、DHCP サーバーより自動で IP アドレスが割り当てられます。
6. **Submit (送信)** をクリックします。設定が完了すると、状態 (Status) フィールドが「*Register Success (登録完了)*」を表示します。

注: IP アドレスの代わりにドメイン名 (DNS) を使用することも可能です。DNS の詳細については、[2.2.2 DDNS 接続](#) を参照してください。

2.20.2 DDNS 接続

DDNS (ダイナミックDNS) では、DDNSサービス利用し、ドメイン名をGV-I/Oボックスに割り当てることができます。これにより、ドメイン名を使用し、GV-I/Oボックスにアクセスできるようになります。

DDNS 機能を有効にする場合、まずは DDNS サービス プロバイダのWEBサイトで、ドメイン名を申請します。GV-I/Oボックスが対応しているプロバイダは、**GeoVision DDNS Server** と **DynDNS.org** です。GeoVision DDNS Server で登録を行うには、下記の手順を参照してください。DynDNS の詳細については、www.dyndns.org にお問い合わせください。

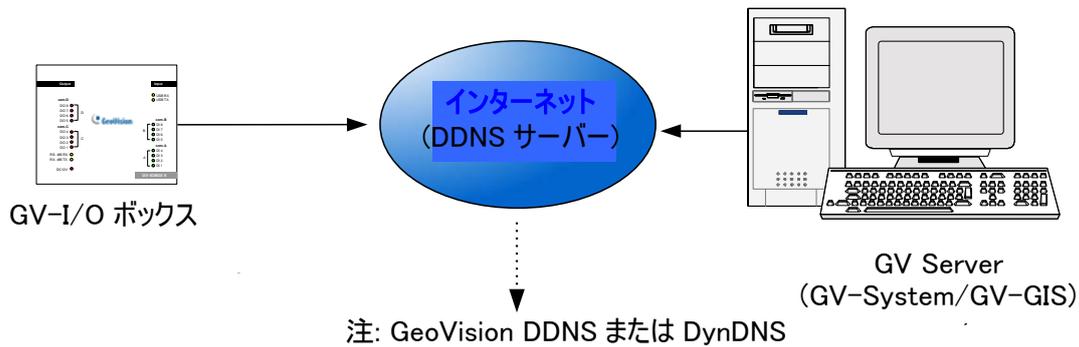
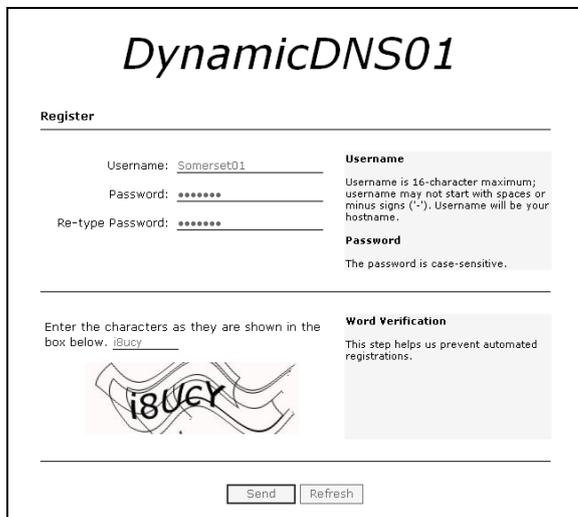


図 2-54

2.22.2.1 DDNS ドメイン名を登録する

GeoVision DDNS Server からドメイン名を取得する場合、下記手順を行います。

1. ネットワーク構成 (Network Configuration) のページで、**GeoVision DDNS** ボタンをクリックします。
(図 2-53)または、インターネットブラウザを開き、WEB アドレス
(<http://ns.dipmap.com/register.aspx>) を入力します。次のページが表示されます。



DynamicDNS01

Register

Username: **Username**
Username is 16-character maximum, username may not start with spaces or minus signs ('-'). Username will be your hostname.

Password: **Password**
The password is case-sensitive.

Re-type Password:

Enter the characters as they are shown in the box below. **Word Verification**
This step helps us prevent automated registrations.

図 2-55

2. ユーザー名フィールドに、名前を入力します。ユーザー名は半角の“a～z”、“0～9”、“-”を16文字まで入力できます。空白または“-”は、最初の文字として使用することはできません。
3. パスワードフィールドに、パスワードを入力します。パスワードは大文字と小文字を区別し、6文字以上の長さで指定する必要があります。パスワードの再入力フィールド (Re-type Password) に確認のためにパスワードを再入力します。
4. 文字認証 (Word Verification) セクションでは、ボックス内に表示されている文字や数字のコードを入力します。この例では、*i8UCY*と入力します。文字認証 (Word verification) は大文字と小文字を区別しません。
5. **Send (送信)** ボタンをクリックします。登録が完了すると、次のようなページが表示されます。
Hostname (ホスト名)がドメイン名になります。ホスト名は、登録したユーザー名 + “dipmap.com” 使って作成されています。例: somerset01.dipmap.com。

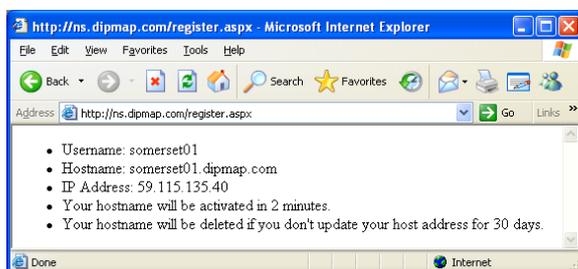


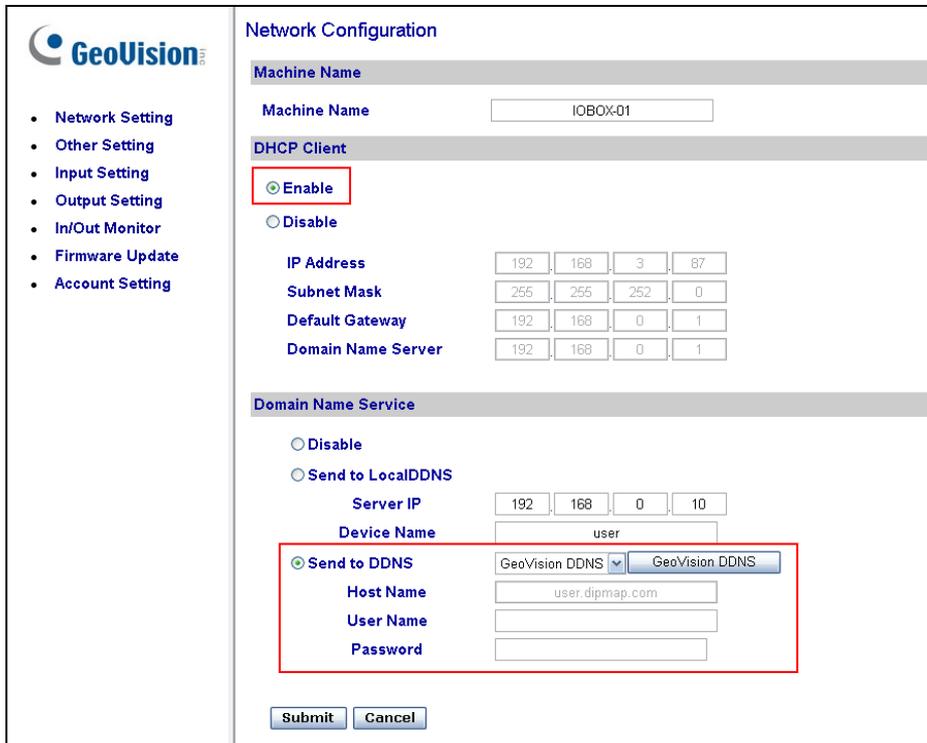
図 2-56

注: 登録されたユーザー名が1か月の間使用されない場合、無効になります。

2.20.2.2 DDNS ドメイン設定

DDNS Server からドメイン名を取得した後、GV-I/O ボックスでドメイン名を設定します。これにより、ドメイン名を使用し、GV-I/O ボックスにアクセスできるようになります。

1. 2.22.1 固定 IP 接続のステップ 1-2 の手順を行います。ネットワーク構成 (Network Configuration) のページが表示されます。
2. **Enable (有効)** をクリックして、**Send to DDNS (DDNS に送信)** を選択します。
3. DDNS Server 登録時の **Host Name (ホスト名)**、**User Name (ユーザー名)**、**Password (パスワード)** を入力します。GeoVision DDNS を選択した場合、システムは自動的にホスト名(Host Name) を生成します。



The screenshot shows the 'Network Configuration' page in the GeoVision web interface. The 'DHCP Client' section has the 'Enable' radio button selected. The 'Domain Name Service' section has 'Send to DDNS' selected. The 'Send to DDNS' section is highlighted with a red box and contains the following fields: 'Server IP' (192.168.0.10), 'Device Name' (user), 'Host Name' (user.dipmap.com), 'User Name', and 'Password'. The 'Submit' and 'Cancel' buttons are at the bottom.

図 2-57

4. **Submit (送信)** をクリックします。設定が完了すると、状態 (Status) フィールドが「*Register Success (登録完了)*」を表示されます。

2.20.3 その他の設定

左側のメニューで、**Other Setting (その他の設定)** をクリックします。次のページが表示されます。

Other Configuration	
Device ID	
Device ID	1
Connection to IO-BOX	
Connection to IO-BOX	Enable
Communication Port	
Communication Port	10000
Mac Address / Firmware Version	
Mac Address	00:13:e2:01:00:b3
Ethernet Module Version	V1.0.0-20090812
Reboot System / Set Default	
Reboot System:	Reboot
Default Value:	Default
Submit Cancel	

図 2-58

[IDDevice ID] (デバイス) デバイスの現在の ID を示しています。

[Connection to IO-BOX] (IO BOX への接続) ネットワーク上で GV-I/O ボックスを使用する場合、**Enable (有効)** を選択します。GV-I/O ボックスを USB または RS-485 接続を介して使用する場合、**Disable (無効)** を選択します。同時に 2 つの接続方法におこなうことはできません。

[(Communication Port)] (通信ポート) 初期値 10000。

[Mac Address/Firmware Version] (MAC アドレス/ファームウェアバージョン) ネットワークインターフェイス MAC アドレスと GV-I/O ボックスのイーサネットモジュールバージョンを表示します。

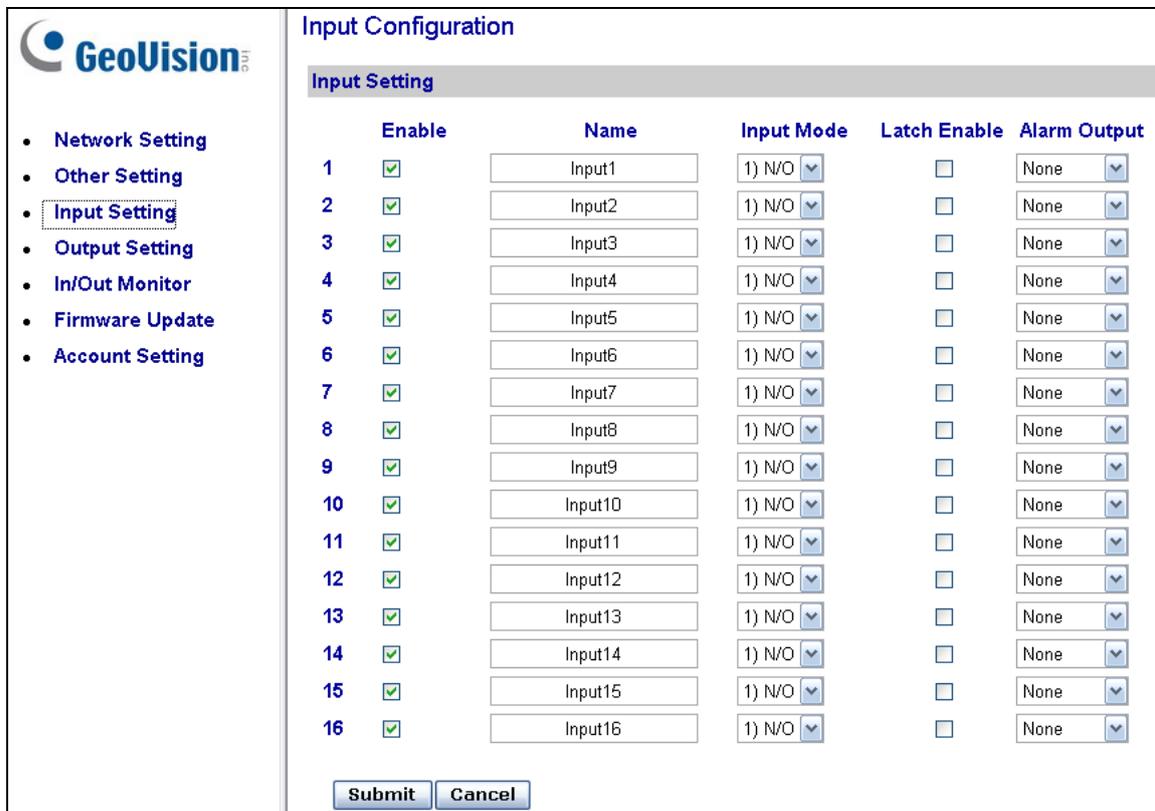
[Reboot System/Set Default] (システム再起動/初期値設定)

- **システム再起動 (Reboot System):** GV-I/O ボックスを再起動します。現在の設定を保持されます。
- **デフォルト値 (Default Value):** すべての設定パラメータを工場出荷時設定にリセットします。完了まで約 5 秒間掛かります。

注: 接続を USB または RS-485 からネットワークモードに切り替える場合、あらかじめ USB または RS-485 ケーブルを GV-I/O ボックスから取り外したあとに、設定ページの **Enable (有効)** を有効にしてください。誤手順の場合、ネットワーク接続は正しく機能しません。

2.20.4 入力設定

左側のメニューで、Input Setting (入力設定) をクリックします。次のページが表示されます。



	Enable	Name	Input Mode	Latch Enable	Alarm Output
1	<input checked="" type="checkbox"/>	Input1	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
2	<input checked="" type="checkbox"/>	Input2	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
3	<input checked="" type="checkbox"/>	Input3	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
4	<input checked="" type="checkbox"/>	Input4	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
5	<input checked="" type="checkbox"/>	Input5	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
6	<input checked="" type="checkbox"/>	Input6	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
7	<input checked="" type="checkbox"/>	Input7	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
8	<input checked="" type="checkbox"/>	Input8	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
9	<input checked="" type="checkbox"/>	Input9	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
10	<input checked="" type="checkbox"/>	Input10	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
11	<input checked="" type="checkbox"/>	Input11	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
12	<input checked="" type="checkbox"/>	Input12	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
13	<input checked="" type="checkbox"/>	Input13	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
14	<input checked="" type="checkbox"/>	Input14	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
15	<input checked="" type="checkbox"/>	Input15	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None
16	<input checked="" type="checkbox"/>	Input16	1) N/O	<input type="checkbox"/>	None

図 2-59

- **Enable (有効)**: チェックボックスをオンにすると、選択したインプット機能を有効にします。
- **NAME (名前)**: インプット名を編集できます。
- **Input Mode (入力モード)**: 入力モードを **N/C** (ノーマルクローズ) または **N/O** (ノーマルオープン) に設定します。
- **Enable Latch (ラッチモード)**: ラッチモードを設定します。
- **Alarm Output (アラーム出力)**: アウトプット連動を行う場合に設定します。

Submit (送信) ボタンをクリックして変更を保存します。

2.20.5 出力設定

左側のメニューで、Output Setting (出力設定) をクリックします。次のページが表示されます。

	Enable	Name	Output Mode	Pulse Mode Delay Time(1 - 60)	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	Output1	1) Normal Mode N/O	1	Sec
2	<input checked="" type="checkbox"/>	Output2	1) Normal Mode N/O	0	Sec
3	<input checked="" type="checkbox"/>	Output3	1) Normal Mode N/O	0	Sec
4	<input checked="" type="checkbox"/>	Output4	1) Normal Mode N/O	0	Sec
5	<input checked="" type="checkbox"/>	Output5	1) Normal Mode N/O	0	Sec
6	<input checked="" type="checkbox"/>	Output6	1) Normal Mode N/O	0	Sec
7	<input checked="" type="checkbox"/>	Output7	1) Normal Mode N/O	0	Sec
8	<input checked="" type="checkbox"/>	Output8	1) Normal Mode N/O	0	Sec
9	<input checked="" type="checkbox"/>	Output9	1) Normal Mode N/O	0	Sec
10	<input checked="" type="checkbox"/>	Output10	1) Normal Mode N/O	0	Sec
11	<input checked="" type="checkbox"/>	Output11	1) Normal Mode N/O	0	Sec
12	<input checked="" type="checkbox"/>	Output12	1) Normal Mode N/O	0	Sec
13	<input checked="" type="checkbox"/>	Output13	1) Normal Mode N/O	0	Sec
14	<input checked="" type="checkbox"/>	Output14	1) Normal Mode N/O	0	Sec
15	<input checked="" type="checkbox"/>	Output15	1) Normal Mode N/O	0	Sec
16	<input checked="" type="checkbox"/>	Output16	1) Normal Mode N/O	0	Sec

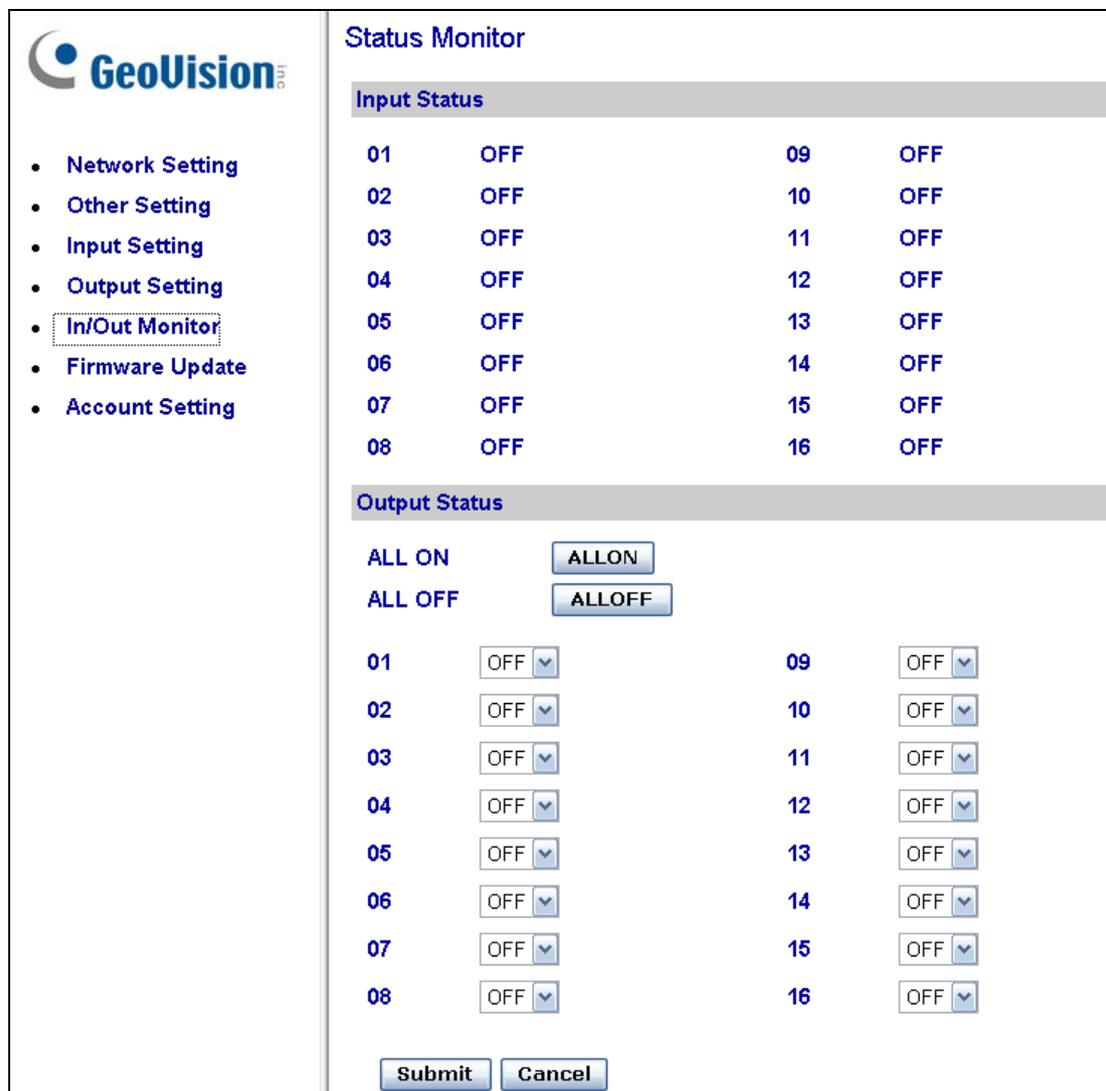
図 2-60

- **Enable (有効):** チェックボックスをオンにすると、選択したアウトプット機能を有効にします。
- **Name (名前):** インпут名を編集できます。
- **Output Mode (出力モード):** 出力モードを **N/C** (ノーマルクローズ) または **N/O** (ノーマルオープン) に設定します。
- **Normal Mode (N/O and N/C) (通常モード (N/O および N/C)):** アウトプット信号が停止するまで、出力のトリガを保持します。
 - **Toggle Mode (N/O and N/C) (トグルモード (N/O および N/C)):** 新しい入力トリガによってアウトプット信号が停止されるまで、出力のトリガを保持します。
 - **Pulse Mode (N/O and N/C) (パルスモード (N/O および N/C)):** アウトプットは、**Pulse Mode Delay Time (1-60) (パルスモード遅延時間 (1-60))** フィールドで設定された時間トリガされ続けます。
- **Pulse Mode Delay Time (1-60) (パルスモード遅延時間 (1-60)):** パルス遅延時間を 1-60 秒の間で設定します。

Submit (送信) ボタンをクリックして変更を保存します。

2.20.6 インプット/アウトプットモニター

左側のメニューで、In/Out Monitor (In/Out モニタ) をクリックします。次のページが表示されます。



Status Monitor

Input Status

01	OFF	09	OFF
02	OFF	10	OFF
03	OFF	11	OFF
04	OFF	12	OFF
05	OFF	13	OFF
06	OFF	14	OFF
07	OFF	15	OFF
08	OFF	16	OFF

Output Status

ALL ON

ALL OFF

01	OFF	09	OFF
02	OFF	10	OFF
03	OFF	11	OFF
04	OFF	12	OFF
05	OFF	13	OFF
06	OFF	14	OFF
07	OFF	15	OFF
08	OFF	16	OFF

図 2-61

- **Input Status (入力ステータス):** 16 個のインプット状態を表示します。On (オン) はトリガ状態を意味し、OFF (オフ) はインプットなしを表します。
- **Output Status (出力ステータス):** 16 個のアウトプット状態を表示します。On (オン) はトリガ状態を意味し、OFF (オフ) はアウトプットなしを表します。ALL ON (すべてオン) ボタンをクリックすると、16 個のアウトプットすべてをトリガさせます。ALL OFF (すべてオフ) ボタンをクリックすると、16 個のアウトプットすべてをオフにします。個別にトリガを強制する場合は ON (オン) を選択し、オフにするには、OFF (オフ) を選択します。

Submit (送信) ボタンをクリックして変更を保存します。

2.20.7 ファームウェアの更新

GV-I/O ボックスのファームウェアを更新する場合、下記手順を行います。

1. 左側のメニューで、**Firmware Update (ファームウェアの更新)** をクリックします。次のページが表示されます。

The screenshot shows the 'Firmware Update' page in the GeoVision web interface. On the left is a navigation menu with items: Network Setting, Other Setting, Input Setting, Output Setting, In/Out Monitor, Firmware Update (highlighted), and Account Setting. The main content area has a red header with instructions: 'Firmware Update. After pressing the Update button, please wait while the update request is being processed. After update is completed, the device will reboot automatically. You can re-login afterwards.' Below this is a 'Select Firmware:' section with a text input field and a 'Browse...' button. A green 'Upload' button is located below the input field. At the bottom, there are two labels: 'Update State:' with an empty text input field, and 'Update Process:' with a progress bar showing 0%.

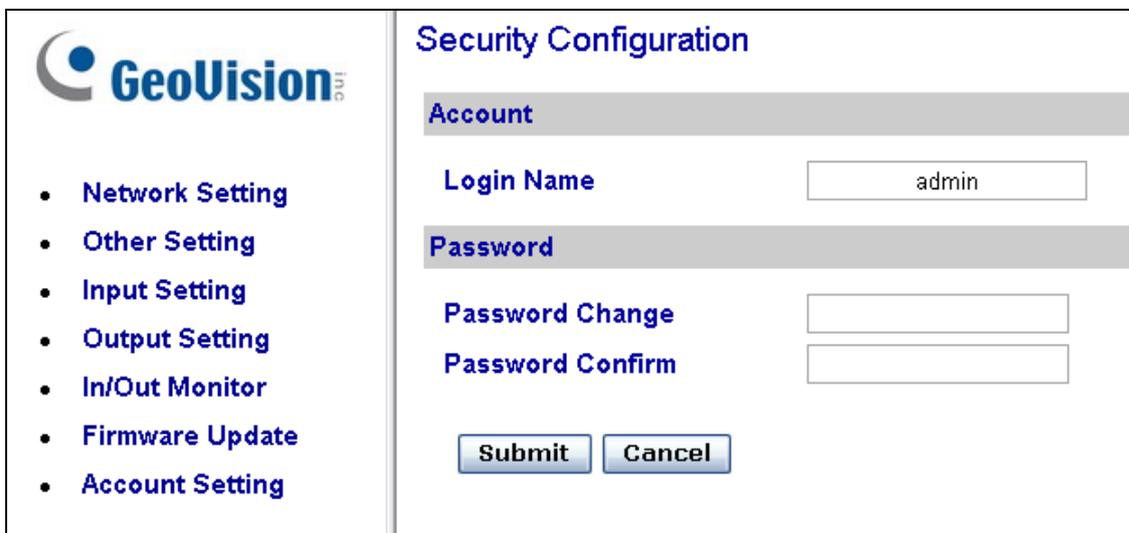
図 2-62

2. **Browse...** (参照) ボタンをクリックして、ファームウェアファイル (*.bin) を開きます。
3. **Upload (アップロード)** ボタンをクリックします。更新作業は、完了するまで約 60 秒間掛かります。
4. 更新が完了すると、システムを再起動するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。
5. **OK** をクリックします。GV-I/O ボックスが再起動します。

注: ファームウェアを更新した後は、必ず GV-I/O ボックスを再起動させる必要があります。再起動しない場合、ファームウェアの更新は正常に行われません。

2.20.8 ログイン ID とパスワードを変更する

左側のメニューで、**Account Setting (アカウント設定)** をクリックします。次のページが表示されます。ログイン名とパスワードを変更します。パスワードは大文字/小文字を区別し、半角の“a ~ z”、“0 ~ 9”、“-”を使って4文字まで入力できます。



The screenshot shows the 'Security Configuration' page in the GeoVision web interface. On the left is a navigation menu with the following items: Network Setting, Other Setting, Input Setting, Output Setting, In/Out Monitor, Firmware Update, and Account Setting. The 'Account Setting' item is highlighted. The main content area is titled 'Security Configuration' and contains two sections: 'Account' and 'Password'. The 'Account' section has a 'Login Name' field with the value 'admin'. The 'Password' section has 'Password Change' and 'Password Confirm' fields, both currently empty. At the bottom of the form are 'Submit' and 'Cancel' buttons.

図 2-63

第 3 章 ソフトウェアのインストール

本章では、次の項目について説明します。

- [インストール前にご確認ください](#)
- [プログラムのインストール](#)
- [プログラム一覧](#)

3.1 インストール開始前の準備

システムの性能を最大限発揮していただくために、アプリケーションソフトウェアを導入前に下記の各項目に従ってシステム構成の準備を行ってください。

- ハードディスクドライブの構成を、WindowsOS およびアプリケーションソフトウェア用のパーティションと映像・音声及びシステムログ保存用のパーティション、合計 2 つ以上のパーティションを用意して下さい。
- ハードディスクをフォーマットする時は、上記どちらも、ファイルシステムは **NTFS** を選択します。
- GV システムは、マルチチャンネルビデオ録画システムです。システムを使用すると、ビデオファイルを含む論理ドライブはフラグメント化(断片化)します。これは、GV システムが同時に複数のカメラからのビデオファイルを継続的に保存することにより、ビデオファイルがドライブ全体に分散されるためです。しかし、ディスクのデフラグを定期的に行う**必要はありません**。アプリケーションソフトウェアと映像ファイルは 2 つの論理ドライブに別々に保存されるため、システム性能に影響を与えることはありません。

3.2 プログラムのインストール

監視システムソフトウェア CD を挿入すると、自動的にプログラムのインストールウィンドウが表示されます。

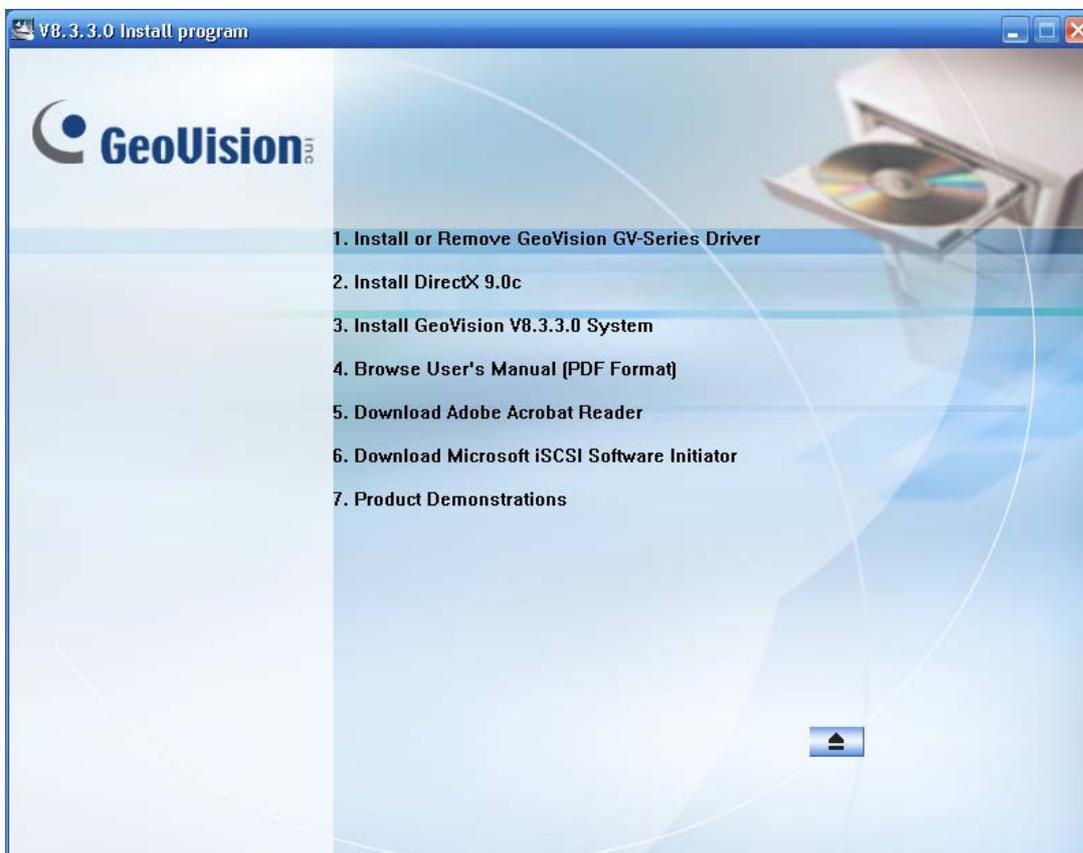


図 3-1 プログラムのインストール ウィンドウ

システムソフトウェアをインストールする前に、DirectX9.0c がコンピュータにインストールされていることを確認してください。

DirectX

コンピュータに最新版 Direct X がインストールされていない場合は、プログラムのインストールウィンドウから、DirectX 9.0c のインストールをクリックします。

システムのインストール

GV システムをインストールするには、次の手順を実行してください。

1. プログラムのインストールウィンドウで、**GeoVision 8.3.x.x システムのインストール**をクリックします。
2. メインシステムをインストールするには、**GeoVision メインシステム**を選択し、画面の指示に従います。
3. 上記の手順に従って、他のプログラムを1つずつインストールします。

システムのアンインストール

GV システムをアンインストールするには、次の手順を実行してください。

1. コンピュータはアンインストール実行中に再起動するため、現在起動しているすべてのプログラムを閉じます。
2. タスクバーのスタートボタンをクリックし、**すべてのプログラム**を選択してシステムフォルダを選択し、**GeoVision システムのアンインストール(Uninstall GeoVision System)**をクリックします。

注: コンピュータに保存されているビデオファイルおよびログファイル、設定などは、システムをアンインストールしても削除されません。

3.3 プログラム一覧

監視システムソフトウェア CD には、次のプログラムが含まれています。

1 ページ目:

1. メインシステム
2. リモート ViewLog
3. リモート再生クライアントサイト
4. Single Player
5. Center V2
6. マルチビュー
7. 音声ブロードキャスト
8. マルチキャスト
9. Microsoft PDA Viewer V2
10. Microsoft SmartPhone Viewer V2(Windows Mobile 5.0 用)



図 3-2 プログラムのインストール 1 ページ目

2 ページ目:

11. Microsoft SmartPhone Viewer V3 (Windows Mobile 6.0 用)
12. Symbian SmartPhone Viewer V3 (Nokia S60 2nd edition and 3rd edition 用)
13. BlackBerry Smartphone Viewer (BlackBerry OS 用)
14. E-Map サーバー
15. リモート E-Map
16. POS Data Sender (グラフィックモード POS デバイス専用)
17. POS Text Sender (Windows ベースおよびテキストモード POS デバイス専用)
18. マルチカムシステム FBR (Fast Backup and Restore Multicam System)
19. ダイナミック DNS サービス
20. ローカル DDNS サーバー



図 3-3 プログラムのインストール 2 ページ目

3 ページ目:

- 21. 認証サーバー
- 22. TwinDVR システム
- 23. SMS サーバー
- 24. 帯域幅制御クライアントサイト
- 25. バックアップビューアー



図 3-4 プログラムのインストールの 3 ページ目

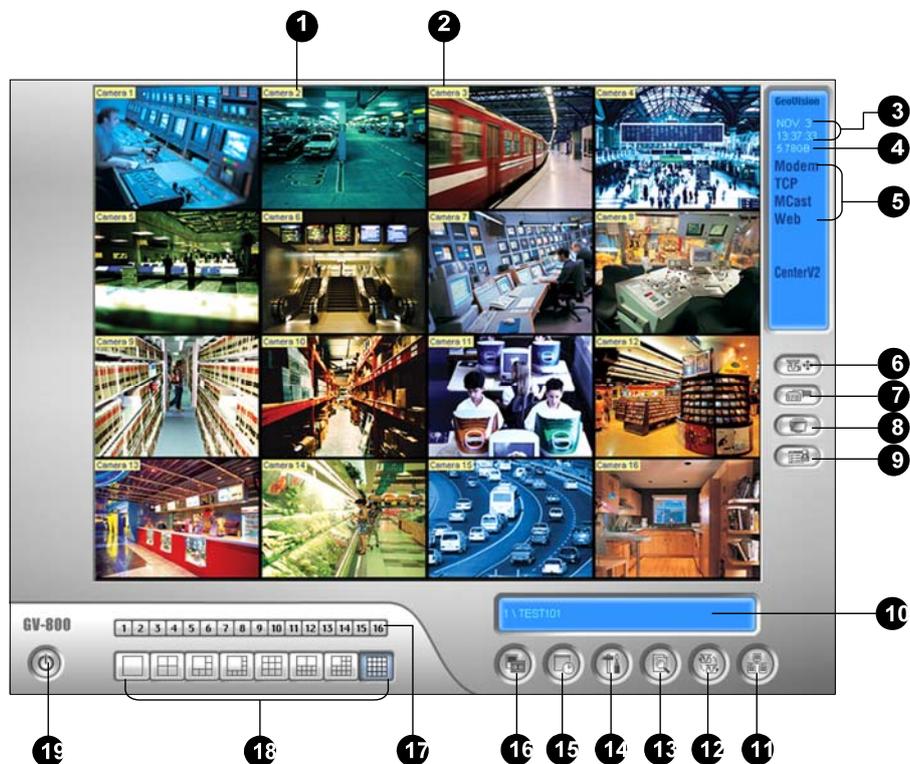
第 4 章 画面の概要

GV システムのスキンは、シルバースタイルとオリジナルスタイルの 2 種類から選択することができます。デフォルトはシルバースタイルに設定されています。各スキンスタイルのインターフェースは異なります。本章では、次の主な画面についての概要を説明します。

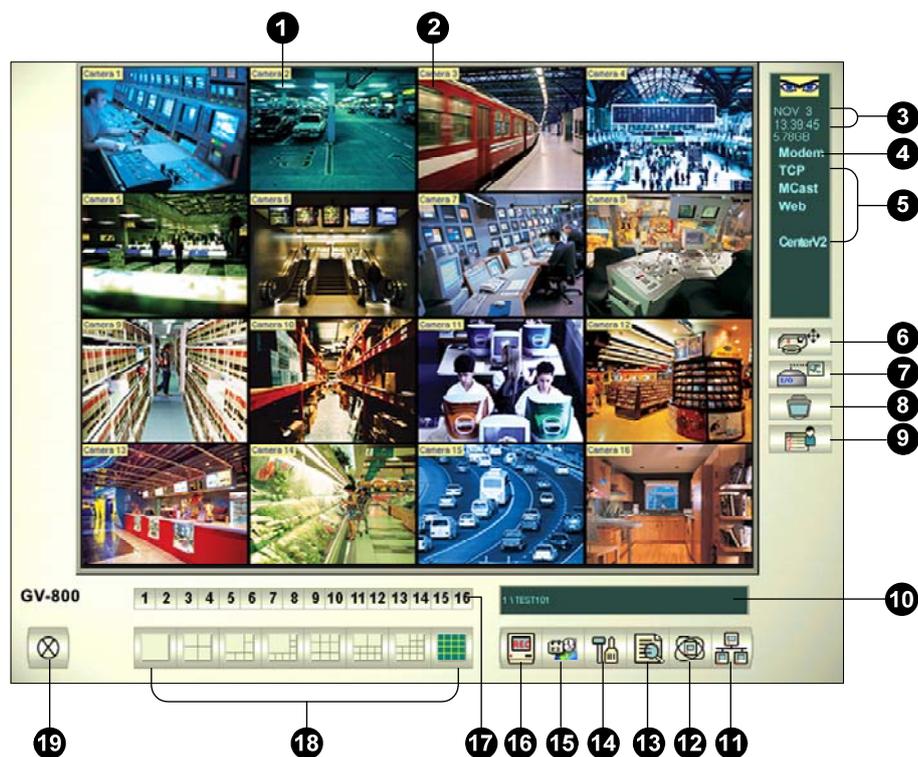
- [メインシステム](#)
- [録画再生](#)
- [リモート再生クライアント](#)
- [シングル表示ビューア](#)
- [マルチビュービューア](#)
- [Center V2](#)
- [GV-Control Center](#)

4.1 メインシステム

シルバー



オリジナル



メイン画面のコントロール機能:

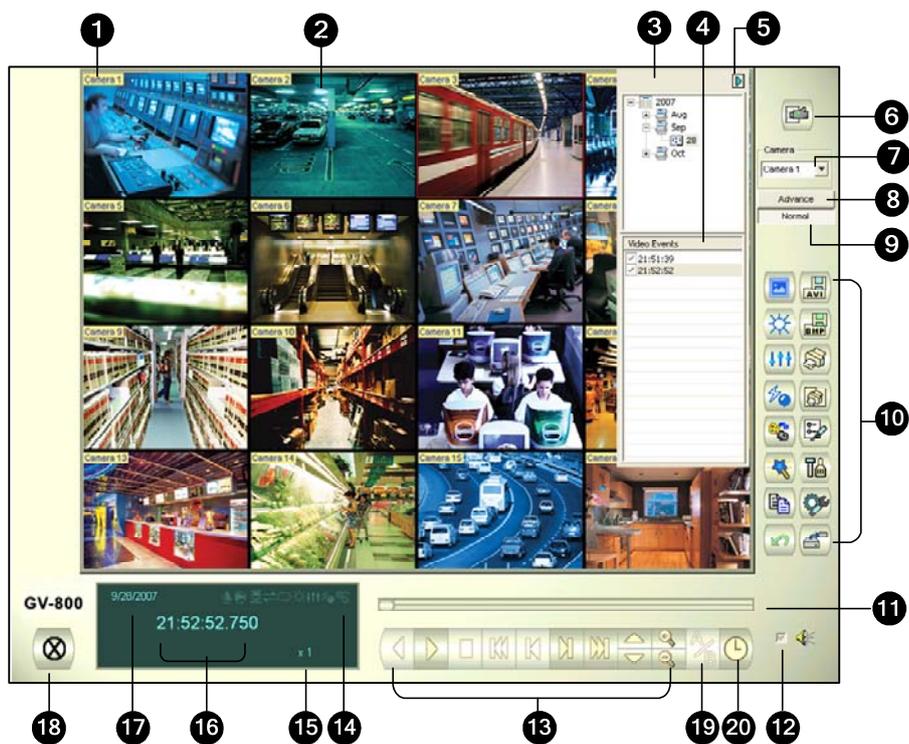
番号	名前	説明
1	カメラ番号	接続されたポート番号に該当するカメラの番号を表示します。
2	カメラ名	カメラに設定した名称を表示します。
3	日付/時刻	現在の日付及び時刻を表示します。
4	空き容量	ハードディスクの空き容量を表示します。
5	接続	遠隔アプリケーションの接続状態を表示します。
6	PTZ コントロール	PTZ カメラの操作パネルを表示します。
7	I/O コントロール	I/O 操作・状態表示パネルを表示します。
8	TV 出力	スポットモニター コントロールパネルを表示します。
9	ユーザー定義	任意に設定したアプリケーションを起動します。
10	ロケーション名	GV システム名、およびユーザー名を表示します。
11	ネットワーク	遠隔アプリケーションについて設定・起動します。
12	カメラ切替	カメラ切替・オートスキャン機能を実行します。
13	録画再生	録画内容を再生します。 簡易再生、録画再生、システムログ、POS データ検索、POS ライブ表示、移動体検出監視、移動体検出検索、E-Map、ライブパノラマ表示(オプション)
14	システム設定	各種システム設定を行います。
15	スケジュール	録画スケジュールの設定、開始・停止を行います。
16	録画の起動 / 停止	録画の開始・停止を行います。
17	カメラ選択	メインの分割表示に対して表示するカメラ番号を選択します。
18	分割画面数	分割画面表示方法を選択します。
19	終了	ユーザの変更、ログアウト、最小化、GV システムの再起動、終了。

4.2 録画再生

シルバー



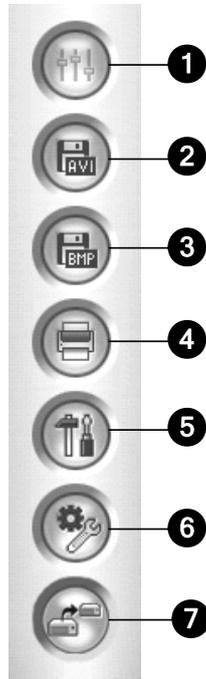
オリジナル



録画再生ウィンドウのコントロール機能:

番号	名前	説明
1	カメラ名	カメラ名称を表示します。
2	再生画面	録画された映像を表示します。
3	日付ツリー	日付を表示します。
4	ビデオイベントリスト	選択した日付に含まれるビデオイベントを表示します。
5	矢印スイッチ	イベントリストとマルチホスト接続リスト間の切り替えを行います。
6	表示モード	シングル画面、サムネイル画面、4分割画面、マルチ画面の切替。 PIP、PAP表示も可能です。
7	カメラ選択	再生するカメラを選択します。
8	詳細検索	通常検索、詳細検索、タイムライン検索を行います
9	通常検索	日付ツリー、ビデオイベントリストを表示します。
10	機能パネル	各種設定、操作を行います。
11	スクロールバー	再生中に早送り、巻き戻しを行います。
12	オーディオ設定	オーディオ再生を有効にします。
13	再生パネル	映像の再生などを行います。
14	機能パネル	有効な機能のアイコンをハイライトします。 左から右へ順に、A/Bモード、次のイベントの自動再生、コントラストおよび輝度、光補正およびイコライゼーション、シャープおよびぼかし、白黒切替、リモート ViewLog への再接続アイコンです。
15	再生スピード	再生速度が表示されます。
16	時刻表示	再生ビデオの時間を表示します。
17	日付表示	再生ビデオの日付を表示します。
18	終了	録画再生ウィンドウを閉じるか、最小化します。
19	A-Bモード	設定フレーム A から B へ繰り返し再生します。
20	フレーム毎/ リアルタイム	ビデオをフレーム毎またはリアルタイムで再生します。

シルバー機能パネル



機能パネルのコントロール機能:

番号	名前	説明
1	効果	画像に効果を追加します。 輝度/コントラスト、光補正、イコライゼーション、シャープ、ぼかし、白黒切替、前の動作に戻す、元に戻す、コピー、サンプルおよび画像処理詳細設定。
2	AVIとして保存	ビデオファイルを avi あるいは exe 形式で保存します。
3	画像として保存	ビデオ画像を、bmp、jpg、gif、png、tif のいずれかの形式で保存します。
4	プリント	印刷環境の設定、および印刷を行います。
5	設定	録画再生のシステム設定をします。
6	ツール	オブジェクト検索、ログ情報検索、削除、リモート ViewLog サービス接続、リモートバックアップサーバー、アドレス帳、GIS ウィンドウ表示、Map API 選択 および 機能。
7	バックアップ	ビデオファイルをバックアップします。

オリジナル機能パネル

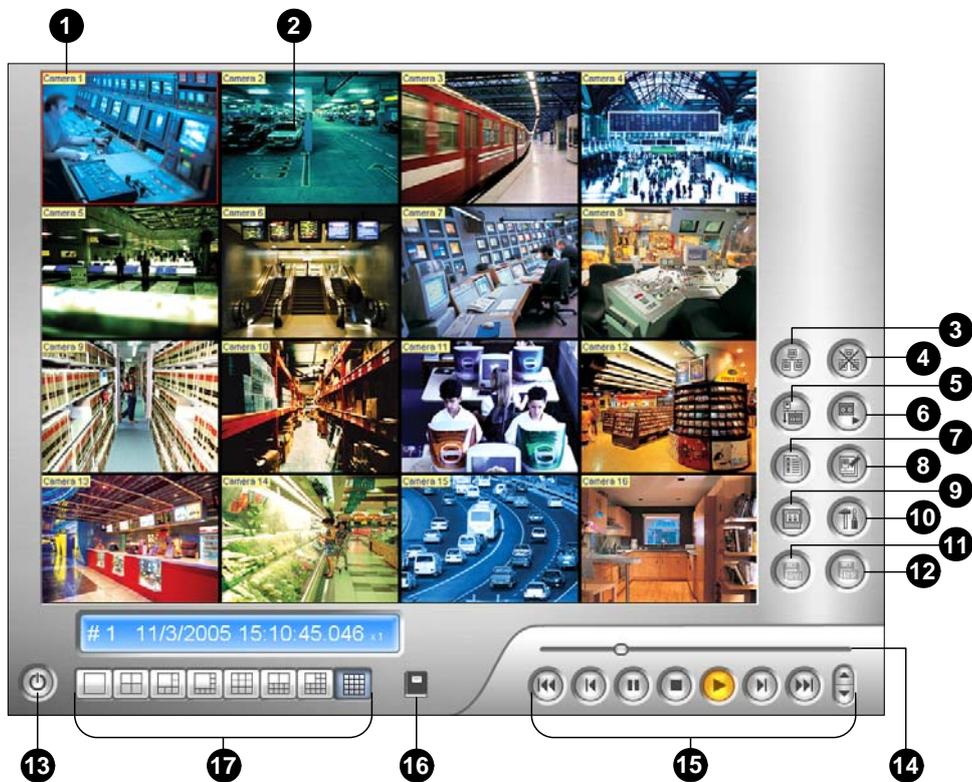


機能パネルのコントロール機能:

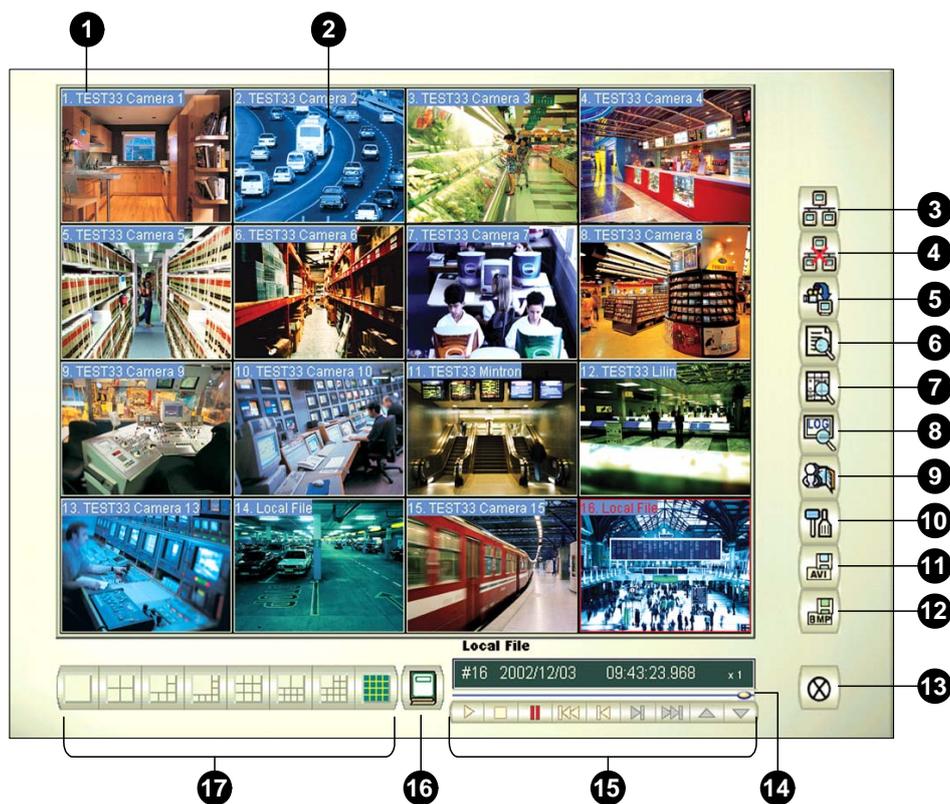
番号	名前	説明
1	サンプル	コントラスト、輝度、光補正、イコライゼーション、シャープ、ぼかし、白黒切替の効果を適用する「前」と「後」のサンプル画像を表示します。 ^f
2	コントラスト/輝度	ビデオ映像のカラーコントラストと輝度を変更します。
3	光補正/ イコライゼーション	ビデオ映像の光補正とイコライゼーションを変更します。適用された効果を取り消すには、元に戻すボタンをクリックします。
4	シャープ/ぼかし	ビデオ映像のシャープおよびぼかしを変更します。適用された効果を取り消すには、元に戻すボタンをクリックします。
5	白黒切替	白黒画像に切り替えます。
6	拡張ビデオ分析	デフォグ除去、振動補正効果を使ってビデオイメージを向上させます。
7	コピー	ビデオ画像を Windows クリップボードにコピーします。
8	元に戻す	ビデオ映像の適用された効果を元に戻します。
9	AVI ファイルの保存	ビデオファイルを avi あるいは exe 形式で保存し、マージングリストを表示します。
10	画像として保存	ビデオ画像を、bmp、jpg、gif、png、tif のいずれかの形式で保存します。
11	プリント	映像を印刷します。
12	印刷セットアップ	印刷用の設定を行います。
13	ページセットアップ	ページのレイアウトを設定します。
14	設定	録画再生のシステム設定をします。
15	ツール	オブジェクト検索、ログ情報検索、削除、リモート ViewLog サービス接続、リモートバックアップサーバー、アドレス帳、GIS ウィンドウ表示、Map API 選択 および 機能。
16	バックアップ	ビデオファイルをバックアップします。

4.3 リモート再生クライアント

シルバー



オリジナル



リモート再生クライアントウィンドウのコントロール機能:

番号	名前	説明
1	カメラ名	カメラ名称を表示します。
2	再生画面	録画された映像を表示します。
3	接続	(RPB)リモート再生サーバーへ接続します。
4	切断	リモート再生サーバーへの接続を、すべてあるいは選択して切断します。
5	リモートビデオのダウンロード(再生)	リモートビデオをダウンロードし再生します。
6	ローカルビデオの再生	クライアントコンピュータにあるビデオファイルを再生します。
7	リストの表示	接続状態および接続中のカメラ情報を表示します。
8	接続記録	接続状態の保存・読込。
9	アドレス帳	リモート再生サーバーへのクイック接続を作成します。
10	詳細設定	ダウンロード、画面情報、画面解像度を設定します。
11	AVIとして保存	ビデオファイルを avi あるいは exe 形式で保存します。
12	BMP として保存	ビデオ画像を bmp 形式で保存します。
13	終了	リモート再生クライアントウィンドウの終了・最小化します。
14	スクロールバー	再生ビデオの早送りまたは巻き戻しを行います。
15	再生パネル	一般的な再生コントロールボタンが含まれます。
16	ページ選択	チャンネル 1～16 と 17～32 の間で切り替えます。
17	画面分割	画面分割を設定します。

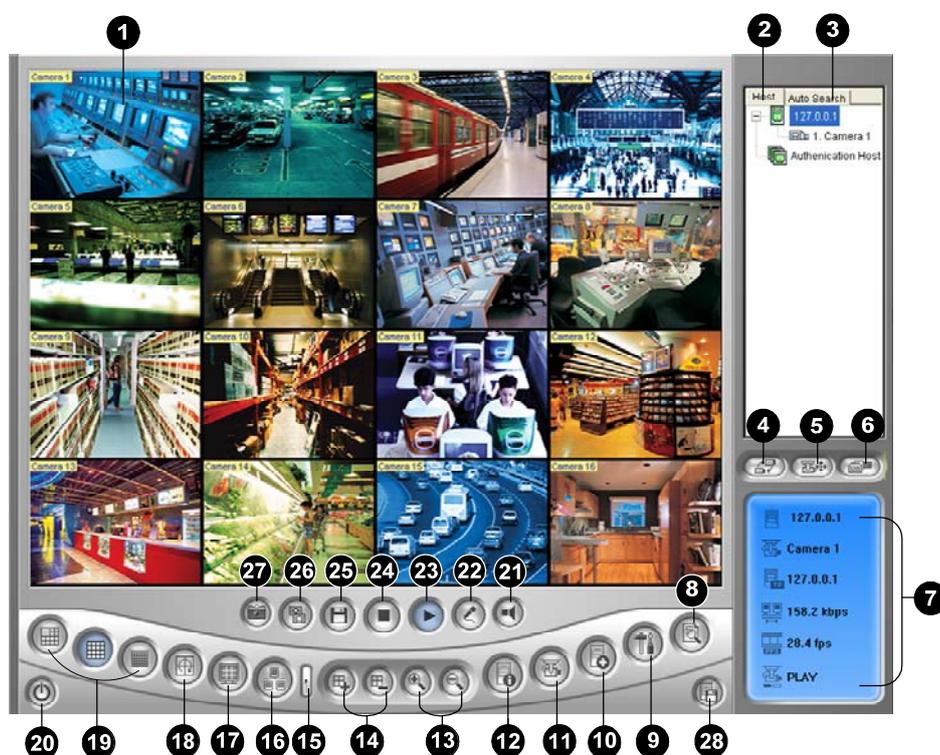
4.4 シングル表示ビューア



シングル表示ビューアのコントロール機能:

番号	名前	説明
1	カウントダウンタイマー	ゲストログイン時、自動ログアウトまでの残り時間を示します。時間が 0 になると自動的にログアウトします。
2	メニュー	次のオプションが表示されます。情報、映像、音声、プリセット、I/O 制御、発報通知、カメラ調整、POS/Wiegand。
3	展開/閉じる	メニューオプションリストを表示/非表示します。
4	オプション選択バー	メニューオプションを選択します。オプションリストは上記のメニューをご参照下さい。
5	システムメニューの表示	次のオプションを表示します。アラーム通報、映像・音声設定、遠隔設定、サーバー変更、カメラ名称表示、画像補正。
6	カメラメニューの表示	表示するカメラを選択します。
7	PTZ コントロール	PTZ コントロールパネルを表示します。
8	I/O コントロール	I/O コントロールパネルを表示します。
9	全画面	フルスクリーン表示に切り替えます。
10	ファイルの保存	ライブビデオをローカルコンピュータに保存します。
11	画質の変更	2 つのオプションで画質を調整します: Geo H264 と Geo MPEG4 。 ハードウェア圧縮またはメガピクセルビデオストリームの場合は、 IP カメラ JPEG 、 IP カメラ MPEG2 、または IP カメラ MPEG4 を選べます。
12	スナップショット	表示されたライブビデオのスナップショットを撮ります。
13	スピーカー	リモート GV システムからのライブ音声を有効にします。
14	マイク	リモート GV システムへの通話を有効にします。
15	停止	リモート GV システムとの接続を切断します。
16	再生	リモート GV システムへ接続します。

4.5 マルチビュービューア



マルチビューのコントロール機能：

番号	名前	説明
1	監視ウィンドウ	ライブ映像を表示します。
2	ホストウィンドウ	接続している GV システムおよびその有効なカメラを表示します。
3	自動検索	同じ LAN にあるすべてのホストを表示します。
4	カメラの選択	表示させたいカメラを選択します。GV システムでパノラマビューが作成されている場合、本メニューも含まれます。
5	PTZ コントロール	PTZ コントロールパネルを表示します。
6	I/O コントロール	I/O コントロールパネルを表示します。
7	チャンネルステータス	選択されたチャンネルの全般情報を示します。
8	ViewLog	リモート ViewLog へアクセスします。
9	設定	マルチビューのシステム設定にアクセスします。
10	ホストの編集	接続情報リストを登録します。
11	カメラステータス	接続している GV システムのカメラ状態を表示します。
12	ホスト情報	接続している GV システムの基本状態を表示します。
13	ズームイン/ズームアウト	選択したチャンネルをズームインまたはズームアウトします。

14	チャンネルの追加/削除	ビデオポーリングのチャンネルを追加または削除します。
15	次へ	画面分割ボタンの次のページへ進みます。
16	マルチキャスト	マルチキャスト機能にアクセスします。
17	全画面	フルスクリーン表示に切り替えます。
18	ビデオポーリング	選択したチャンネルを回転します。
19	画面分割	画面を 4, 6, 8, 9, 10, 13, 16, 32 分割のいずれかに設定します。
20	終了/最小化	マルチビューウィンドウを閉じる、または最小化します。
21	スピーカー	リモート GV システムへの通話を有効にします。
22	マイク	リモート GV システムからのライブ音声を有効にします。
23	停止	GV システムとの接続を切断します。
24	再生	GV システムとの接続を確立します。
25	保存	ライブビデオをローカルコンピュータに保存します。
26	画質	ビデオ解像度を変更します。
27	スナップショット	選択したチャンネルのスナップショットを撮ります。
28	カメラを複数のホストに保存	選択したカメラを保存して、複合ホストを作成します。

4.6 Center V2

シルバー

The screenshot shows the Center V2 Silver interface. At the top, there is a 4x6 grid of camera feeds labeled Camera 1 through Camera 24. To the right of the grid is a system status panel displaying the date and time (Jul. 06 07:44:38), disk usage (5.15 GB), and a file count (1 / 800). Below the status panel is a tree view showing the system hierarchy: CenterV2, Taipei, Camera 1, Module 1, Tokyo, A, Camera 1, Camera 2, Module 1. At the bottom is an event log table with columns for ID, Type, Message, Message Time, and Start Time. The table contains several entries, including motion detection and system events.

ID	Type	Message	Message Time	Start Time
1	Motion	Camera1 detected motion	7/6/2004 7:39:33 AM	9/19/2008 10:50:41 AM
1	Attachment	Record file of Camera1. [Live]	7/6/2004 7:39:39 AM	9/19/2008 10:50:41 AM
A	LoginLogout	Login	7/6/2004 7:40:51 AM	
A	System	Start Monitoring All Type Events	7/6/2004 7:40:51 AM	7/6/2004 7:40:51 AM
A	System	Stop IO Monitoring	7/6/2004 7:40:51 AM	7/6/2004 7:40:51 AM
A	System	Stop all cameras monitoring	7/6/2004 7:40:51 AM	7/6/2004 7:40:51 AM
A	Motion	Camera 2 detected motion	7/6/2004 7:40:51 AM	7/6/2004 7:40:51 AM
A	Attachment	Record file of Camera 2. [Live]	7/6/2004 7:41:18 AM	7/6/2004 7:40:51 AM
1	Motion	Camera1 detected motion	7/6/2004 7:41:27 AM	9/19/2008 10:51:54 AM
1	Attachment	Record file of Camera1. [Live]	7/6/2004 7:41:37 AM	9/19/2008 10:51:54 AM
1	Motion	Camera1 detected motion	7/6/2004 7:41:41 AM	9/19/2008 10:52:08 AM
1	Attachment	Record file of Camera1. [Live]	7/6/2004 7:41:49 AM	9/19/2008 10:52:08 AM
1	Motion	Camera1 detected motion	7/6/2004 7:41:50 AM	9/19/2008 10:52:18 AM
1	Attachment	Record file of Camera1. [Live]	7/6/2004 7:42:02 AM	9/19/2008 10:52:18 AM

オリジナル

The screenshot shows the Center V2 Original interface. It features a 4x6 grid of camera feeds labeled TPE - Camera 1 through JP - Camera 10. The system status panel on the right shows the date and time (Jul. 05 11:56:21), disk usage (5.53 GB), and a file count (1 / 800). Below the status panel is a tree view showing the system hierarchy: CenterV2, Taipei, Camera 1, Camera 4, Module 1, Tokyo, Camera 1, Camera 2, Camera 3, Camera 4, Module 1. At the bottom is an event log table with columns for ID, Type, Message, Message Time, and Start Time. The table contains several entries, including scene change alarms and system events.

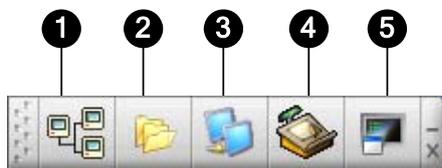
ID	Type	Message	Message Time	Start Time
1	Alarm	Camera 1 - Scene Change	11/15/2006 1:28:16 PM	11/15/2006 1:28:16 PM
1	Alarm	Camera 1 - Scene Change	11/15/2006 1:28:52 PM	11/15/2006 1:28:52 PM
1	Alarm	Camera 1 - Scene Change	11/15/2006 1:28:59 PM	11/15/2006 1:28:59 PM
1	System	Stop Service	11/15/2006 2:43:34 PM	11/15/2006 2:43:34 PM
1	System	Start Service	11/15/2006 2:44:18 PM	11/15/2006 2:44:18 PM
1	LoginLogout	Login	11/15/2006 2:44:35 PM	11/15/2006 2:44:35 PM
1	System	Start Monitoring All Type Events	11/15/2006 2:44:35 PM	11/15/2006 2:44:35 PM
1	System	Start IO Monitoring	11/15/2006 2:44:35 PM	11/15/2006 2:44:35 PM
1	System	Status change of monitoring cameras. On: 1, Off: 2 - 16	11/15/2006 2:44:35 PM	11/15/2006 2:44:35 PM
1	Trigger	Module 1 - Input 1 Trigger	11/15/2006 2:44:35 PM	11/15/2006 2:44:35 PM
1	Trigger	Video of Camera 1 By: Module 1 - Input 1	11/15/2006 2:44:35 PM	11/15/2006 2:44:35 PM
1	Attachment	Record file of Camera 1. [Live]	11/15/2006 2:44:45 PM	11/15/2006 2:44:35 PM
1	System	Start Live View - [1] Camera 1	11/15/2006 2:47:09 PM	11/15/2006 2:47:09 PM
1	System	Stop all cameras monitoring	7/5/2004 11:53:26 AM	7/5/2004 11:53:26 AM

Center V2 ウィンドウのコントロール機能:

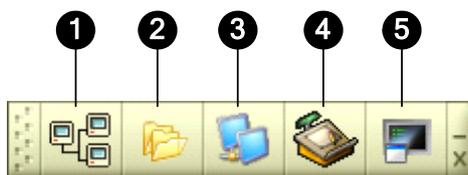
番号	名前	説明
1	監視ウィンドウ	ライブ映像を表示します。
2	ステータスパネル	日付、時間、空き容量、オンラインチャンネル合計数/有効チャンネル数を表示します。
3	加入者の検索	現在の加入者フィールドに、目的の ID を入力するとその加入者を探します。
4	加入者リスト	加入者のIDおよびオンライン状態を表示します。 青いアイコン: 加入者がオンラインになっていることを示します。 グレーアイコン: その加入者がオフラインであることを表します。 アラームアイコン: 加入者サイトで、現在動作が検出されている、あるいは I/O がトリガーされていることを表します。
5	ツール	以下のオプション: イベントログ、イベントリスト、音声とマイク、ショートメッセージ、送信、SMS サーバー接続。
6	ホスト情報	加入者の接続ステータスを表示します。
7	アカウント	加入者アカウントを追加、削除、変更します。
8	詳細設定	以下のオプション: システム設定、イベントログ設定、アカウント管理、電子メール設定、SMS 設定、I/O デバイス、通報設定、通報レポート編集、自動冗長化 有効、およびバージョン情報。
9	前のページ	カメラ表示の前のページを表示します。
10	次のページ	カメラ表示の次のページを表示します。
11	チャンネル更新	接続ステータスを更新します。
12	分割モード	画面分割を選択します。それぞれの解像度は、単一モニターと二重モニターの画面分割オプションを提供します。
13	終了	Center V2 ウィンドウの終了、最小化します。
14	フラグ	後で参照できるようにイベントのフラグを立てます。
15	クリップボード	アラームレポートダイアログボックスを表示します。
16	クリップ	添付ファイルに付属するイベントを示します。イベントをダブルクリックすると、添付されたビデオファイルが再生します。
17	ID	加入者の ID を表します。
18	イベントタイプ	次のイベントタイプを表します: アラーム、添付ファイル、接続、ログイン/ログアウト、動作、システム、トリガー。
19	メッセージ	各イベントタイプの関連情報を表します。
20	メッセージ時刻	Center V2 がイベントを受信した時間を表します。
21	開始時刻	イベントが加入者サイトで発生した時間を表します。

4.7 コントロールセンターツールバー

シルバー



オリジナル



[コントロールセンター]ツールバーのコントロール機能:

番号	名前	説明
1	ホストリスト	[ホストリスト] を開いて、DVR を作成/編集します。
2	グループリスト	さまざまな DVR からグループカメラへのグループリストを開きます。
3	IP マトリックス	最大 36 のマトリクス表示を表示するには、IP マトリクスリストを開きます。。
4	編集	編集(Edit)ツールバーを開いて以下のボタンを表示します: [ホスト検索]、[設定]、[保存]、[削除]、[ホスト追加] ボタン。ただし、[ホスト追加] ボタンは、ホストリストを開いている場合に限って表示されます。
5	サービス	サービスツールバーから次の操作を行います。 遠隔操作、遠隔再生、VMD システム、リモート E-Map、I/O 操作パネル。 マトリクスボタンはグループリストを開いた後にのみ表示されます。

トラブルシューティング

GV システムは、トラブルフリーで運用できるように設計されています。システムが正常に機能していないと思われる場合は、すべての接続が正しく行われていることを確認します。解決しない場合は、次のトラブルシューティング手順に従ってください。

GV システムのビデオ映像/音声がでない。

GV システムのビデオ映像が表示されない、あるいは音声がでない場合は、次の手順を実行してください。

1. ビデオ/音声接続を確認します。
2. ビデオ/音声デバイスの電源が入っていることを確認します。
3. ご利用いただく国・地域のビデオ規格が、GV システムの設定と一致していることを確認します。
4. 機能しているチャンネルから機能しないチャンネルにケーブルの入れ替え、機能しないチャンネルから機能しているチャンネルに切り替えます。この操作を行った後、機能していなかったチャンネルから映像や音声が出る場合は、ビデオ/音声デバイスおよびケーブル自体に不具合がある可能性がありますので、確認してください。

画面画像が歪む、あるいは揺らぐ。

画面画像が歪む、揺らぐ、または正常に表示されない場合は、次の手順を実行してください：

1. お住まいの国のビデオ規格が、GV システムの設定と一致していることを確認します。(NTSC/PAL)
2. カメラおよびケーブルが、破損していないことを確認します。カメラあるいはケーブルの問題であれば交換します。

GV システム起動時に、「キープロが見つかりません」および「Card Setup Fail」というメッセージが表示される。

1. ビデオキャプチャーカードのドライバがインストールされていることを確認します。1.7 ドライバのインストールをご参照ください。
2. ビデオキャプチャーカードを、別の PCI スロットに挿入し、問題が解決するかどうかを確認します。
3. V8.0 またはそれ以降のバージョンを実行中で、GV-600 (S), GV-650 (S), GV-800 (S), GV-600 (V4), GV-650 (V4), GV-800 (V4), GV-1120, GV-1240, GV-1480, GV-2004 または GV-2008 を使用している場合、ステップ1と2に沿って確認下さい。
4. GV-250 は V8.3 には対応しておりません。V8.22 以下のバージョンをご利用下さい。

「Com1 に I/O モジュール:1、アドレス:1 が見つかりません」というメッセージが表示される。

1. GV-システムと GV I/O デバイス間の RS-485 または USB 接続を確認して下さい。
2. GV I/O デバイスに、電源アダプタが正しく取り付けられているかどうかを確認します。
3. システム設定ダイアログボックスの I/O デバイスタブでポートとアドレスの設定が正しいかどうか確認して下さい。

「PTZ デバイスがインストールされていません」または「デフォルトの PTZ デバイスが有効になっていません」というメッセージが表示される。

1. メインシステムで PTZ 設定で稼働オプションにチェックが入っていることを確認します。サーベイランスシステムソフトウェア CD のユーザーズマニュアル 第 1 章「PTZ コントロールパネル」の手順 4 をご参照ください。
2. 複数の PTZ カメラをインストールしている場合は、必ず各 PTZ カメラを個別に有効に設定してください。

その他の問題が発生した場合は？

1. 弊社のウェブサイトをご覧ください http://www.geovision.co.jp/4_1.htm
2. support@geovision.co.jp までお問い合わせください

